

# 令和5年度 第2回山形市介護人材確保推進協議会

## 議事次第

日時：令和6年2月14日（水）

午後2時から午後5時

場所：山形市役所 701会議室A B

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告

(1) 令和5年度 of 取組報告 資料1 参考資料1-1、2、3

(2) アンケート調査報告

① 介護人材確保に関する調査結果 資料2

② 介護現場におけるハラスメントに関する調査結果 資料3

4. 協議

(1) 令和6年度 of 取組（案） 資料4 参考資料4-1、2

5. 意見交換

(1) 情報提供 委員提出資料

(2) 意見交換

6. その他

7. 閉会

<資料>

資料1	令和5年度 of 取組報告
参考資料1-1	生産性向上推進セミナー（介護業界向け）
参考資料1-2	ハラスメント相談担当者スキルアップ研修
参考資料1-3	生産性向上推進セミナー（福祉業界向け）
資料2	介護人材確保に関する調査結果
資料3	介護現場におけるハラスメントに関する調査結果
資料4	令和6年度 of 取組（案）
参考資料4-1	事業概要【介護発！魅力ある職場づくりによるYAMAGATA発展プロジェクト事業】
参考資料4-2	山形市高齢者保健福祉計画（案）【介護現場革新関係・抜粋】
委員提出資料1	学校法人富澤学園 東北文教大学短期大学部 現代福祉学科
委員提出資料2	山形公共職業安定所（ハローワーク山形）
委員提出資料3	社会福祉法人 山形県社会福祉協議会（山形県福祉人材センター）
当日提出資料	山形県健康福祉部高齢者支援課
当日提出資料	公益社団法人 山形市シルバー人材センター

令和5年度 第2回山形市介護人材確保推進協議会 名簿

No.	種別	団体 (事業所)	団体役職 (役職)	氏名
1	介護サービス事業者	山形市内特別養護老人ホーム施設長連絡会	選考中	
2		山形県老人保健施設協会 (医療法人社団・社会福祉法人 悠愛会)	副会長 (理事長)	大島 扶美
3		社会福祉法人 山形市社会福祉協議会	事務局次長	漆山 弘幸
4		山形市介護保険事業所連絡会代表者会(通所介護連絡協議会) (医療法人社団 楽聖会)	副代表(外部対応担当幹事) (介護事業統括兼事業推進担当理事)	志田 信也
5		山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 (医療法人敬愛会 グループホーム馬見ヶ崎)	管理者	片桐 菜々子
6		山形市特定施設連絡協議会 (介護付有料老人ホームフォーリーフ嶋ノオーリンク株式会社)	会長 (代表取締役社長)	佐藤 一
7		公益社団法人 山形県看護協会 (訪問看護ステーションやまがた)	所長	山川 一枝
8		山形県地域包括支援センター等協議会	理事長	峯田 幸悦
9	福祉関係団体	一般社団法人 山形県介護福祉士会	事務局長	斎藤 幸子
10		一般社団法人 山形県介護支援専門員協会	副会長・山形地区支部長	丹野 克子
11		一般社団法人 山形県理学療法士会	顧問	(欠席) 高橋俊章
12		一般社団法人 山形県作業療法士会	会長	松木 信
13		一般社団法人 山形県言語聴覚士会	会長	荒井 晋一
14	教育機関	株式会社ニチイ学館山形支店	支店長	吉田 博人
15		学校法人富澤学園 東北文教大学短期大学部 現代福祉学科	准教授	菊地 一穂
16		山形県立山辺高等学校	教諭	(欠席) 今崎絵理 (代理) 丸山瞳
17		学校法人大原学園 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校	校長	(欠席) 川上浩司 (代理) 酒谷伸輔
18	行政機関	山形労働局 職業安定部 職業安定課	地方職業安定監察官	小林 正治
19		山形公共職業安定所(ハローワーク山形)	人材確保専門官	高橋 裕見子
20		山形県 健康福祉部 高齢者支援課	課長	板垣 洋子
21		公益財団法人 介護労働安定センター山形支部	支部長	高橋 茂弥
22		社会福祉法人 山形県社会福祉協議会 (山形県福祉人材センター)	人材研修部副部長	(欠席) 鈴木利宜 (代理) 阿部和正
23		山形県教育局 高校教育課	課長兼教育デジタル化推進室長	(欠席) 米野和徳 (代理) 鏈水智津子
24		山形市教育委員会 学校教育課	次長(兼) 課長	(欠席) 細谷直樹
25	雇用関係団体	公益社団法人山形市シルバー人材センター	事務局長	佐藤 雅俊
No.		事務局	役職	氏名
1	(事務局)	山形市福祉推進部長寿支援課	課長	阿部 伸也
2			課長補佐	佐藤 恵美子
3			課長補佐(兼) 人材確保推進係長	長瀬 洋一
4			主事	鈴木 ちひろ

# 令和5年度の取組報告

資料 1

## 介護人材の確保につながる場の創出

項目	内容等	取組状況	目標・実績
① 介護の職業体験イベント	<p>介護サービス事業者団体、学校関係者等との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、中・高校生を主な対象として、介護の仕事の模擬体験やKAIiGO PRiDEによる魅力発信を通して、介護の仕事を正しく理解してもらう。</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護の仕事体験</li> <li>車椅子の移動介助、歩行介助体験など</li> <li>KAIiGO PRiDE動画上映</li> <li>介護職員ポートレート展示会</li> <li>介護職養成校の紹介</li> <li>就職相談 等</li> </ul>	<p>KAIiGOのおしごとひろばの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●開催日／会場 6月24日／霞城セントラルアトリウム</li> <li>●参加者 324人(体験者22人)</li> <li>●実施内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の仕事体験</li> <li>車椅子移動</li> <li>歩行介助の体験</li> <li>・介護職養成校の紹介</li> <li>・就業相談コーナーの設置</li> <li>・KAIiGO PRiDE動画上映</li> <li>・介護職員ポートレート展示</li> </ul> </li> <li>●課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の体験者数の増加</li> <li>・開催日程の検討</li> </ul> </li> </ul>	<p>【目標】 参加者数 300人</p> <p>【実績】 324人</p>

## 「介護人材の確保・定着」の取組

項目	内容等	取組状況	目標・実績
① 介護の魅力発信	<p>介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>クリエイティブの力で介護をブランディングする「KAIiGO PRiDE」の取組を通し、TVやSNS等のメディアを活用して、広く介護の魅力を発信する。</p> <p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山形市内の介護職員による動画制作、テレビCM放送、YouTube配信</li> <li>・学生による動画制作、YouTube配信</li> <li>・介護職員ポートレート展示会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・KAIiGO PRiDEアンバサダーの周知</li> <li>・動画のテレビCM放送</li> <li>・動画のYouTube配信</li> </ul> </li> <li>●参加者数 324人(KAIiGOのおしごとひろば)</li> <li>●課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者に対する情報発信</li> <li>・学生等との連携</li> </ul> </li> </ul>	<p>【目標】 参加者数 150人</p>
中・高校生を中心に、介護に触れ合う機会を創出	<p>介護サービス事業者団体、学校関係者等との連携(再掲)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施内容等 KAIiGOのおしごとひろばの開催(再掲)</li> </ul>	<p>【実績】 324人 (KAIiGOのおしごとひろば)</p>
介護魅力発信事業費補助 (Yamagata KAIiGO-LiNK構築事業)	<p>教育機関・学生等との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>情報発信や介護業界に詳しいコーディネーターを中心に、福祉関係の学生有志が動画コンテンツ制作等を体験しながら、将来的に自らが介護の魅力発信等の分野で活躍できる人材になるような仕組みを構築し、介護職員の離職防止、介護人材の確保に繋げる。</p> <p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信等を行うSNSアカウントを立ち上げ</li> <li>・アカウント運営に係る知識や技術を学ぶ講習会等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施内容等 今年度立上げに向け協議中 KAIiGO PRiDEとの連携 教育機関・学生等との連携</li> <li>●課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者に対する情報発信</li> <li>・学生等との連携</li> </ul> </li> </ul>	<p>他取組は未集計</p>

# 令和5年度の取組報告

資料 1

項目	内容等	取組状況	目標・実績	
② 外国人材の受入環境整備	<b>住宅セーフティネット制度の活用に向けた検討、居住支援協議会の運営補助</b> 【実施済】 【取組中】	<b>管理住宅課との連携</b> ■実施概要 ○目的 山形市住宅確保要配慮者居住支援協議会において外国人等の住宅確保要配慮者に居住支援を行うための課題の共有、協議を行うほか、住宅セーフティネット制度を活用しながら、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容 ・山形県居住支援協議会との役割分担に向けた協議 ・外国人材をはじめとする住宅確保要配慮者の住まい確保に向けた取組について課題の共有・協議	●実施内容等 ・情報提供 外国人向け防災研修 等 ・関係団体との連携 山形市国際交流センター 山形県外国人介護人材支援センター 等 ・山形市住宅確保要配慮者居住支援協議会の開催 11/17開催	【目標】 外国人受入事業所数 20事業所 【実績】 未集計
	<b>日本語教育支援、支援団体との連携</b> 【取組中】	■実施概要 ○目的 外国人材の日本語教育や生活支援に係る介護サービス事業所の負担を軽減し、外国人材の資格取得に向けたサポートを行うことで、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容 ・日本語教室を実施する団体の紹介(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・外国人を支援する団体等の情報提供(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・令和6年度以降の取組についての協議 ・山形県外国人材支援センター事業の周知	●実施内容等 ・関係団体との連携 山形市国際交流センター 山形県外国人介護人材支援センター 等	
項目	内容等	取組状況	目標・実績	
③ 高齢者の雇用促進	<b>関係団体との連携</b> 【取組中】	■実施概要 ○目的 就労意欲がある高齢者に対して、関係団体と連携し、介護現場への就労を促進する。 ○取組内容 ・介護労働安定センターとの連携 ・介護現場における高齢者の雇用促進のための情報発信	●実施内容等 関係団体実施事業の周知	【目標】 関係団体を通じた介護現場への高齢者の雇用者数 20人
項目	内容等	取組状況	目標・実績	
④ 若年者の雇用促進	<b>学校との連携</b> 【取組中】	■実施概要 ○目的 将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、学校において認知症サポーター養成講座を開催し、児童・生徒が、介護を知り、触れる機会を創出する。 ○取組内容 ・学校での認知症サポーター養成講座の開催	●実施内容等 ・学校での認知症サポーター養成講座の開催啓発 ●参加者数 ・335人(第七中学校 他7校) ●課題等 ・開催校の増加	【目標】 学校における講座の受講者数 600人
	<b>保護者や教職員の理解促進</b> 【取組中】	■実施概要 ○目的 介護の職業体験や学校での認知症サポーター養成講座の開催を通して、保護者や教職員の理解促進を図る。 ○取組内容 ・学校での認知症サポーター養成講座の開催 ・介護の職業体験イベント(再掲)	●実施内容等 ・KAiGOのおしごとひろば開催 ・学校での認知症サポーター養成講座 【拡充】山形市立第七中学校 対象:3年生、PTA、保護者、教員、地域関係者(コミュニティスクール、町内会長など)	【実績】 335人



# 令和5年度の取組報告

資料 1

項目	内容等	取組状況	目標・実績	
⑤ 潜在介護福祉士等の復職支援	<p>山形県福祉人材センターとの連携</p> <p>【実施済】</p> <p>【取組中】</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 介護の有資格者届出制度を周知する。また、登録者に対して、介護に関する情報発信を行い、復職を促進する。</p> <p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護の有資格者届出制度の周知(山形市→事業所) ※市窓口やイベント等</li> <li>KAiGO PRiDEの取組の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者)</li> <li>山形市が進める介護現場革新事業の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者)</li> <li>介護の職業体験イベント等での連携</li> </ul>	<p>●実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>KAiGOのおしごとひろばでの情報発信</li> <li>就業相談コーナーの設置</li> <li>市窓口やイベント等での周知</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>介護職の届出制度登録者数</p> <p>90人/年</p> <p>【実績】</p> <p>未集計</p>
	<p>復職支援に向けた技術研修の実施</p> <p>【取組中】</p>	<p>山形県福祉人材センター及び介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 復職希望がある登録者等の介護の仕事への不安を解消し、復職を促進するため、県社会福祉協議会や介護サービス事業者団体と連携し、復職希望のある有資格者に対しセミナーや研修等を開催する。</p> <p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護の仕事の基本等に関するセミナーや研修等の開催</li> <li>※小規模法人のネットワーク化による協働推進事業において、介護技術の復習支援を行う。</li> </ul>	<p>●実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県社会福祉協議会や介護サービス事業者団体と連携し、必要に応じて対応する</li> </ul>	
項目	内容等	取組状況	目標・実績	
⑥ ハラスメント対策	<p>ハラスメント対策研修の実施</p> <p>【実施済】</p> <p>【取組中】</p>	<p>山形県社会福祉協議会及び介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 介護現場で働く職員の安全を確保し、安心して働き続けられる労働環境を築くことで、介護職員の確保・定着を促進する</p> <p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハラスメント対応講座(管理者向け)の開催 9/4開催(山形県社会福祉協議会)</li> <li>ハラスメント対策講座(職員向け)の開催(山形市)</li> <li>ハラスメント対策の実践型グループワーク研修(山形市)</li> <li>※山形市内の事業所の取組状況を踏まえ、スキルアップしながら対策の向上が図れるよう、多機関で連携し独自の研修プログラムを実施</li> <li>(事業期間は概ね3年間を想定)</li> </ul>	<p>●実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハラスメントアンケートの実施 446人回答</li> <li>ハラスメントセミナーの実施 3月 開催予定</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>受講事業所数 30事業所</p> <p>【実績】</p> <p>未集計</p>
	<p>ハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施</p> <p>【取組中】</p> <p>拡充</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 ハラスメント対策と合わせて、ハラスメント相談担当者がハラスメントを受けた職員のケアのスキルを上げていくための研修を実施し、介護職員が安心して働ける環境づくりを行い、職員の定着を図る。</p> <p>○取組内容 ハラスメント相談担当者を対象に、スキルアップ研修を開催する。</p>	<p>●実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハラスメント相談担当者スキルアップ研修 (2/26 開催予定)</li> </ul>	

# 令和5年度の取組報告

資料 1

「生産性の向上」の取組				
項目	内容等		取組状況	目標・実績
① 業務改善、ロボット・ICTの活用	生産性向上改善活動の進展・普及への伴走及び生産性向上コミュニティの立ち上げ  【実施済】 【取組中】  <b>拡充</b>	令和4年度に実施した生産性向上モデル事業において選定されたモデル事業所との連携  ■実施概要 ○目的 生産性向上モデル事業や、フォローアップ研修で培ったノウハウを活かし、山形市内の介護サービス事業者等に対する研修の実施や相談・フォローアップ等を行い、横展開を図る。また、これらの活動を通じて得た事例やノウハウを蓄積し、共有するための仕組みを構築する。  ○取組内容 ・生産性向上コミュニティの立ち上げ ・R4モデル事業所の取組プロセスや成果事例の普及啓発 ・新たに生産性向上改善活動に取り組むインターン事業所への支援	●実施内容等 ・生産性向上モデル事業づくり 3事業所に対し、生産性向上の取組の伴走支援中  ・フォローアップ研修の開催 8/30 16事業所 22名参加 (山形県、介護労働安定センター参加)  2/9 30事業所 39名参加 3/4 開催予定 (福祉業界向け) 3/25 成果報告会  ・生産性向上コミュニティの立ち上げに先立ち、集団伴走支援相談会と参加者交流会を実施した(8/30)	【目標】 インターン事業所数 2事業所  【実績】 3事業所 選定
	生産性向上改善活動の福祉業界への横展開  【取組中】  <b>拡充</b>	■実施概要 ○目的 福祉業界を対象にモデル事業実践報告会を開催するとともに、介護のほか、障がい者施設や保育所を運営する法人の協力を得ながら、山形市全体の福祉業界の就業環境の改善を図り、就職促進や若者の定着促進につなげていく。  ○取組内容 ・介護事業所及び福祉業界向けのセミナーの開催 ・生産性向上改善活動への経営者理解促進のためのセミナーの開催	●実施内容等 他業界向け生産性向上推進セミナー開催 年度末に、モデル事業実践報告会と合わせて開催予定  ・福祉業界向けセミナー 3/4 開催予定	【目標】 講座参加者数 50人  【実績】 未集計
	介護ロボット・ICT導入支援  【取組中】	■実施概要 ○目的 生産性向上の取組を通して見直した業務オペレーションに合ったロボット・ICTの導入を支援する。  ○取組内容 ・ロボット・ICT活用に関する事業やイベント等の周知 ・山形県ICT導入支援事業費補助金の周知	●実施内容等 ・情報提供 山形県ICT導入支援事業費補助金の周知  ●課題 生産性向上取組事例(ICT活用)との連携	【目標】 介護ロボット・ICT導入法人の割合 50%  【実績】 33.8%

# 令和5年度の取組報告

資料 1

項目	内容等	取組状況	目標・実績
② 文書量削減	<p>申請に係る様式の見直し等による書類の簡素化・標準化</p> <p>【実施済】</p>	<p>●実施内容等</p> <p>電子申請届出システムを利用した電子申請の受付 R5:廃止、休止、再開届等に運用を拡大</p>	<p>【目標】</p> <p>電子申請受付種類の拡充</p> <p>【実績】</p> <p>実施済み</p>
	<p>簡素化・標準化の取組を踏まえたICT等の活用</p> <p>【実施済】</p> <p>【取組中】</p>	<p>●実施内容等</p> <p>・山形県ICT導入支援事業費補助金の周知</p>	
項目	内容等	取組状況	目標・実績
③ 事業所間の連携推進	<p>介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>国の小規模法人のネットワーク化による協働推進事業を活用し、経営基盤が脆弱な小規模法人を含めた地域の介護サービス事業所団体が連携し、地域貢献や福祉人材の確保等のための取組が促進されるよう、その環境整備を図る。</p> <p>○事業実施団体の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題を討議するプラットフォーム会議の開催</li> <li>・人材確保の取組(介護の魅力発信や潜在介護福祉士等の復職支援等)</li> <li>・災害時の連携強化のための取組</li> <li>・生産性向上に関する取組</li> <li>・地域貢献に向けた、先進的な福祉活動に関する研修会の実施</li> <li>・介護人材の確保、定着に向けたコマーシャル等の制作等</li> </ul> <p>【取組中】</p>	<p>●実施内容等</p> <p>・山形市内特別養護老人ホーム施設長連絡会、山形市特定施設連絡協議会にて実施中</p>	<p>【目標】</p> <p>事業実施団体数</p> <p>2団体</p>



令和5年度 山形市委託事業 生産性向上モデル事業  
「介護の職場」魅力・活力くるりんプロジェクト

山形市 × TRAPE

## 介護分野における生産性向上推進セミナー

# 処遇改善加算の算定に必須要件となる見込み！ 2ヶ月後に迫った介護報酬改定後に 必要な生産性向上の取り組みを解説します

このような方はぜひご参加ください！

- ・ 処遇改善加算は確実に算定したい
- ・ 働きやすい職場環境を整えたい
- ・ 人材の定着・採用に力を入れたい
- ・ 次年度の介護報酬改定のポイントを要点で知りたい



近々に迫った次年度の介護報酬改定において、生産性向上の取り組みが大きな柱の一つになろうとしています。処遇改善加算の算定にも必須要件となる見込みであり、介護事業所にとって職員の定着・採用のためには、この生産性向上の取り組みが欠かせません。今回のセミナーでは、その取り組みを具体的にどのように進めていけば良いかも含めて解説します。

## セミナーの開催内容

### 日時

2024年 **2月9日** (金)  
**10:00 ~ 12:00** (入場 9:45 ~)

### 開催方法

オンライン (Zoom)

### 対象

山形市の介護事業所の経営層・現場リーダー層  
※ぜひ経営層と現場リーダー層、ご一緒にご参加ください

### 参加費

無料

### プログラム

- セミナー  
介護報酬改定後に必要な生産性向上の取り組み
- 質疑応答
- 対話会  
介護現場での悩みを語り合う

### セミナー講師



鎌田 大啓  
株式会社TRAPE  
代表取締役

### お申し込み方法

以下のフォームからアクセスするか、QRコードを読みとってお申し込みください

<https://forms.gle/Ns57MtfbFAYqZBweA>



### 申込期限

2024年 **2月8日** (木)

## 介護現場での悩み・課題について対話しませんか？

セミナーの後には、参加者のみなさんでグループに分かれて介護現場で働くなかで感じている悩みや課題などについて対話する時間を設けます。生産性向上の取り組みの第一歩はみなさんの悩み・課題を見える化することです。この機会に、他の法人・事業所の方々と悩み・課題をシェアしましょう！

この対話会は、山形市内の介護事業所が生産性向上の取り組みについて気軽に相談し合えるコミュニティ通称、「生産性向上コミュニティ」を創出していく一環として実施されます

介護現場の  
業務改善成果報告会  
も近日に開催します

日時 3/25 13時~16時  
場所 山形市役所

主催

山形市 福祉推進部 長寿支援課  
TEL 023-641-1212 (内線930)  
E-mail choju@city.yamagata-yamagata.lg.jp

運営・事務局

株式会社TRAPE 山形市事業 事務局  
TEL 06-6379-3580  
E-mail yamagata@trape.jp



介護現場における

# 「ハラスメント相談担当者」 スキルアップ研修

参加費無料

日時

令和6年2月26日(月)  
14:00~16:30(入室13:45~)

開催  
方法

オンライン形式 (Zoom研修)



対象

山形市内の介護事業所等職員

内容

1. 介護現場におけるハラスメント相談員に求められるもの
2. カスタマーハラスメントとは
3. 介護現場におけるハラスメント相談のためのコミュニケーション
4. 実践ロールプレイング

※主任介護支援専門員更新研修の受講要件となる法定外研修に該当します

講師

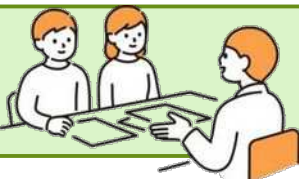
ときた けいこ  
鴫田 恵子氏 (株式会社 insource)

申込  
方法

以下のURL、またはQRコードからお申込みください  
<https://forms.gle/ZEET9zj2nAn7Brh66>

申込  
締切

令和6年2月20日(火) 17:00まで



【問い合わせ先】

山形市長寿支援課 人材確保推進係  
TEL: 023-641-1212 (内線930)

# 障がい・保育分野における 人手不足と人材育成の悩みを 同時に**解決**

## 参加費無料

## ゆとりをもった支援・保育をするための 生産性向上セミナー

このセミナーは、山形市の「介護の職場」魅力・活力くさりんプロジェクトの一環として開催されるものです。本プロジェクトは、介護現場において生産性向上の取組を行うことで業界を活性化させつつ、そこで得た成功事例やノウハウを福祉業界全体や他の業界に横展開をすることで「ひと」と「しごと」の好循環を生み出し「まち」が活性化していく仕組みを創り出す地方創生の取組の一環です。今回は、介護分野だけでなく福祉業界全体の共通課題である「人手不足」や「人材が育たない」を解決するノウハウをお伝えします。

### 日時

2024年**3月4日**(月)  
**13:00 ~ 14:30**(入場 12:45 ~)

### 開催方法

オンライン(Zoom)

### 対象

- ・ 保育園の園長・管理職
- ・ 障がい福祉サービス等事業所の経営層・管理職  
(山形市内限定)



株式会社TRAPE 代表取締役

**鎌田 大哲** (かまた ともひろ)

- ・ 大阪大学 医学部保健学科医学系研究科 招聘教員
- ・ 厚労省「介護事業所におけるデータ連携による生産性向上に関する調査研究」委員会委員  
など他多数

### このような方はぜひご参加ください!

- ・ 人手不足を感じている
- ・ 採用の難しさ、離職の多さを感じている
- ・ いい人材がなかなか育たない
- ・ もっとゆとりを持った支援や保育がしたい
- ・ 業務効率が悪いなど感じる時がある

### お申し込み方法

以下のフォームからアクセスするか、  
QRコードを読みとってお申し込みください

<https://forms.gle/Ns57MtfbFAYqZBweA>

申込期限  
2024年**3月3日**(日)



主催

山形市 福祉推進部 長寿支援課  
TEL 023-641-1212 (内線930)  
E-mail choju@city.yamagata-yamagata.lg.jp

運営・事務局

株式会社TRAPE 山形市事業 事務局  
TEL 06-6379-3580  
E-mail yamagata@trape.jp

# 介護サービス等事業者 介護人材確保に関する調査

山形市福祉推進部長寿支援課  
令和6年2月

# 目次

## I. 調査の概要と回収結果

## II. 調査の結果

### 1. 法人の種類

### 2. 職員について

(1) 職員の年齢構成

(2) 介護サービス等種別ごとの職員の採用・離職について

(3) 職種ごとの職員の採用・離職について

(4) (3)の職種ごとの入職ルートについて

(5) 職種ごとの過不足状況

### 3. 人材確保対策

(1) 離職防止、人材確保のための取組

(2) (1)で「7. 介護ロボットのICT等の活用」と回答しなかった理由について

(3) カスタマーハラスメントの報告件数について

(4) カスタマーハラスメント対策・防止のためのマニュアル等作成について

(5) (4)で「3. 作成していない」と回答した理由について

(6) ハラスメント対策のために必要となる自治体の支援・取組



# I. 調査の概要と回収結果

## (1) 調査目的

介護サービス需要の増加が見込まれることを見据え、必要な介護サービスを提供できるよう、介護人材確保の状況等を把握し、今後の取組に役立てられる資料とする。

## (2) 調査対象者

山形市内の介護保険サービス事業者 162 法人 (615 事業所)

## (3) 調査の期間

令和6年1月19日(金)～令和6年2月2日(金)

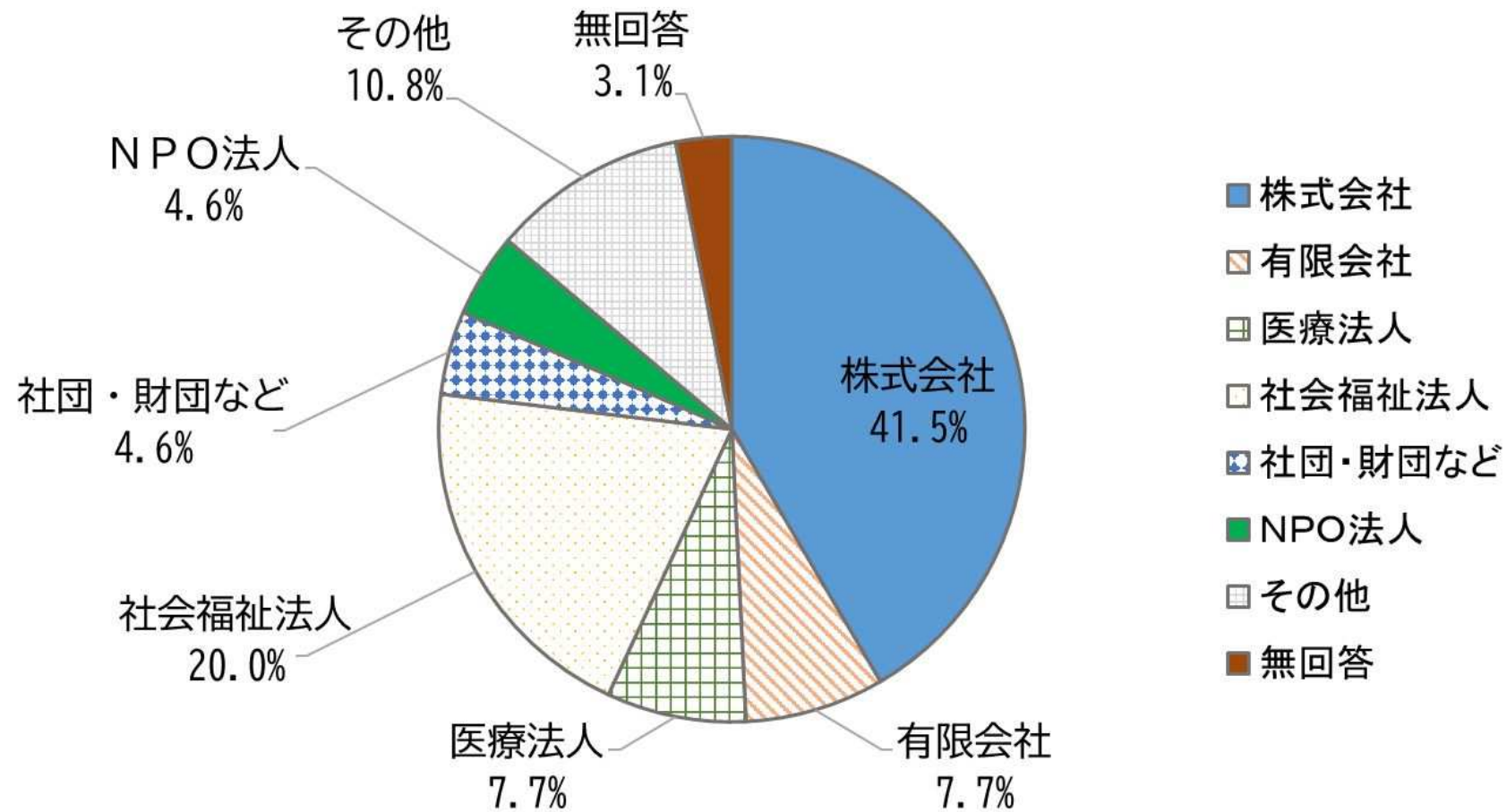
## (4) 回収結果

有効回答数 65 法人 (有効回答率 40.1%)

## II. 調査の結果

### 1 法人の種類

「株式会社（41.5%）」が最も多く、次いで「社会福祉法人(20.0%)」となっています。



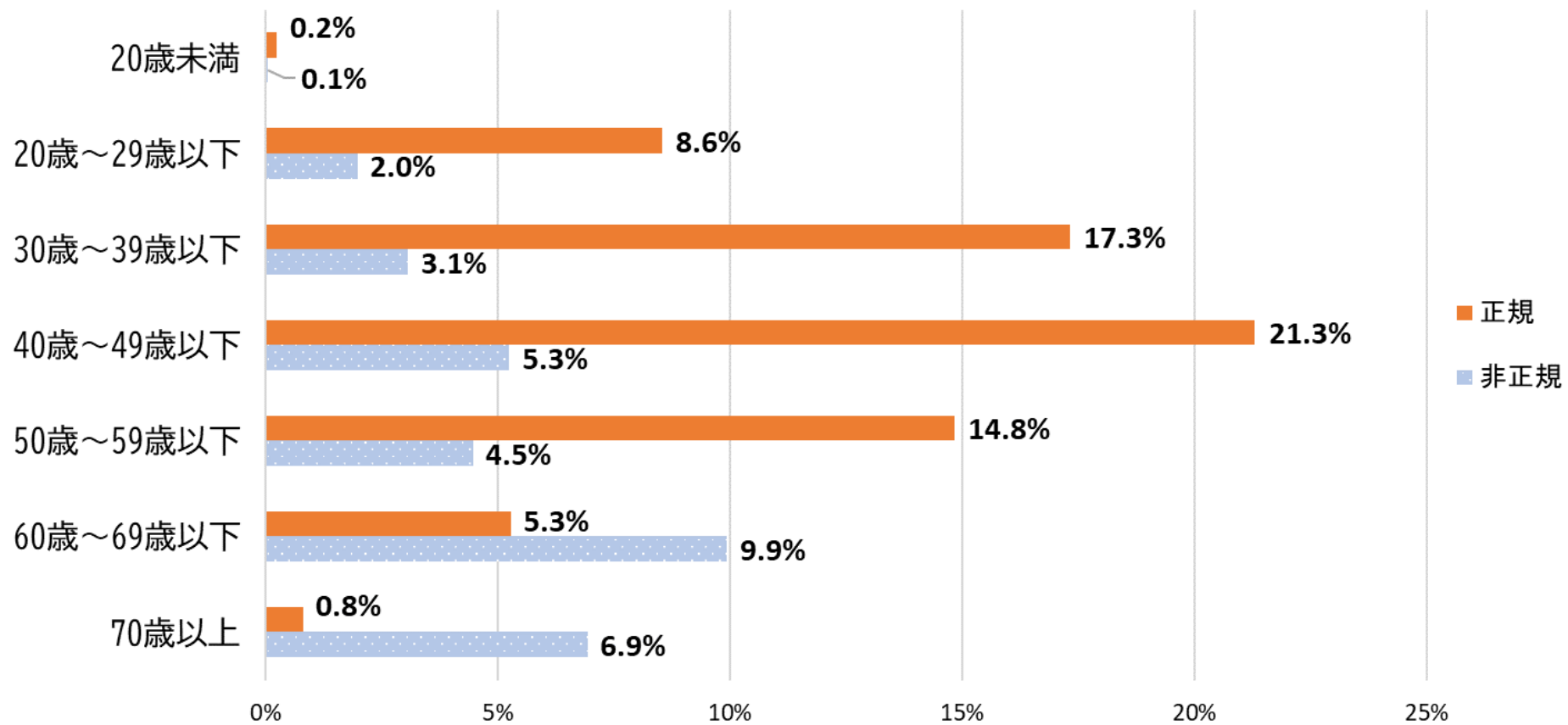
※その他 合同会社、生協 等

## 2. 職員について

### (1) 職員の年齢構成

正規職員は「40歳～49歳以下（21.3%）」が最も高く、  
非正規職員は「60歳～69歳以下（9.9%）」が最も高くなっています。

また、平均年齢は48歳となっています。



## (2) 介護サービス種別ごとの職員の採用・離職について

採用率は全体で11.6%となっており、サービス種別では「地域密着型サービス(14.5%)」が最も高く、「その他(7.4%)」が最も低くなっています。

離職率は全体で12.0%となっており、サービス種別では「地域密着型サービス(18.0%)」が最も高く、「その他(6.2%)」が最も低くなっています。

職員増加率は全体でマイナス0.3%であり、サービス種別では最も高いのは「居宅サービス(2.9%)」、最も低いのは「地域密着型サービス(-3.5%)」となっています。

サービス種別	事業所数	①職員数				②採用者数				③離職者数								職員増加率				
		正規	非正規	合計		正規 (経験者数)	非正規 (経験者数)	合計		離職者総数				勤続年数3年未満					勤続年数3年以上			
				人数	正規割合			人数	採用率	正規	非正規	合計		正規	非正規	小計			正規	非正規	小計	
		人数	離職率			人数	離職率					人数	離職率			人数	離職率					
居宅サービス	120	684	431	1,115	61.3%	62(39)	69(30)	131	12.1%	49	51	100	9.2%	26	26	52	5.0%	23	25	48	4.7%	2.9%
地域密着型サービス	57	563	284	847	66.5%	79(32)	48(19)	127	14.5%	91	67	158	18.0%	55	34	89	11.0%	36	33	69	8.7%	-3.5%
施設サービス	14	605	215	820	73.8%	48(32)	29(12)	77	9.2%	56	35	91	10.9%	15	19	34	4.4%	41	16	57	7.1%	-1.7%
総合事業	17	29	26	55	52.7%	3(2)	4(3)	7	13.0%	2	4	6	11.1%	2	2	4	7.7%	0	2	2	4.0%	1.9%
その他	53	166	80	246	67.5%	8(5)	10(8)	18	7.4%	9	6	15	6.2%	3	1	4	1.7%	6	5	11	4.6%	1.2%
計	261	2,047	1,036	3,083	66.4%	200(110)	160(72)	360	11.6%	207	163	370	12.0%	101	82	183	6.3%	106	81	187	6.4%	-0.3%

※その他：居宅介護支援事業所、有料老人ホームなど

※採用率・離職率・増加率の計算式は以下の通り

採用率 = 採用者数合計 / (職員数合計 - 採用者数合計 + 離職者数合計)

離職率 = 離職者数合計 / (職員数合計 - 採用者数合計 + 離職者数合計) ※勤続年数3年未満及び3年以上の離職率の分子はそれぞれの小計

増加率 = (採用者数合計 - 離職者数合計) / (職員者数合計 - 採用者数合計 + 離職者数合計)

### (3) 職種ごとの職員の採用・離職について

採用率は全体で10.4%となっており、職種別では「看護職員（15.1%）」が最も高く、「サービス提供責任者（0.0%）」が最も低くなっています。

離職率は全体で12.1%となっており、職種別では「看護職員（14.5%）」が最も高く、「サービス提供責任者（0.0%）」が最も低くなっています。

職員増加率は全体でマイナス1.6%であり、職種別では最も高いのは「訪問介護員（4.1%）」、最も低いのは「介護職員（-3.3%）」となっています。

職種	①職員数				②採用者数				③離職者数												職員増加率
	正規	非正規	合計		正規 (経験者数)	非正規 (経験者数)	合計		離職者総数				勤続年数3年未満				勤続年数3年以上				
			人数	正規割合			人数	採用率	正規	非正規	合計		正規	非正規	小計		正規	非正規	小計		
	人数	離職率			人数	離職率					人数	離職率			人数	離職率					
訪問介護員	62	65	127	48.8%	5(2)	9(7)	14	11.5%	3	6	9	7.4%	1	2	3	2.6%	2	4	6	5.0%	4.1%
サービス提供責任者	39	0	39	100.0%	0(0)	0(0)	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0.0%
介護職員	1,110	415	1,525	72.8%	110(59)	59(28)	169	10.7%	140	81	221	14.0%	72	45	117	7.9%	68	36	104	7.1%	-3.3%
看護職員	252	135	387	65.1%	36(30)	22(19)	58	15.1%	30	26	56	14.5%	16	15	31	8.6%	14	11	25	7.1%	0.5%
生活相談員	99	4	103	96.1%	4(3)	0(0)	4	3.8%	5	0	5	4.8%	2	0	2	2.0%	3	0	3	2.9%	-1.0%
PT・OT・ST等	135	26	161	83.9%	6(6)	3(2)	9	5.7%	5	1	6	3.8%	4	1	5	3.2%	1	0	1	0.7%	1.9%
介護支援専門員	189	22	211	89.6%	13(10)	4(4)	17	8.1%	11	5	16	7.6%	4	1	5	2.5%	7	4	11	5.4%	0.5%
合計	1,886	667	2,553	73.9%	174(110)	97(60)	271	10.4%	194	119	313	12.1%	99	64	163	6.7%	95	55	150	6.2%	-1.6%

#### (4) (3) の職種ごとの入職ルートについて

職種ごとの採用者の入職ルートについて、「ハローワーク」が最も多く、97件となっています。

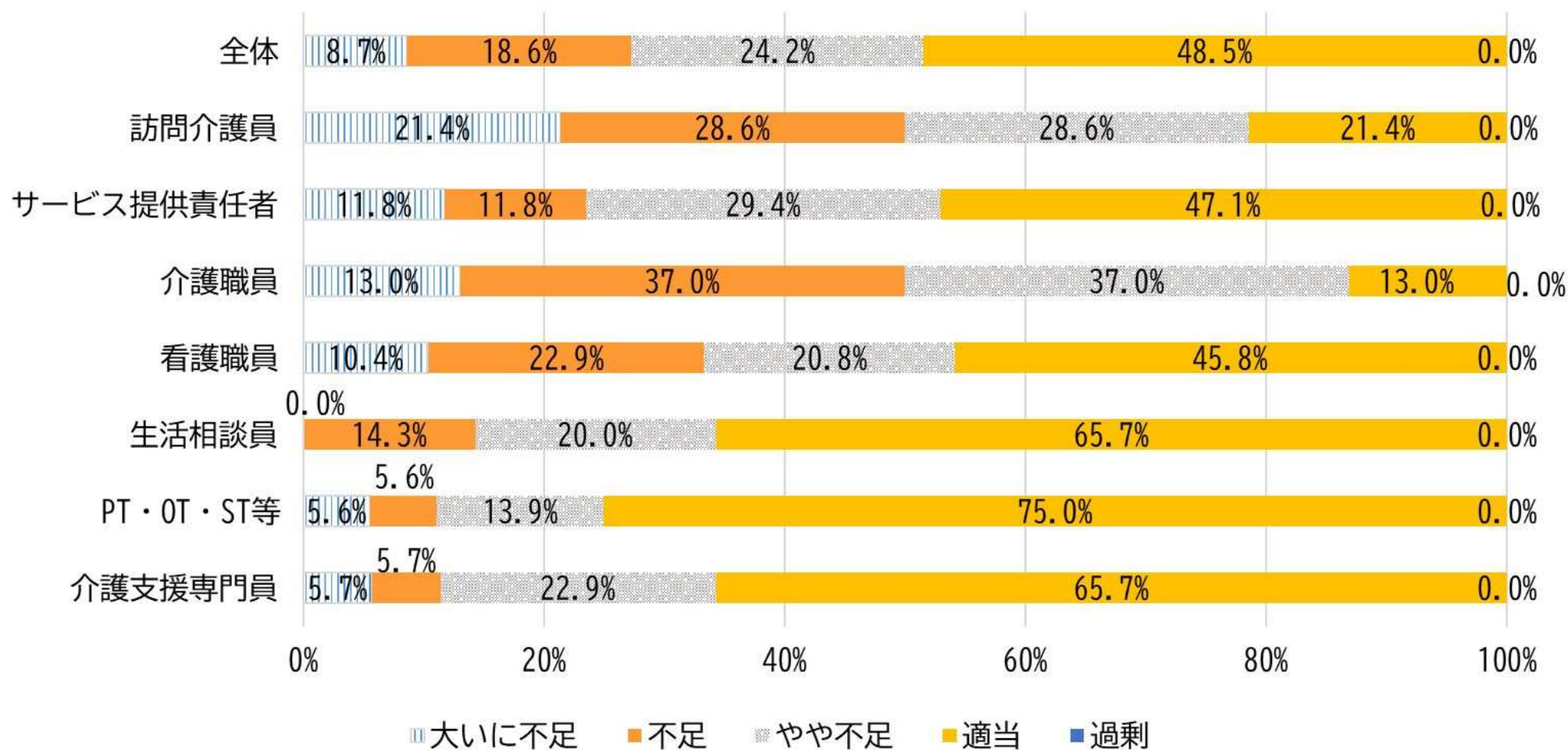
職種	① 新卒者 (福祉系)	② 新卒者 (非福祉系)	③ ハローワーク	④ 民間 職業紹介 事業者	⑤ 福祉 人材セ ンター	⑥ 知人 からの 紹介	⑦ その他
訪問介護員	0	0	2	4	0	5	3
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0
介護職員	13	6	57	50	3	18	21
看護職員	1	0	20	16	1	17	14
生活相談員	0	0	3	0	1	2	4
PT・OT・ST等	1	0	7	1	0	0	1
介護支援専門員	0	0	8	4	0	5	0
合計	15	6	97	75	5	47	43

※その他 法人HP 21件、特定技能外国人8件、自主応募6件、看護協会4件、再入職2件、他事業所から1件、身内1件

## (5) 職種ごとの過不足状況

全体では「大いに不足」「不足」「やや不足」を合わせ、51.5%の法人が不足感を持っており、前回調査より7.4ポイント上昇しています。

職種別では介護職員の不足感が最も強く87.0%となっており、前回調査から10.0ポイント上昇しています。



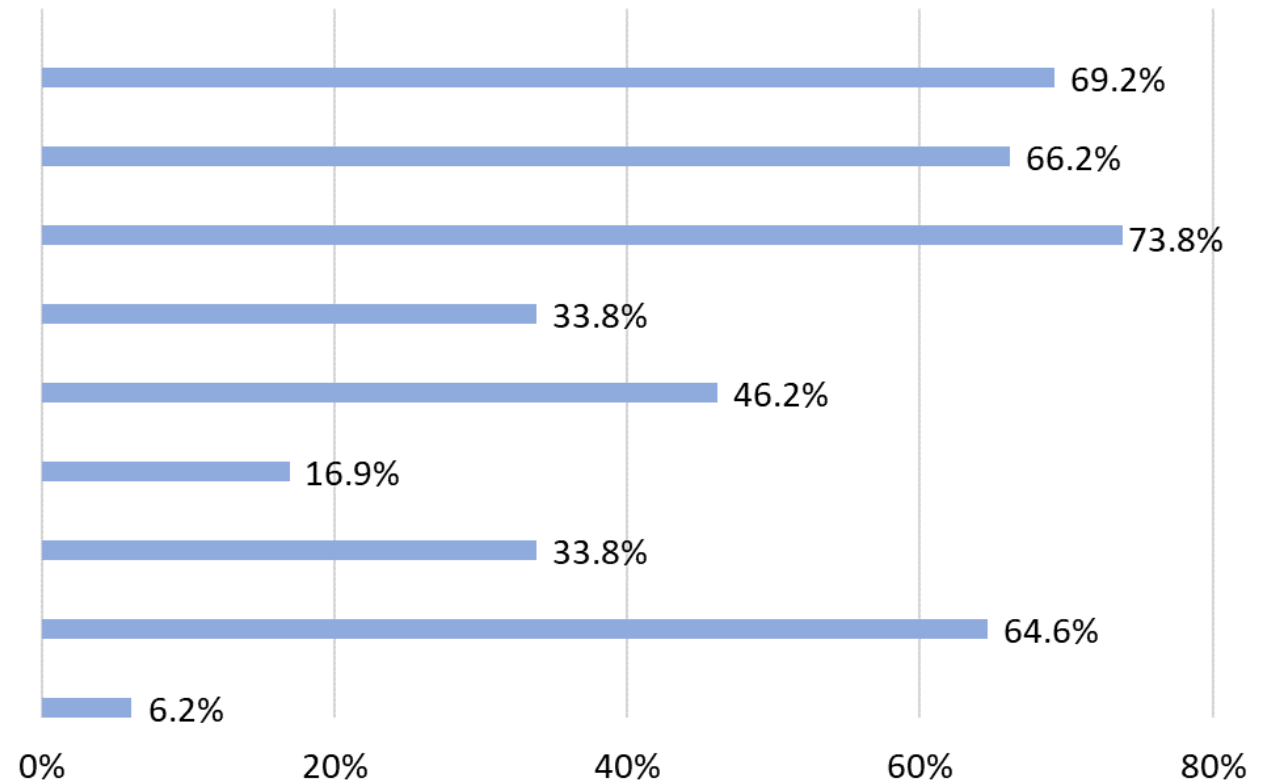


### 3. 人材確保対策

#### (1) 離職防止、人材確保のための取組

「研修受講や資格取得への支援（73.8%）」が最も高く、次いで「勤務時間の多様化（69.2%）」となっています。

1. 勤務時間の多様化
2. 精神的ストレスの緩和・相談体制の構築
3. 研修受講や資格取得への支援
4. キャリアパス制度の確立
5. 住宅手当、夜勤手当など福利厚生の充実
6. 教育機関や学生等への情報発信
7. 介護ロボットやICT等の活用
8. 結婚・出産・育児によらず生涯働き続けられる職場環境の整備
9. その他

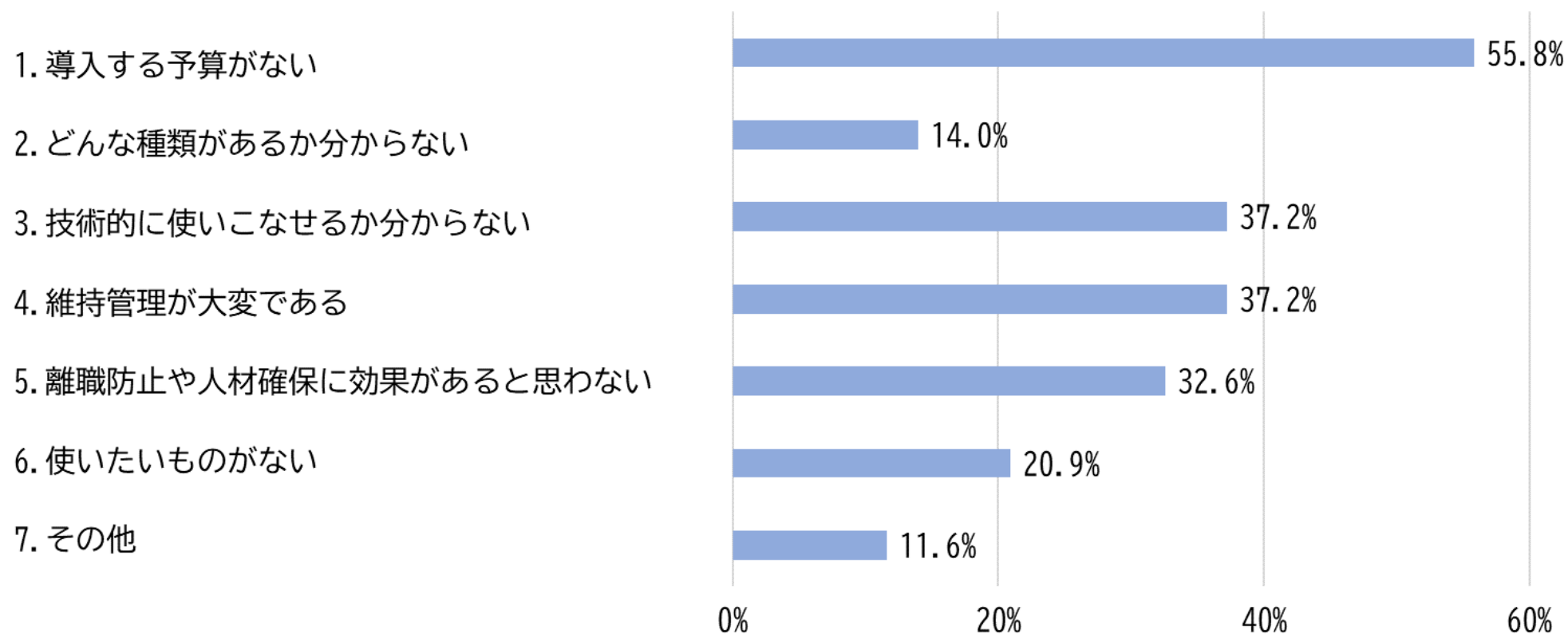


※その他 他部署からの異動、業務改善、職員・外部紹介による報奨制度、対策は取っていない



## (2) (1) で「7. 介護ロボットのICT等の活用」と回答しなかった理由について

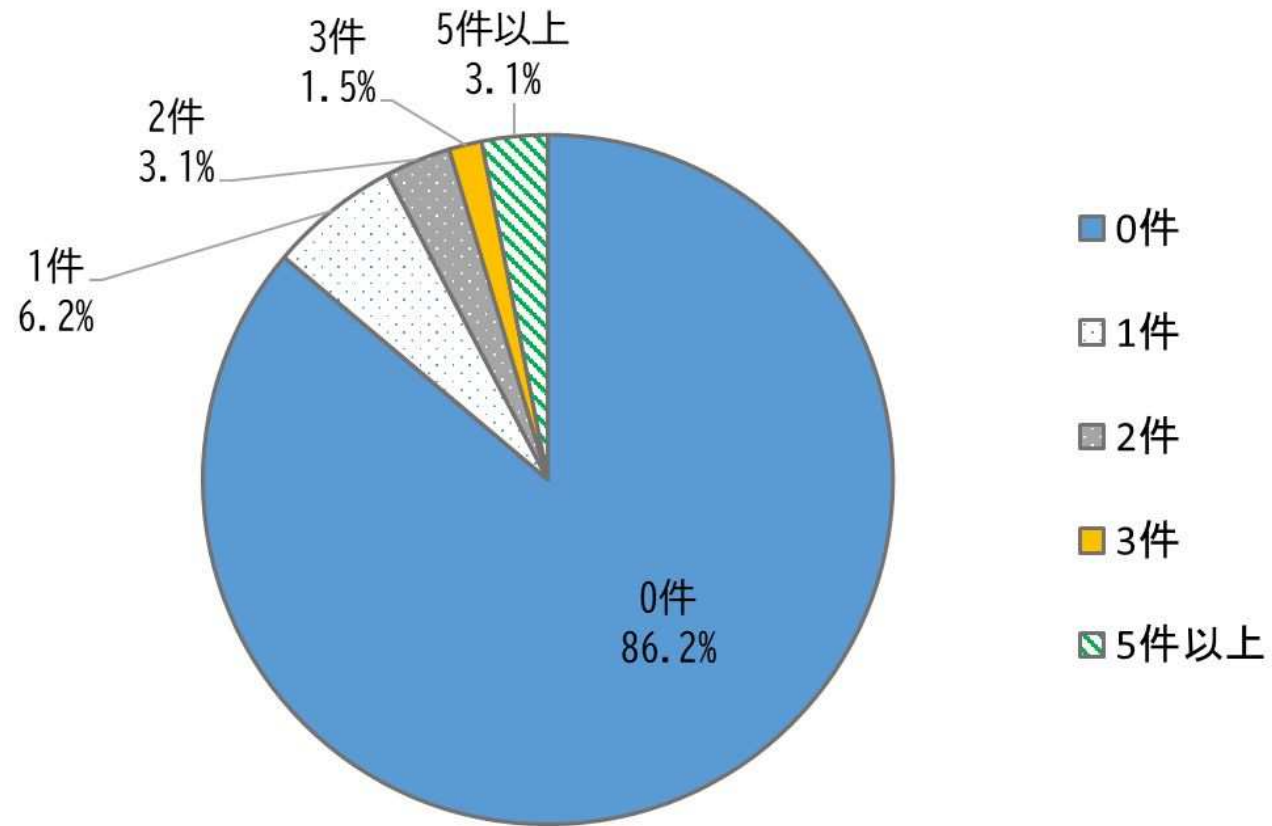
「導入する予算が無い（55.8%）」が最も高く、次いで「技術的に使いこなせるか分からない（37.2%）」、「維持管理が大変である（37.2%）」となっています。



※その他 現在検討中、導入予定なし、現場がほしいのは人であるため

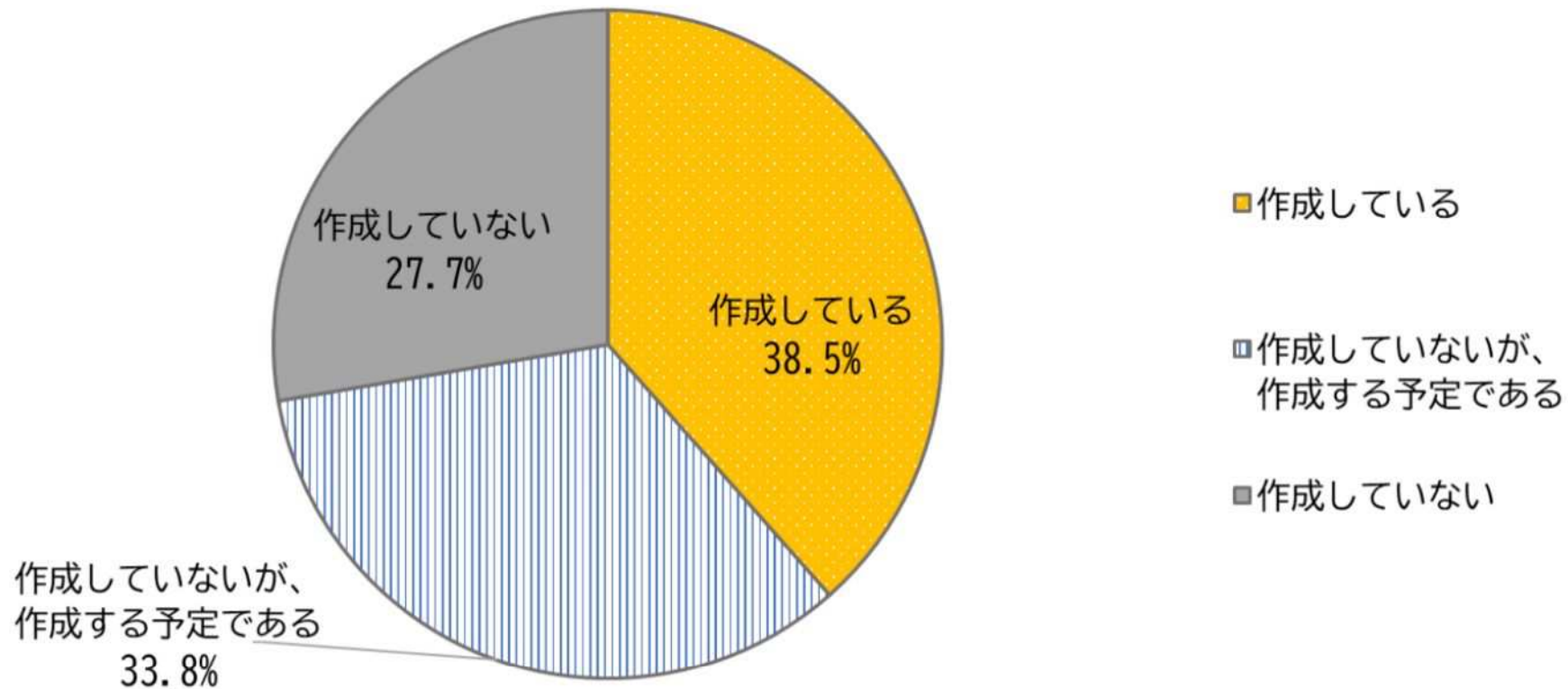
### (3) カスタマーハラスメントの報告件数について

カスタマーハラスメント被害の報告があったと回答したのは、65法人中9法人であり、最も多い回答は「0件（86.2%）」となっています。



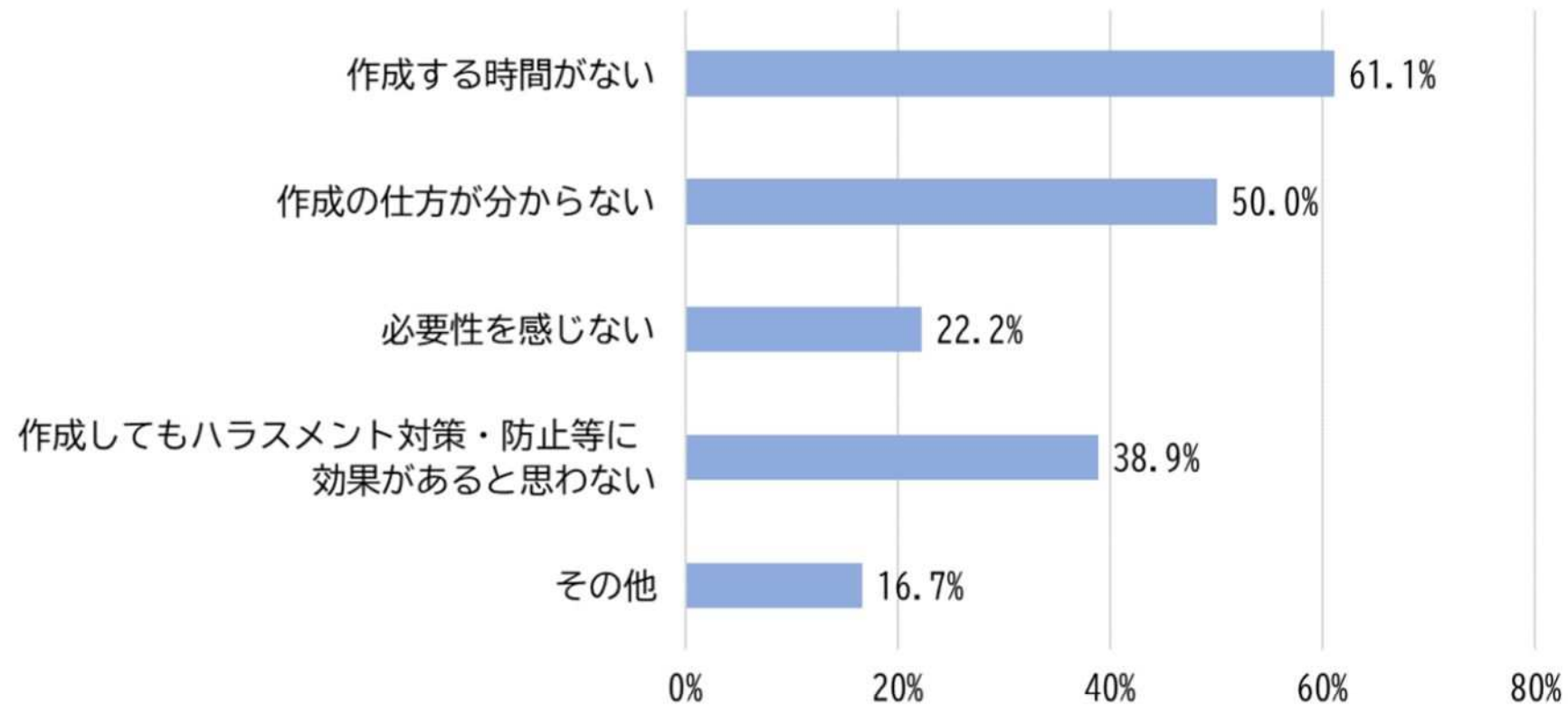
#### (4) カスタマーハラスメント対策・防止のためのマニュアル等作成について

「作成している（38.5%）」が最も高く、  
次いで「作成していないが、作成する予定である（33.8%）」となっています。



### (5) (4) で「3. 作成していない」と回答した理由について

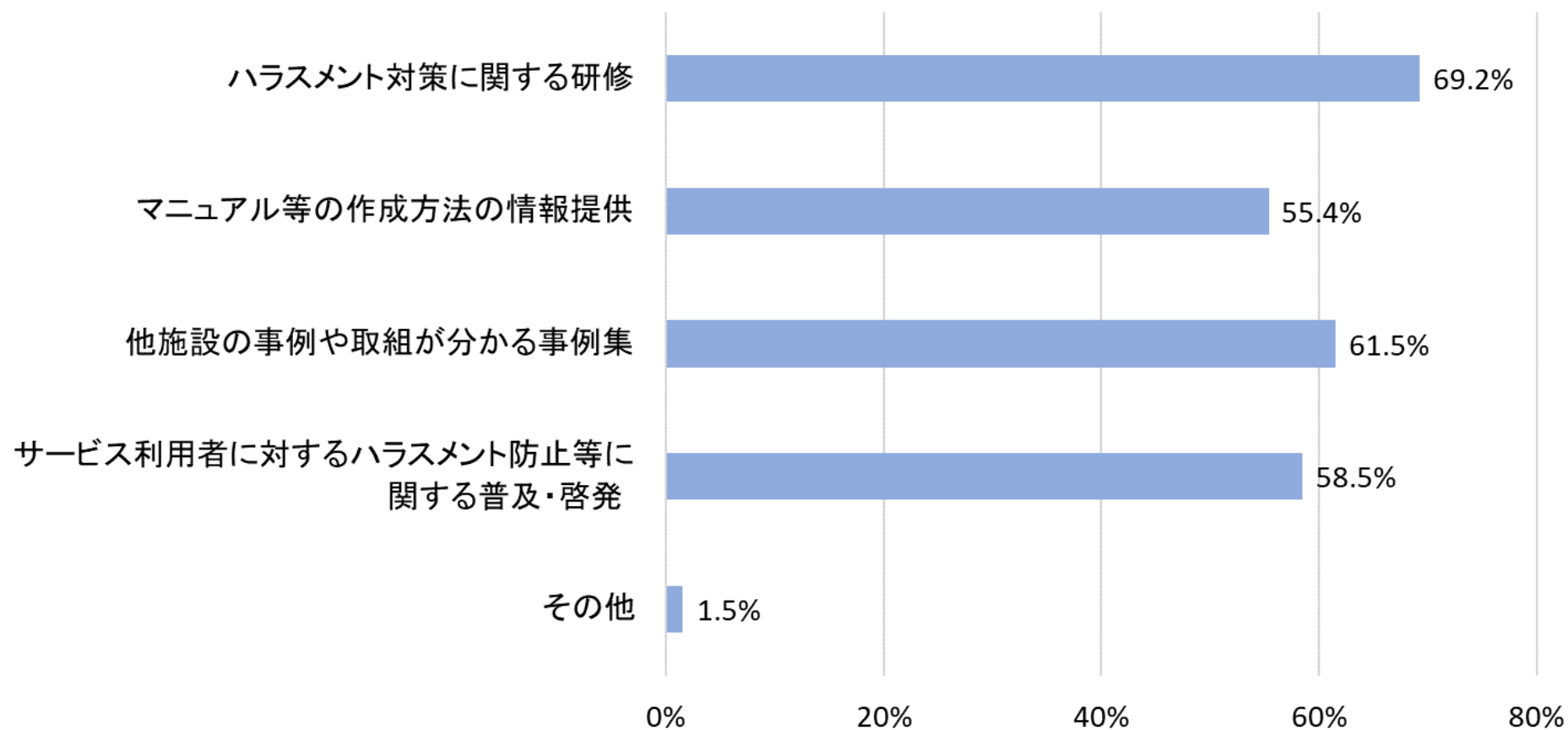
「作成する時間が無い（61.1%）」が最も高く、次いで「作成の仕方が分からない（50.0%）」、「作成してもハラスメント対策・防止等に効果があると思わない（38.9%）」となっています。



※その他 あれば良いと思うが現時点ではそこまでの必要性を感じていない、組織全体としてまだ進んでいない 等

## (6) ハラスメント対策のために必要となる自治体の支援・取組

「ハラスメント対策に関する研修（69.2%）」が最も高く、次いで「他施設の事例や取組が分かる事例集（61.5%）」、「サービス利用者に対するハラスメント防止等に関する普及・啓発（58.5%）」となっています。



※その他 カスハラや利用者等から暴言・暴力の実態をもっと取り上げてほしい

# ハラスメントアンケート調査結果

山形市福祉推進部長寿支援課  
令和6年2月

# 1. ハラスメントアンケート調査の概要と回答結果について

## (1) 調査目的

介護保険事業所連絡会全体の取組として、ハラスメントに関する実態を把握し、介護現場で働く職員の安全の確保に役立てるため。

## (2) 調査対象者

山形市内の事業所に勤務している全介護職員  
全事業所 642事業所（うち、訪問介護 43事業所）

## (3) 調査の期間

令和5年11月～令和5年12月まで

## (4) 回答結果

回答者合計 466人（うち、訪問介護 132人）

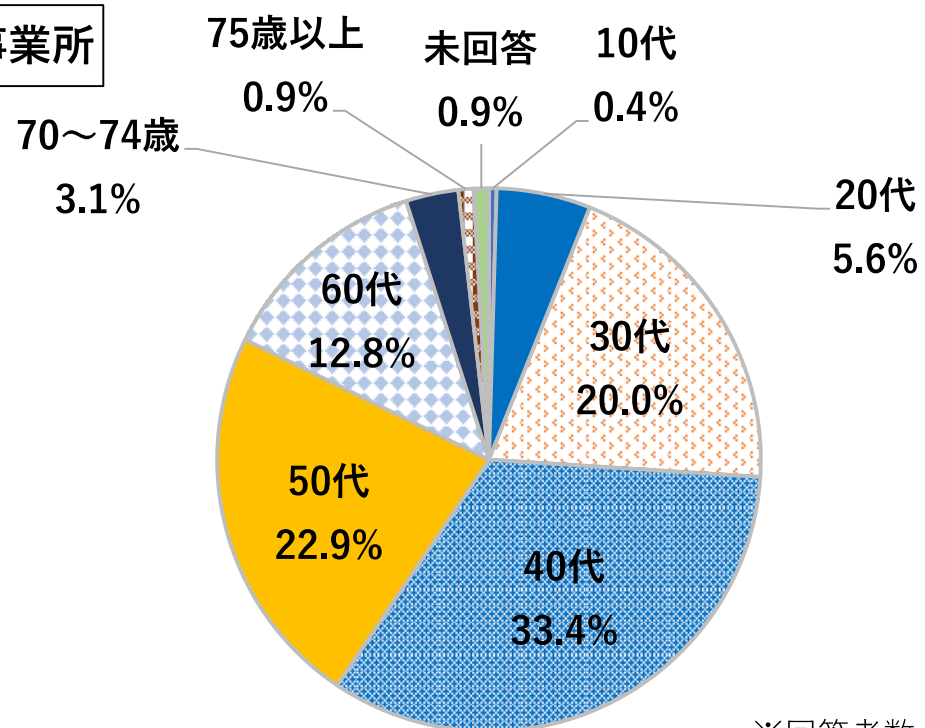
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

## 2. 調査結果について

### ○年代について○

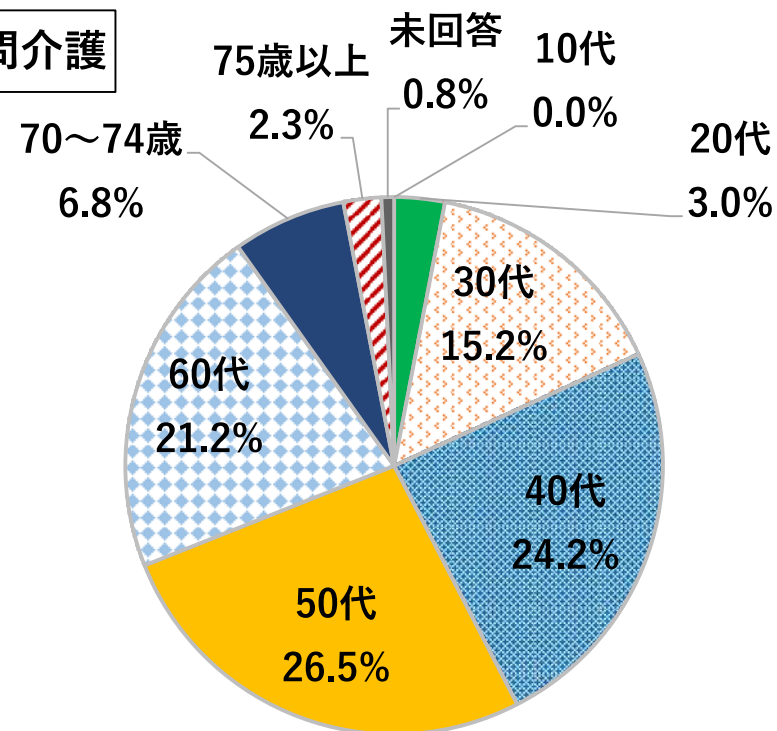
全事業所では40代が最も多く「33.4%」、次いで50代が「22.9%」となっている。  
そのうち訪問介護においては、50代・60代が全体の約半分を占めており、30代以下は少ない。

全事業所



※回答者数 446人

うち、訪問介護

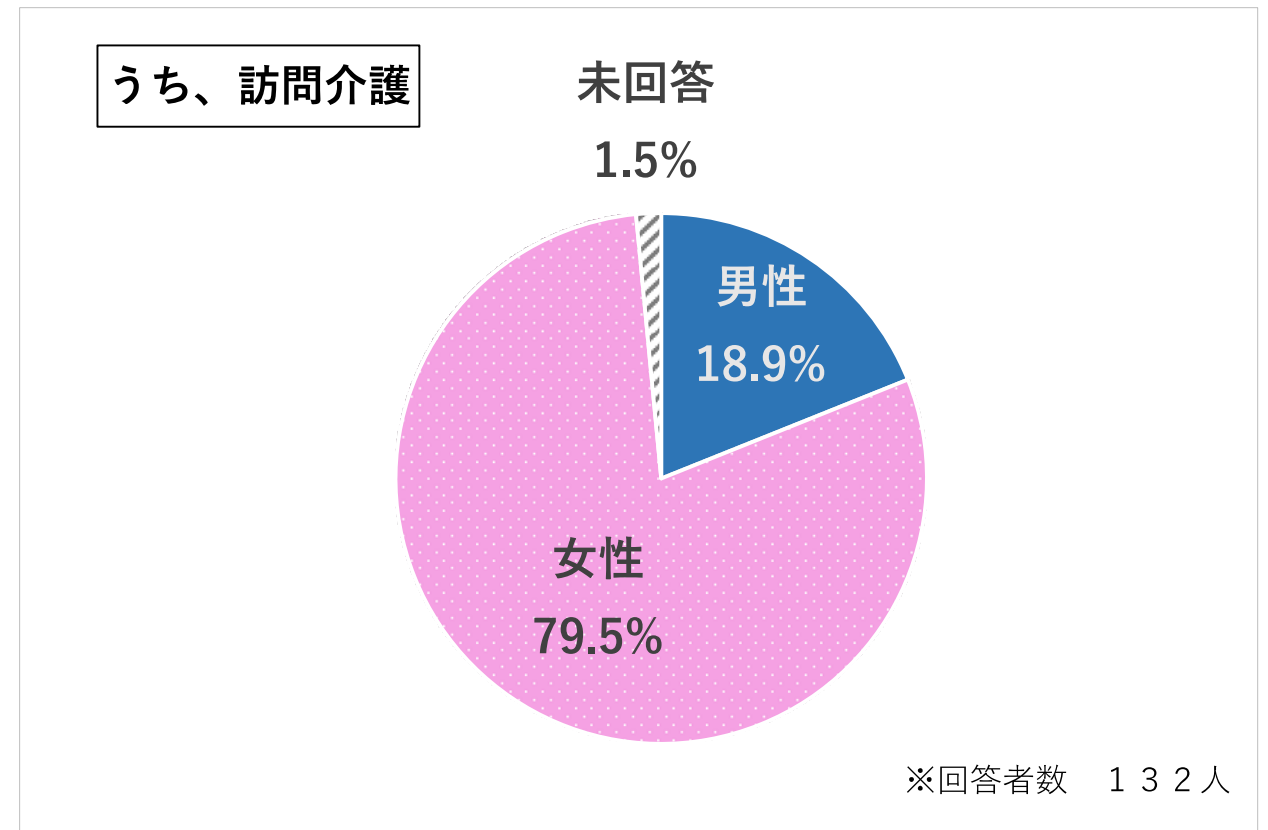
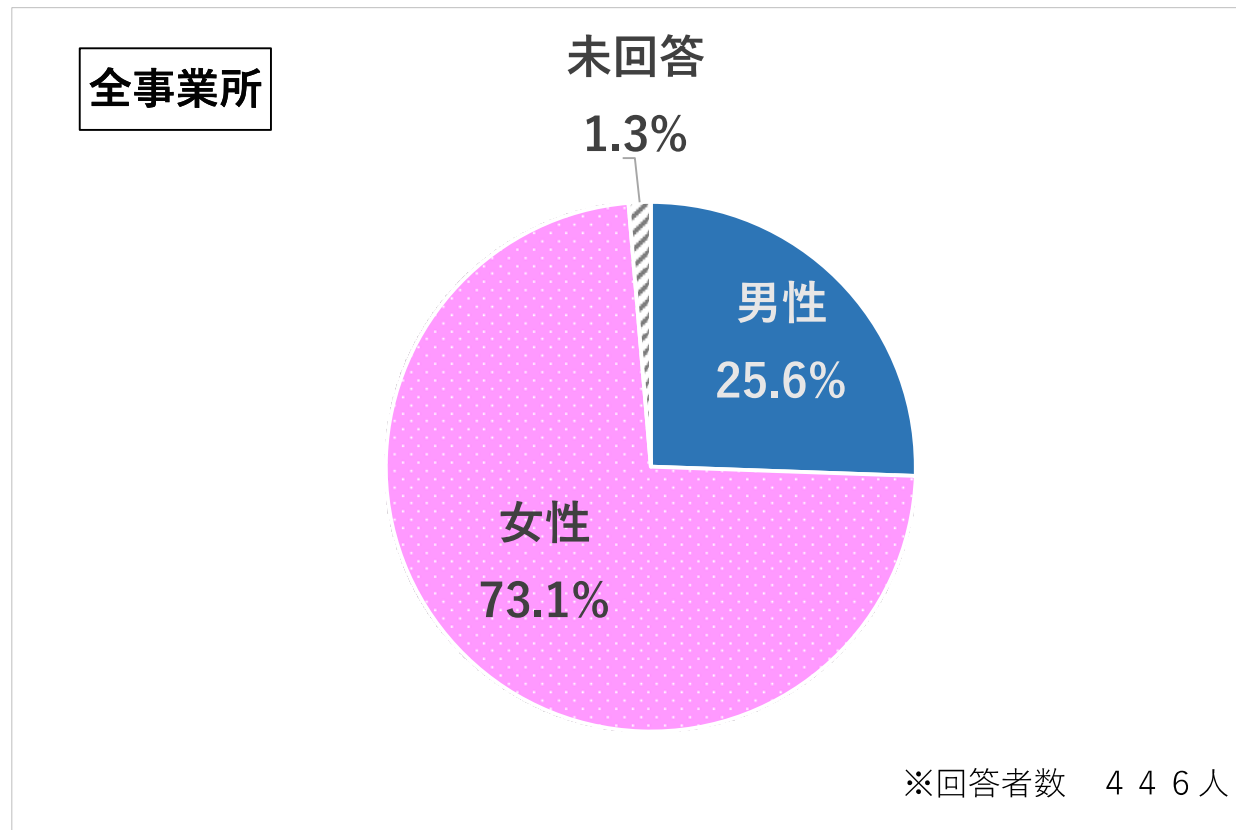


※回答者数 132人



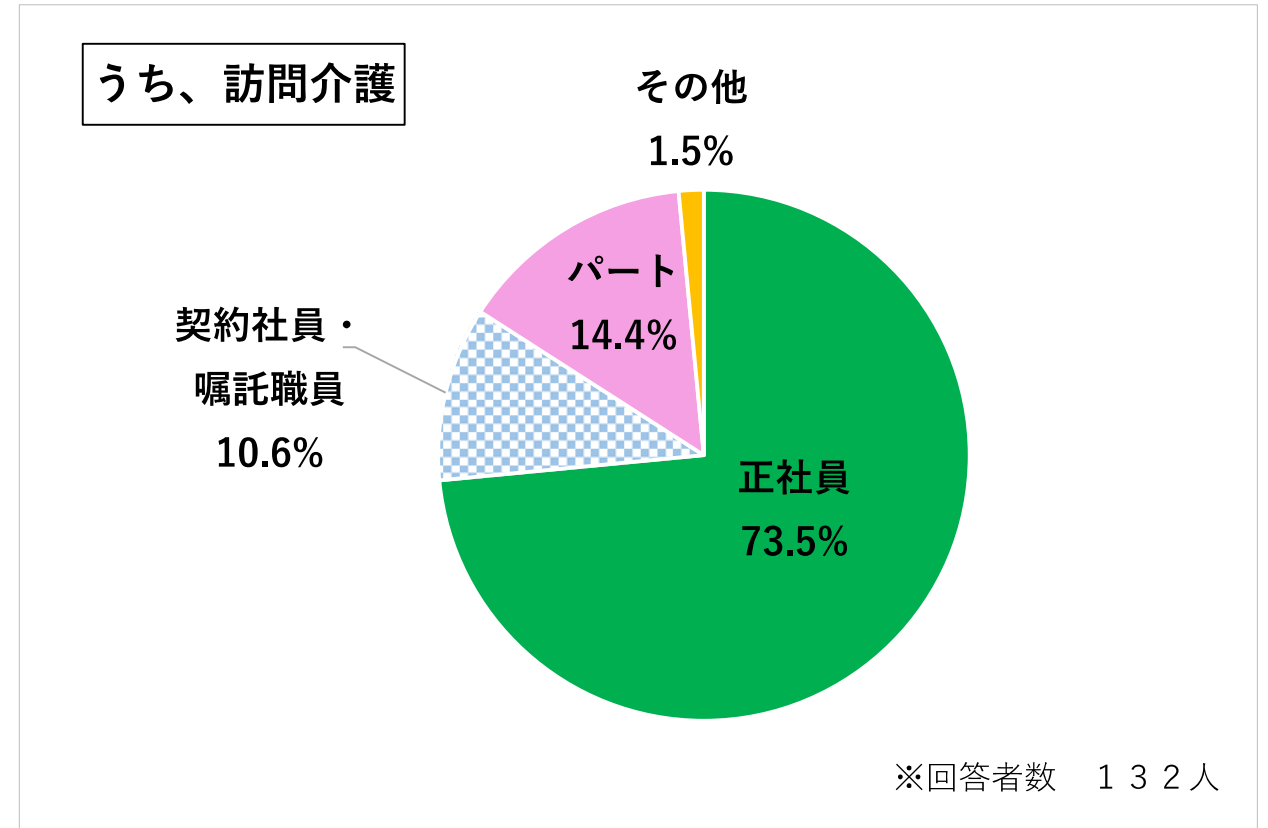
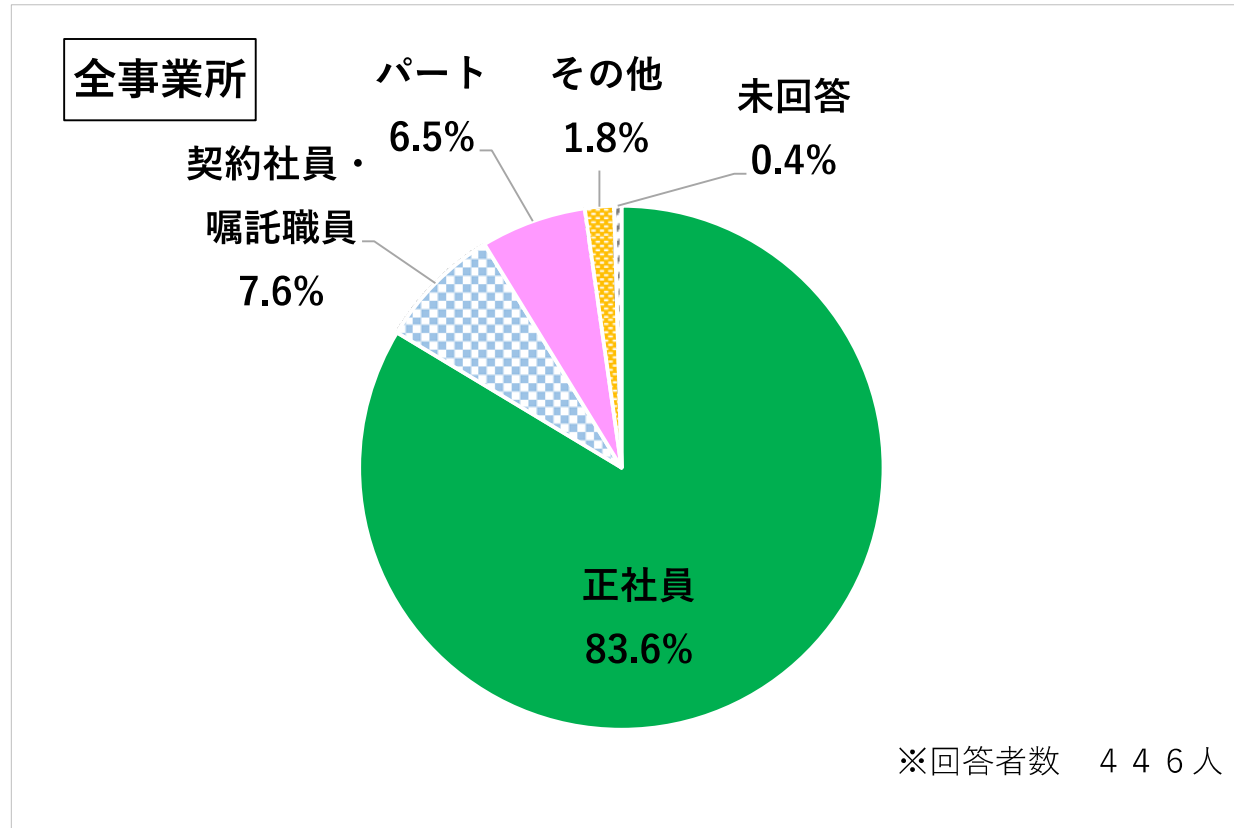
## ○性別について○

回答者の性別の割合については、全事業所では男性が「25.6%」、女性は「73.1%」となっている。  
そのうち訪問介護については、男性が「18.9%」、女性は「79.5%」となっている。



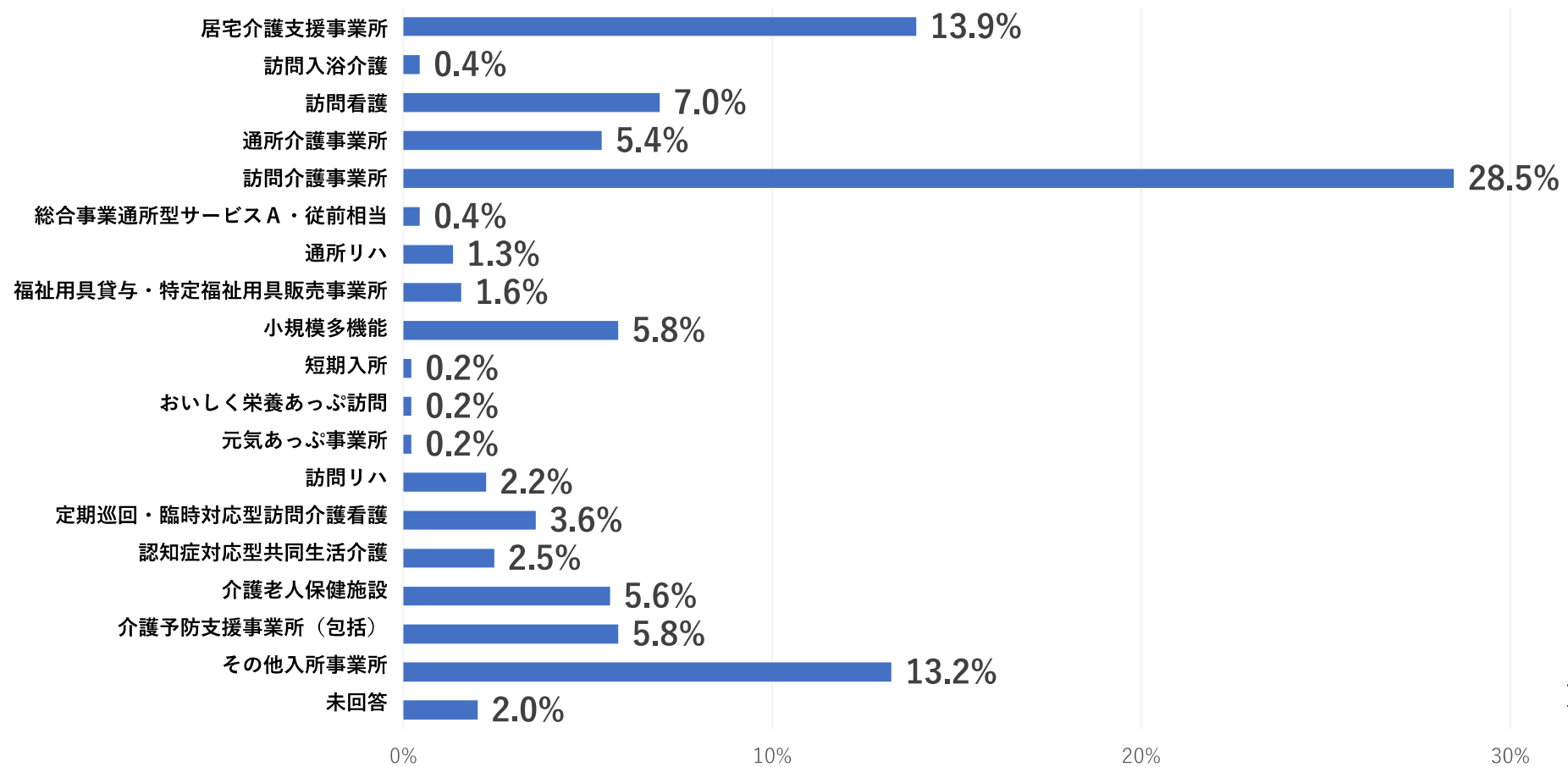
## ○雇用形態について○

全事業所では正社員が「83.6%」、次いで契約社員・嘱託職員が「7.6%」となっている。  
そのうち訪問介護については、正社員が「73.5%」、次いでパートが「14.4%」となっている。



## ○勤務先の事業所種別について○

「訪問介護事業所」が最も多く「28.5%」、次いで「居宅介護支援事業所」（13.9%）となっている。

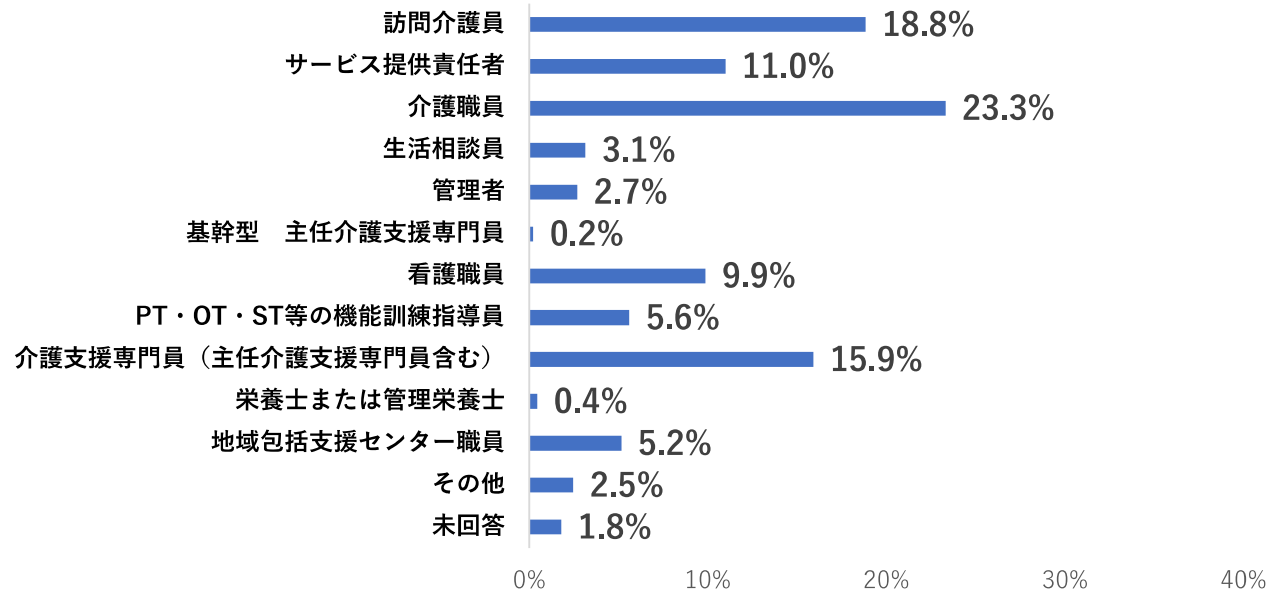


※回答者数 446人

## ○職種について○

全事業所では「介護職員」が最も多く「23.3%」、次いで「訪問介護員」（18.8%）となっている。  
そのうち訪問介護においては、「訪問介護員」（55.3%）、次いで「サービス提供責任者」（33.3%）となっている。

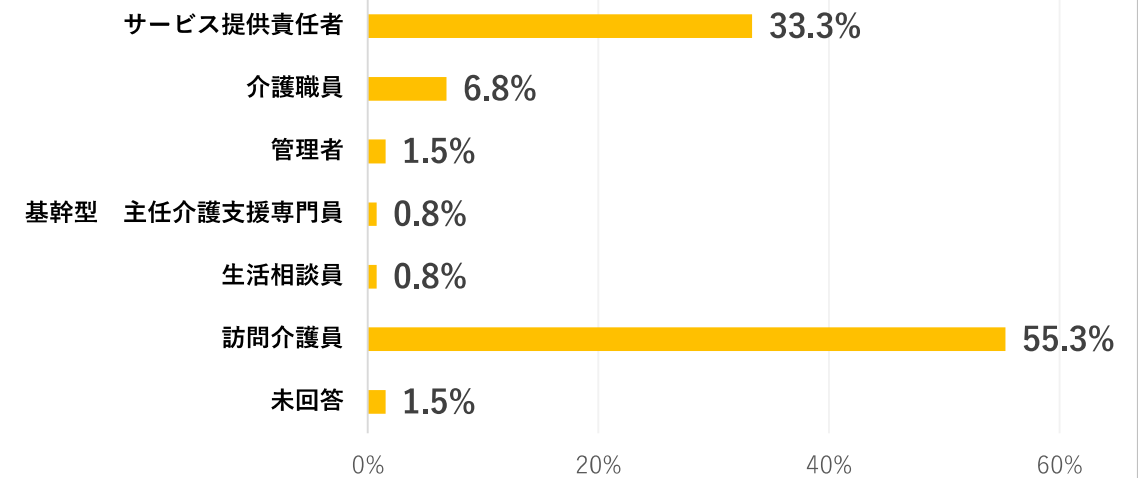
### 全事業所



※その他 事務職員 4 件、福祉用具専門相談員 5 件

※回答者数 4 4 6 人

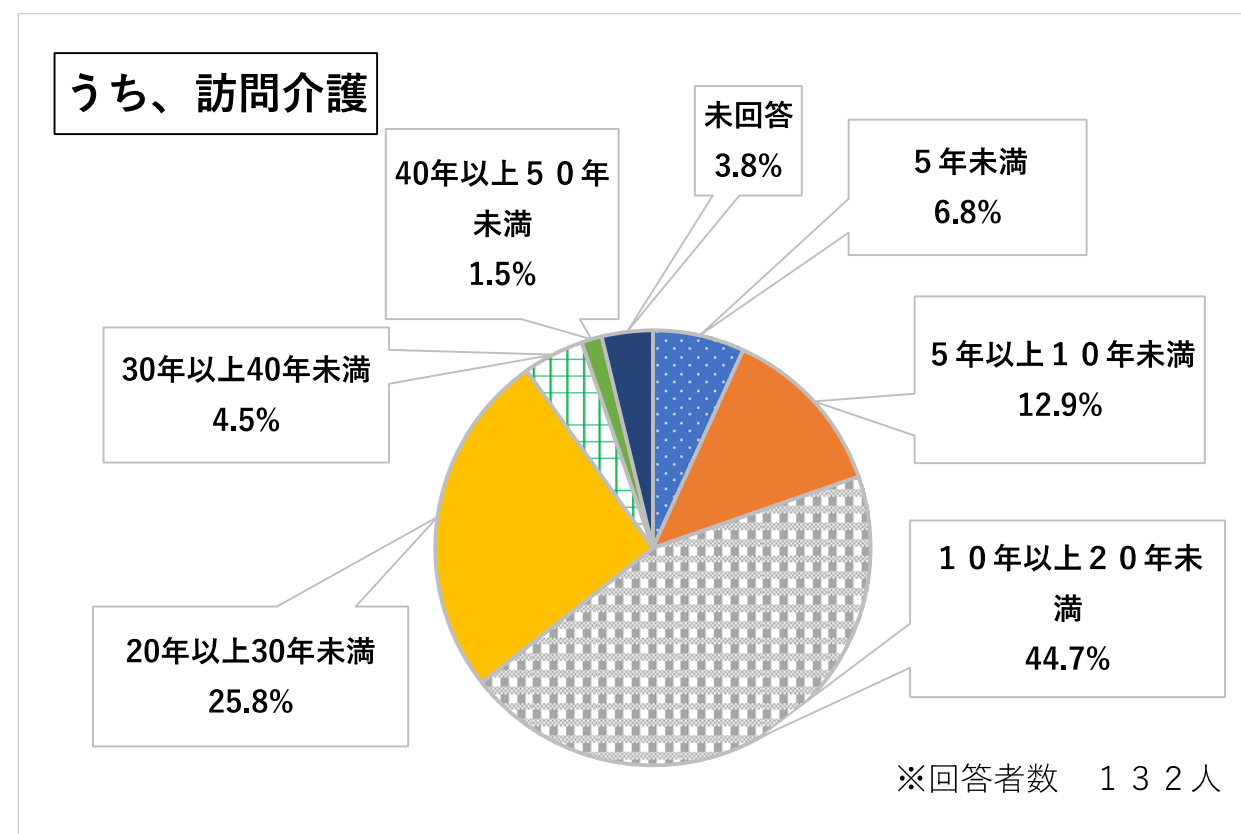
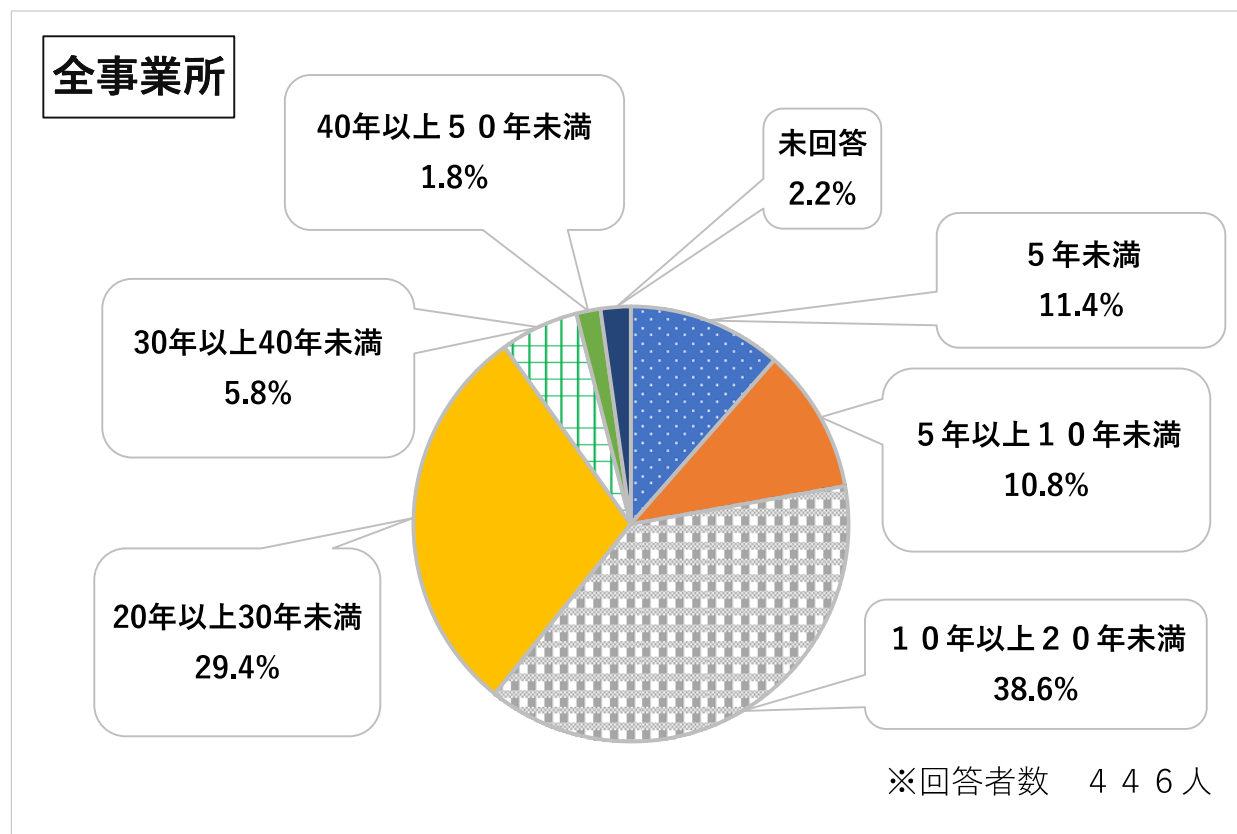
### うち、訪問介護



※回答者数 1 3 2 人

## ○介護・医療関係としての経験年数について○

全事業所・訪問介護ともに、「10年以上20年未満」が最も多く、「38.6%」「44.7%」となっている。

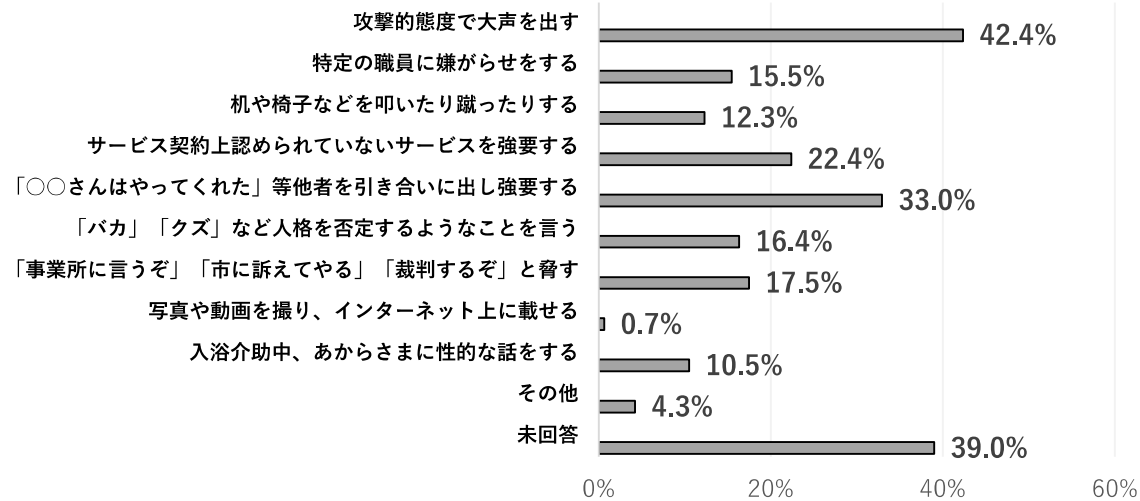


# 1. ハラスメントについて

## 問1. 以下の対応を受けたことがありますか(複数回答あり)

全事業所・訪問介護ともに「攻撃的態度で大声を出す」が最も多く、「42.4%」、「45.5%」となっている。

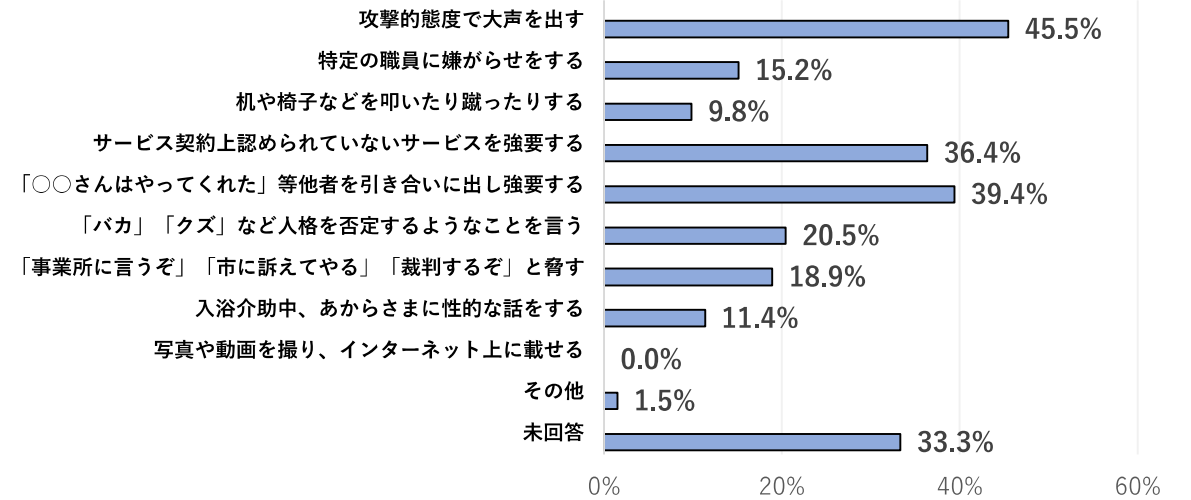
### 全事業所



※その他 セクハラ 7件、カメラによる監視 等

※回答者数 446人

### うち、訪問介護



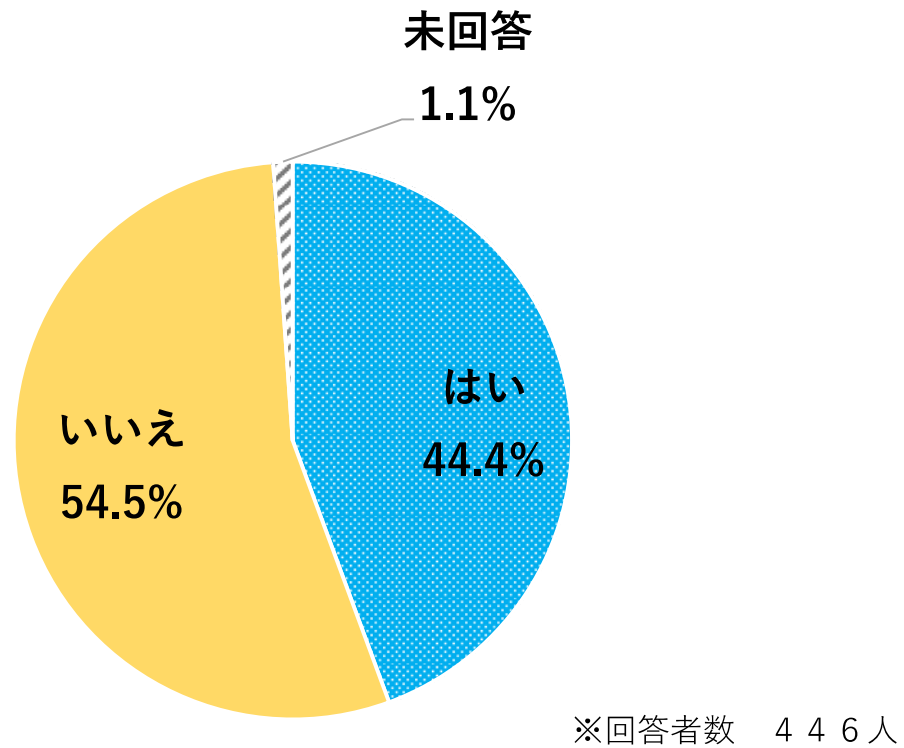
※その他 手を握って離さない、ベッド上で下半身を出している

※回答者数 132人

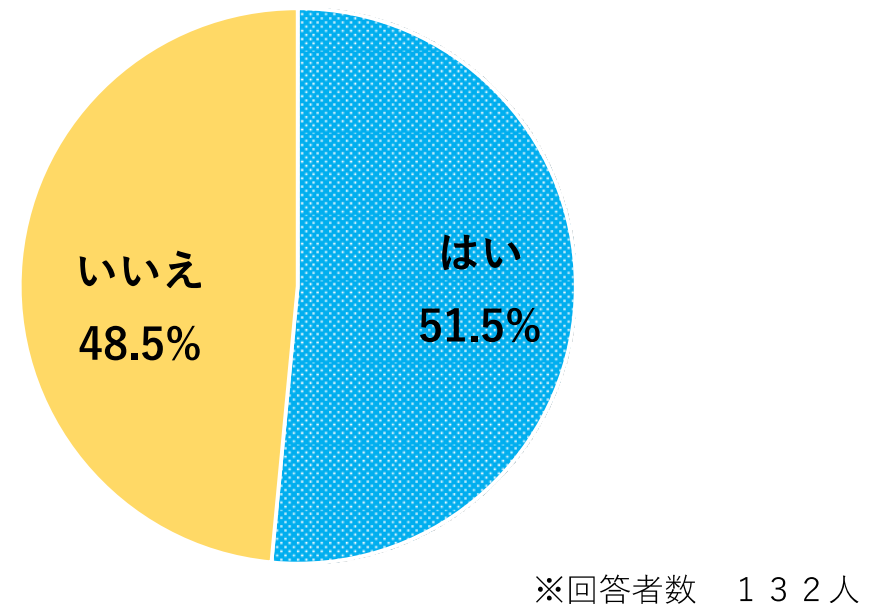
**問2.介護・医療の現場で利用者・患者・家族などから暴力、ハラスメントを受けたことがありますか**

「はい」と回答した割合は、全事業所が「44.4%」、そのうち訪問介護においては「51.5%」となっている。

**全事業所**



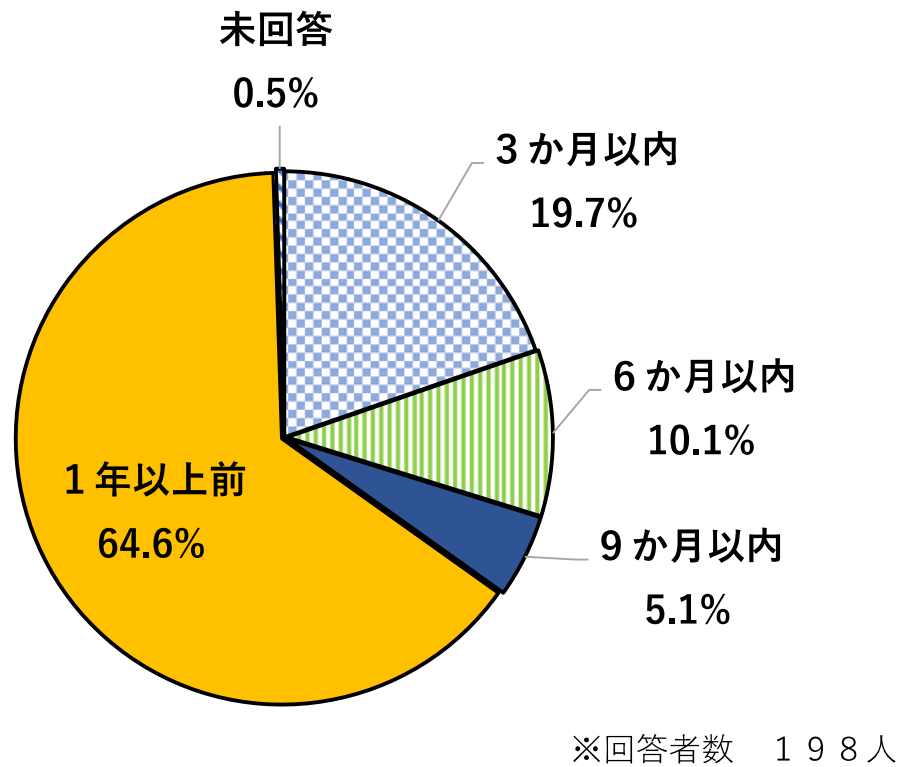
**うち、訪問介護**



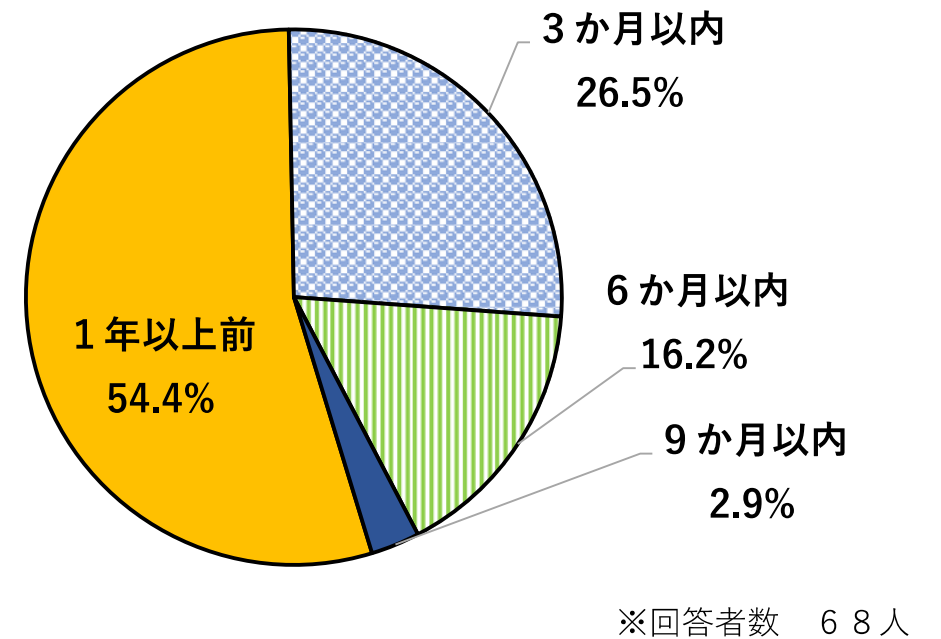
### 問3.ハラスメントを受けたのはいつ頃ですか

全事業所・訪問介護ともに「1年以上前」が最も多く、「64.6%」、「54.4%」となっている。

全事業所



うち、訪問介護



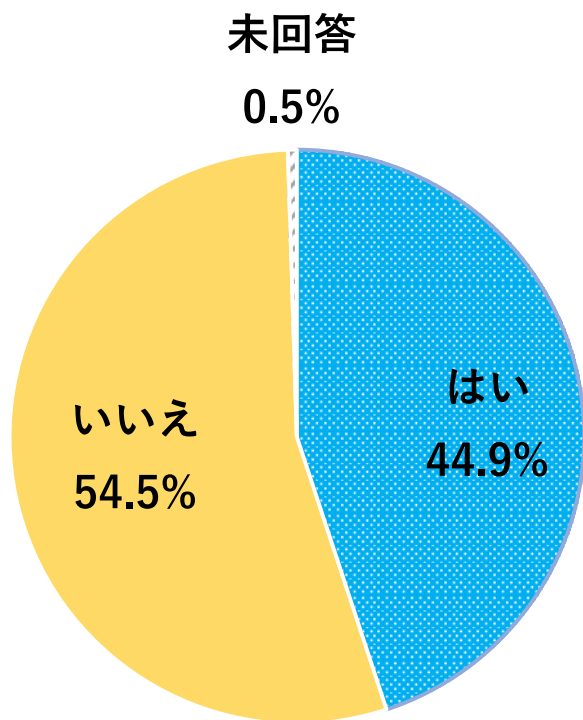
※回答者数について 問2で「ハラスメントを受けたことがある」とした回答のみカウント



**問4. これまでハラスメントを理由に転職・退職を考えたことはありますか**

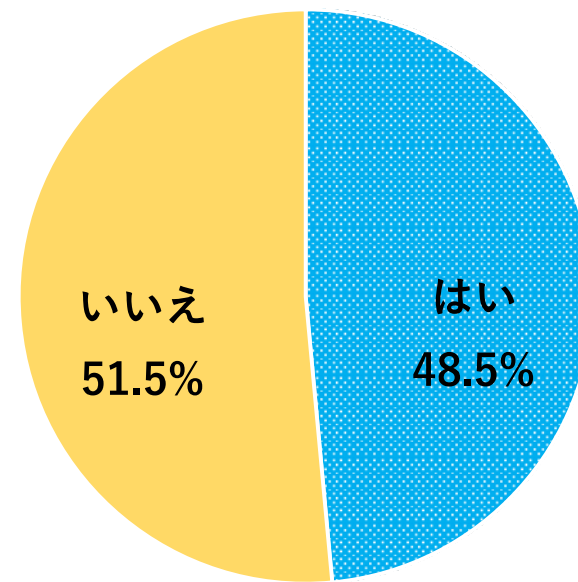
「はい」と回答した割合は、全事業所は「44.9%」、そのうち訪問介護においては「48.5%」となっている。

**全事業所**



※回答者数 198人

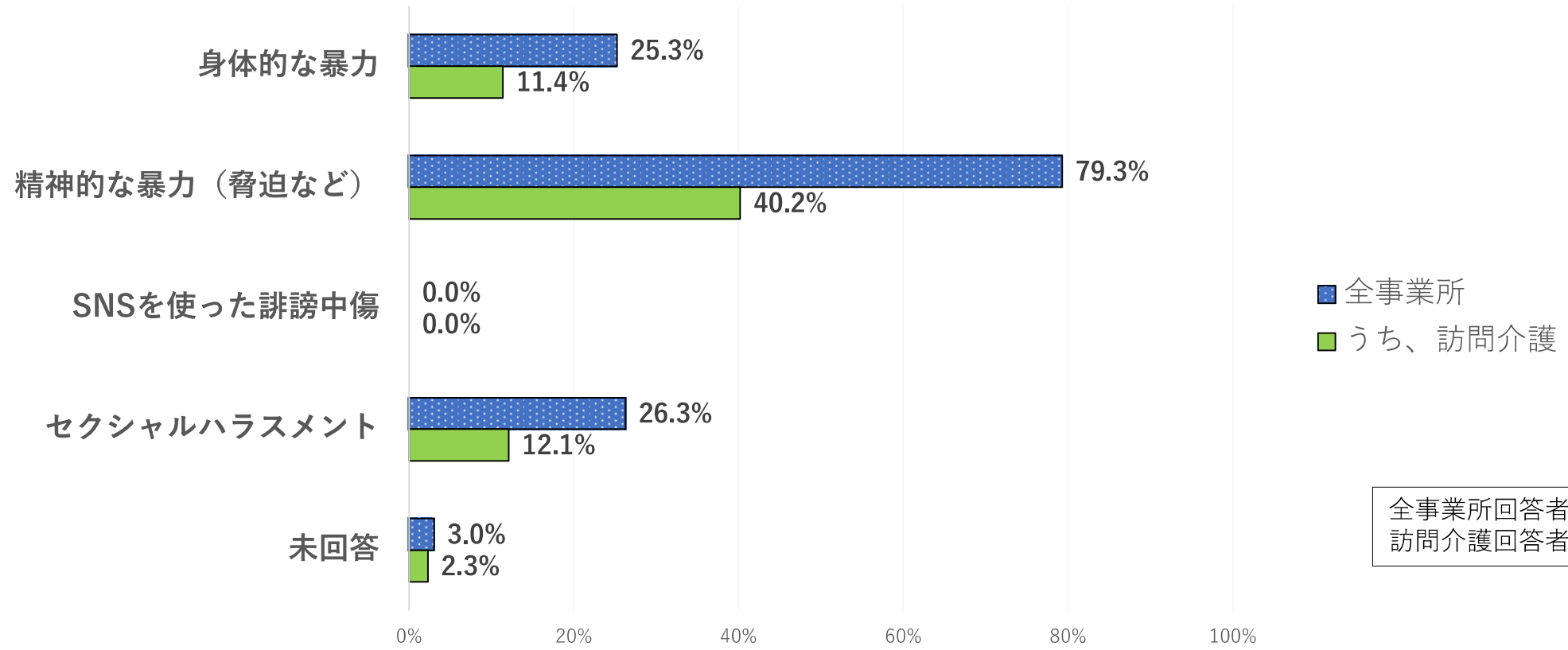
**うち、訪問介護**



※回答者数 68人

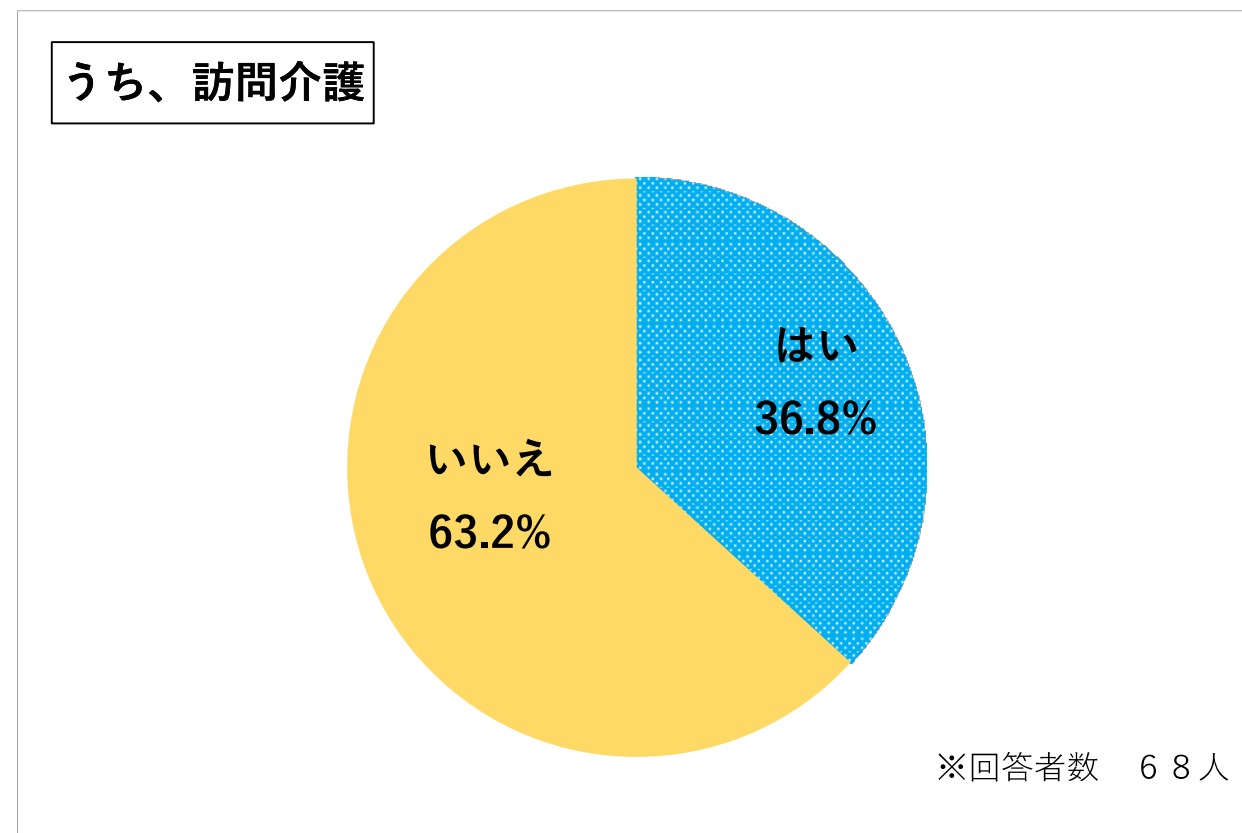
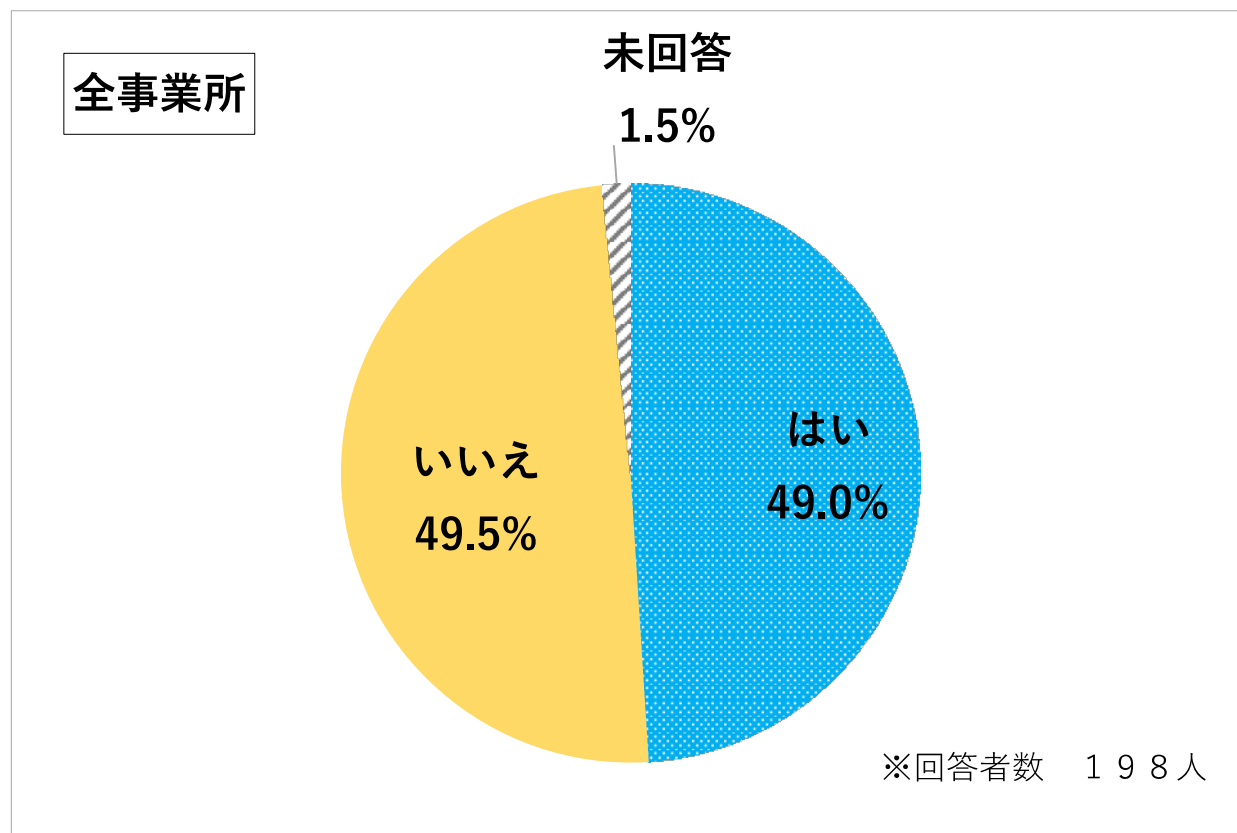
## 問5.どんな暴力・ハラスメントを受けましたか（複数回答あり）

全事業所・訪問介護ともに「精神的な暴力（脅迫など）」が最も多く「79.3%」、「40.2%」となっている。



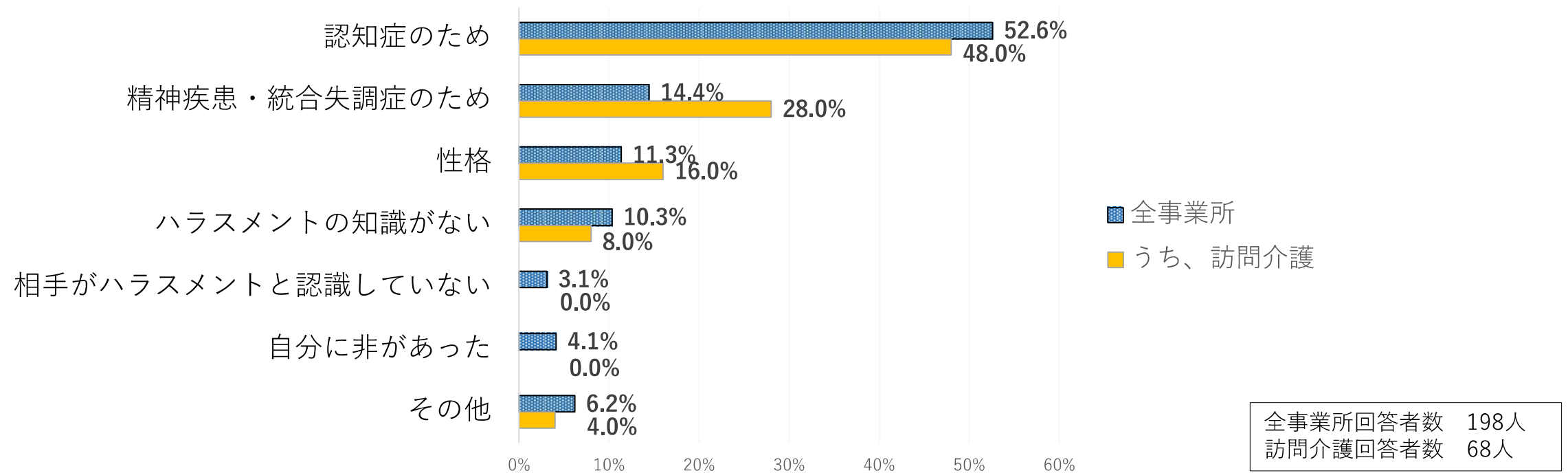
## 問6.ハラスメントかどうか判断に迷う事例はありましたか

「はい」と回答した割合について、全事業所は「49.0%」、そのうち訪問介護においては「36.8%」となっている。



## 問7. 問6で判断に迷った理由を教えてください（複数回答あり）

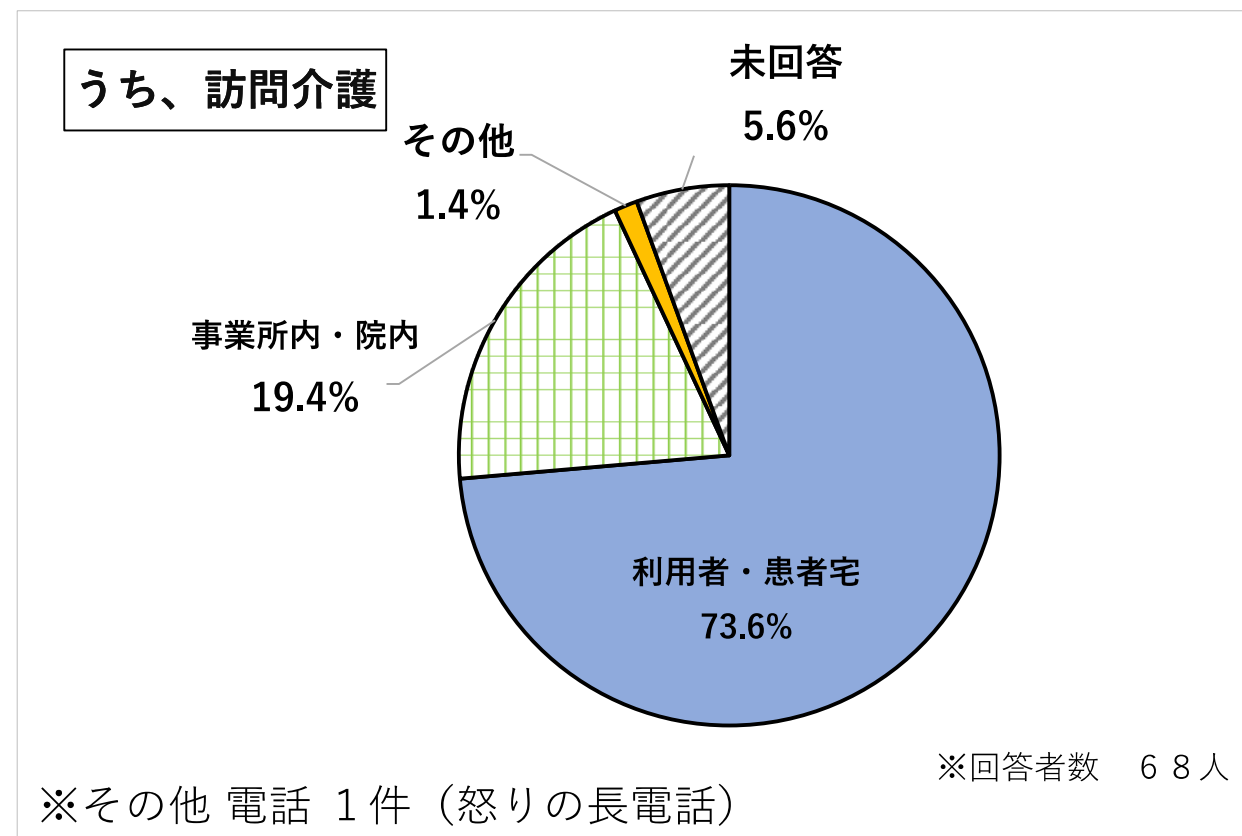
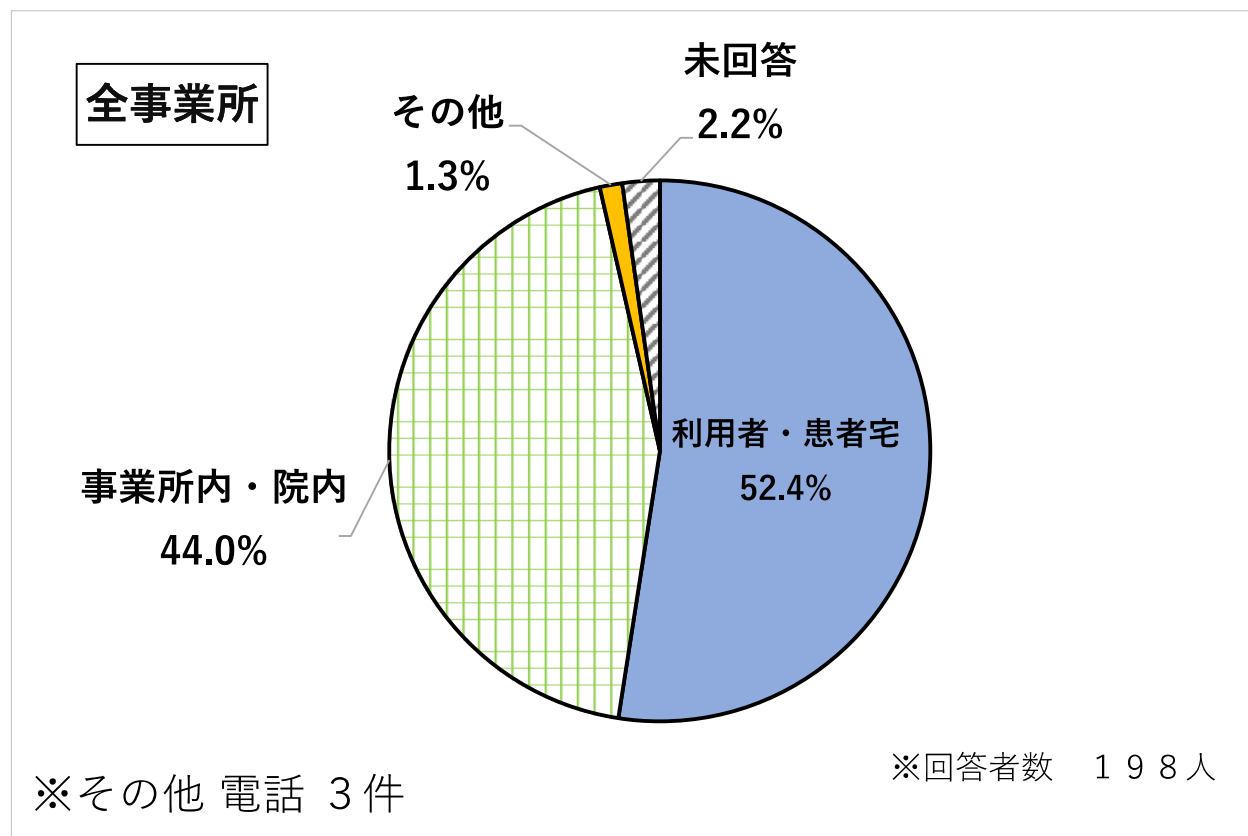
全事業所・訪問介護ともに「認知症のため」が最も多く、「52.6%」、「48.0%」となっている。



※その他 挨拶したが無視された、常態化していた、他者がいないため立証できない、来客からのハラスメント、電話のため相手の表情がわからない

# 問8. 暴力・ハラスメントを受けた場所はどこですか

全事業所・訪問介護ともに「利用者・患者宅」が最も多く、「52.4%」、「73.6%」となっている。

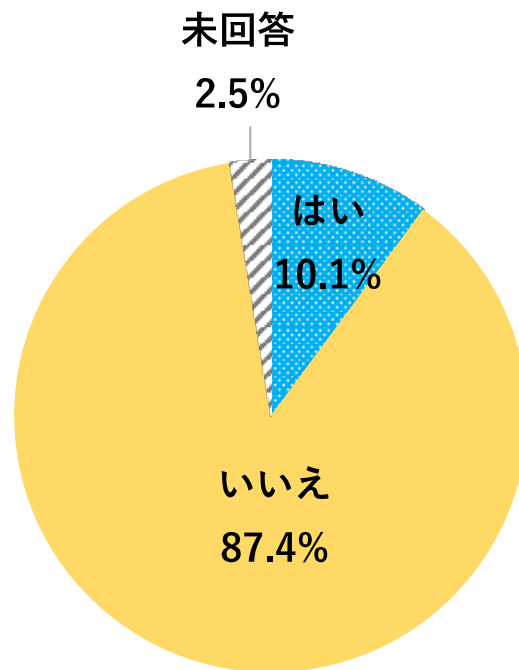


※問9欠番

**問10.暴力により生命の危険を感じたことがありますか**

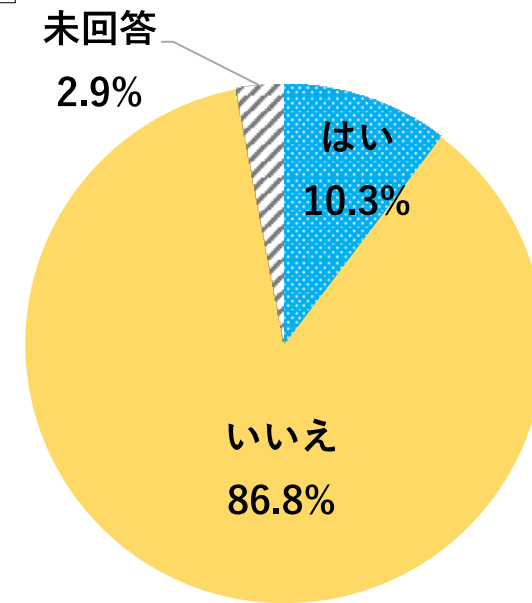
「はい」と回答した割合は、全事業所「10.1%」、そのうち訪問介護においては「10.3%」となっている。

全事業所



※回答者数 198人

うち、訪問介護



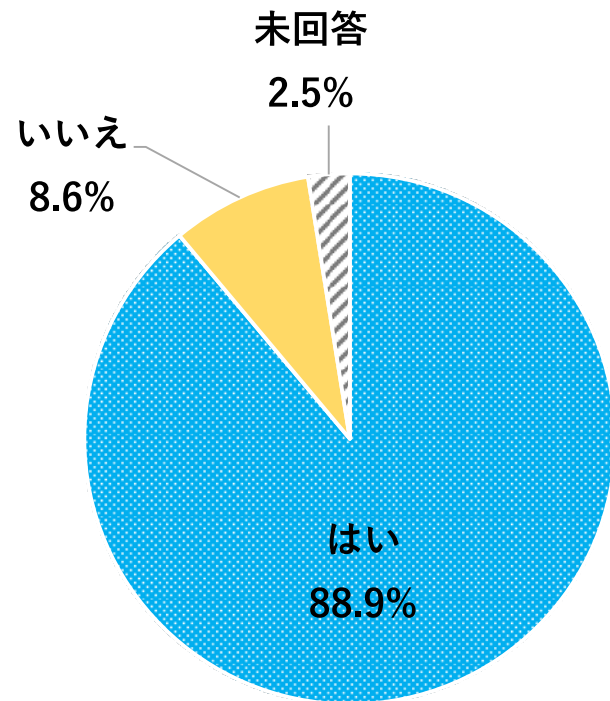
※回答者数 68人

# チームケア

## 問11. ハラスメントを受けた際、勤務先へ報告しましたか

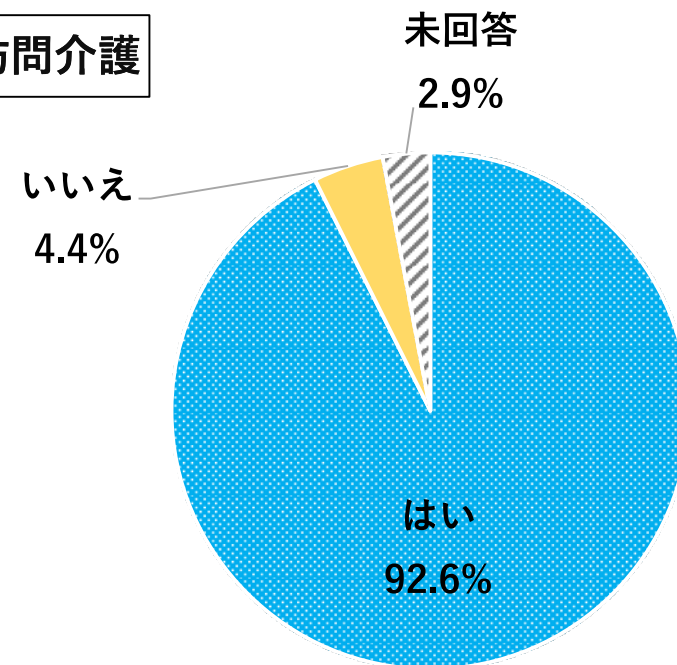
「はい」と回答した割合は、全事業所が「88.9%」、そのうち訪問介護においては「92.6%」となっている。

全事業所



※回答者数 198人

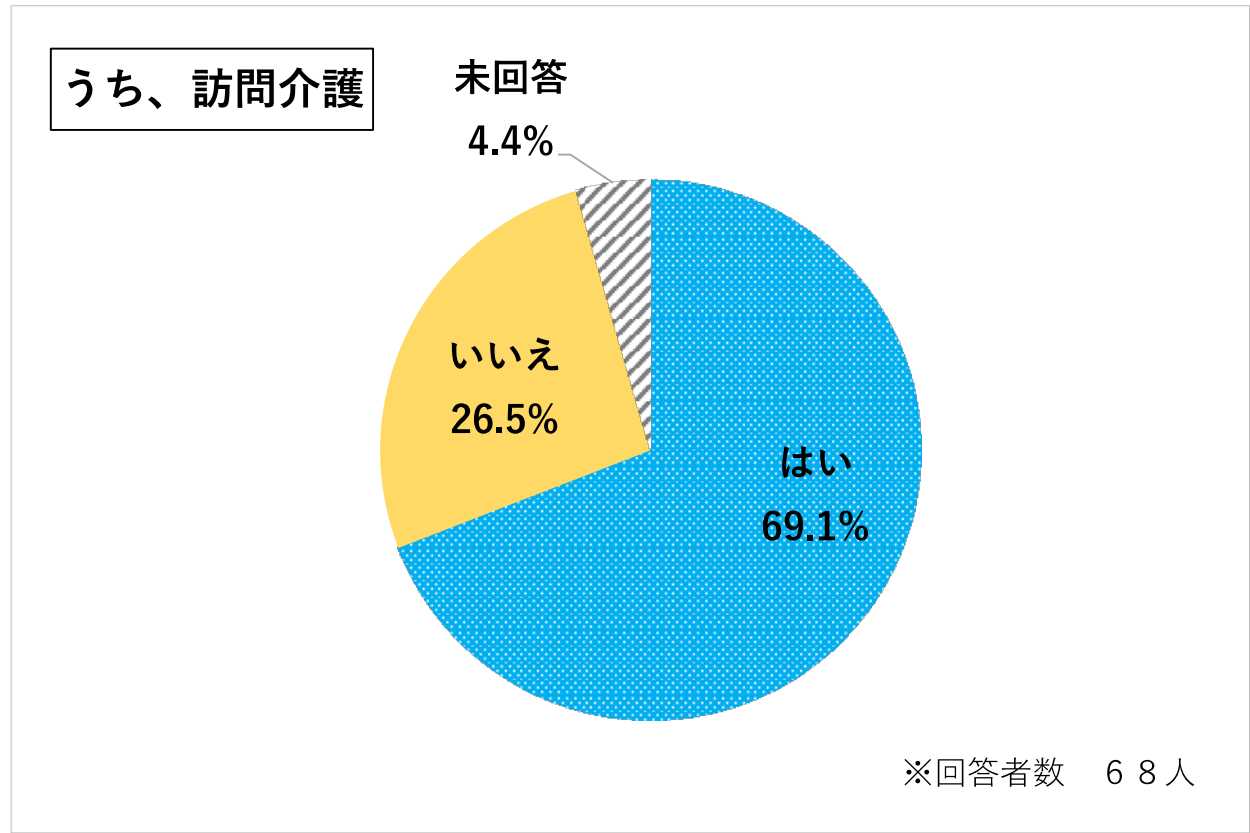
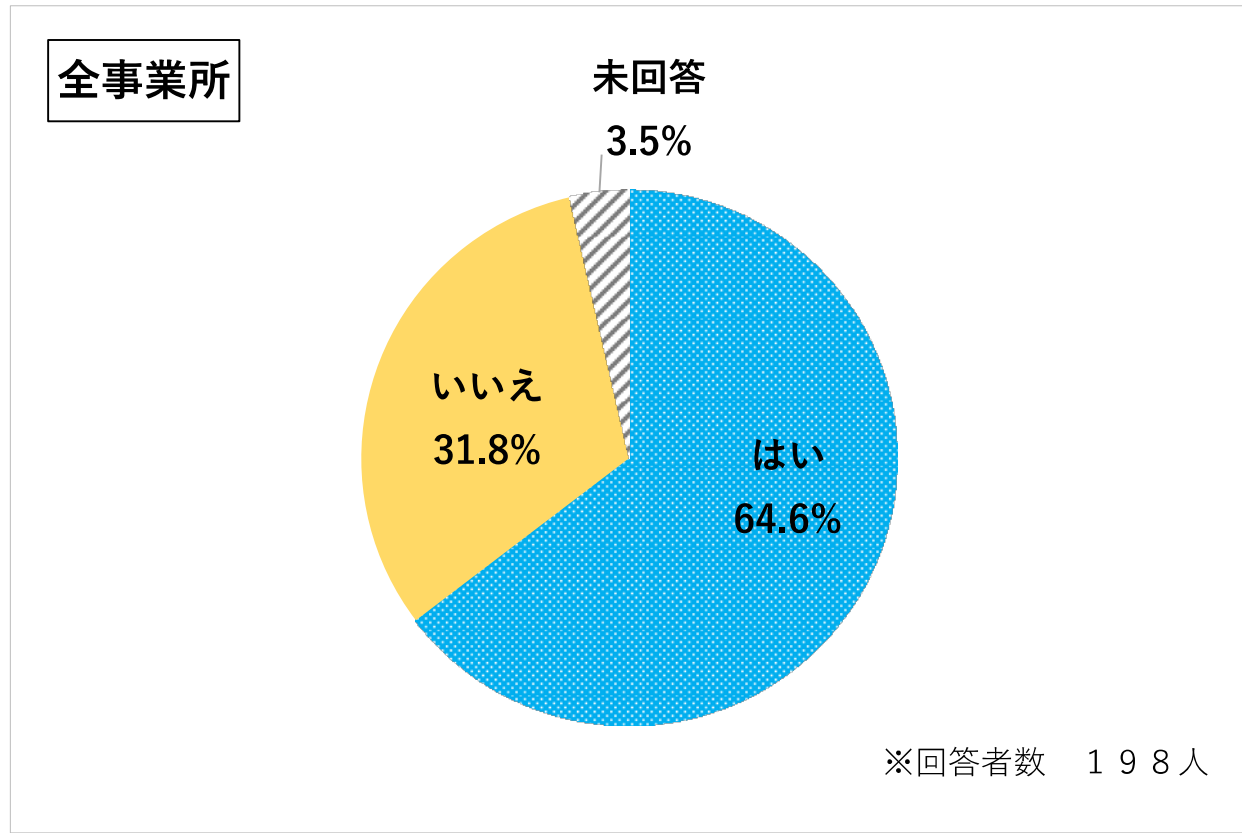
うち、訪問介護



※回答者数 68人

## 問12. ハラスメントを受けた際、勤務先は対策を取ってくれましたか

「はい」と回答した割合は、全事業所が「64.6%」、そのうち訪問介護においては「69.1%」となっている。

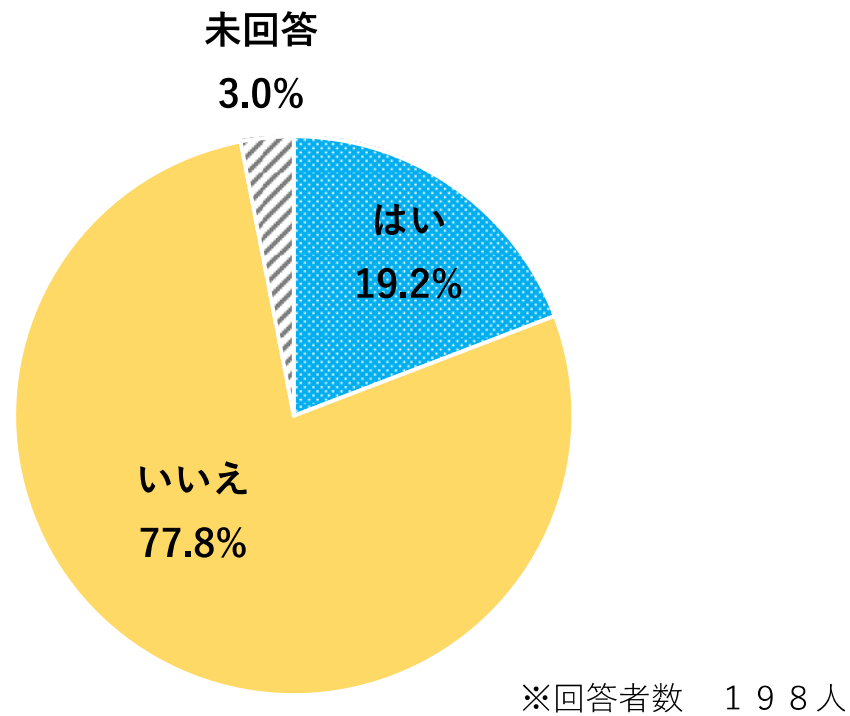




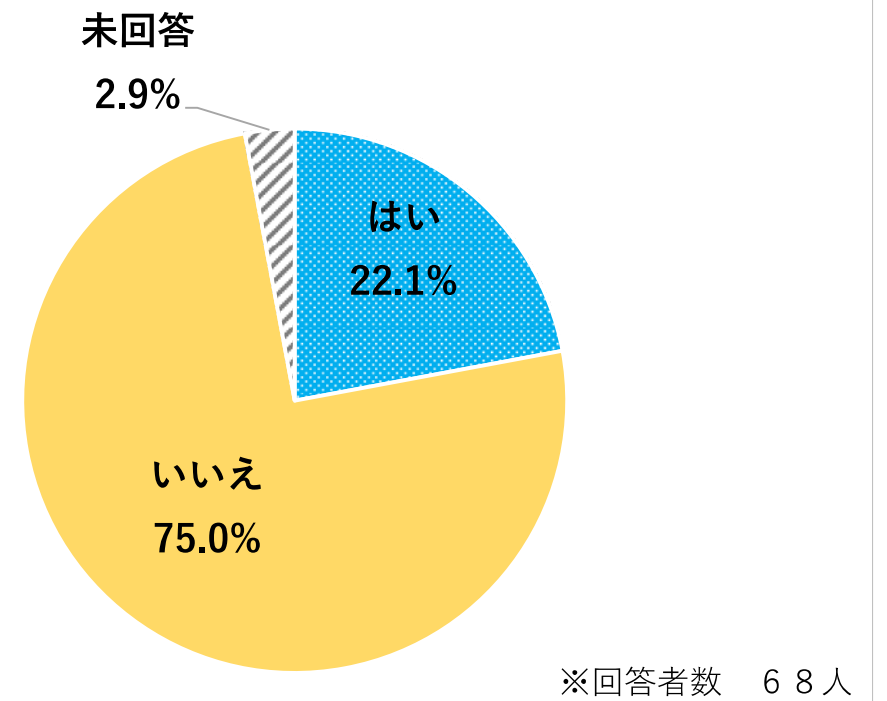
### 問13. 報告をした際、職場内から否定的な発言を受けたことがありますか

「はい」と回答した割合は、全事業所が「19.2%」、そのうち訪問介護においては「22.1%」となっている。

全事業所



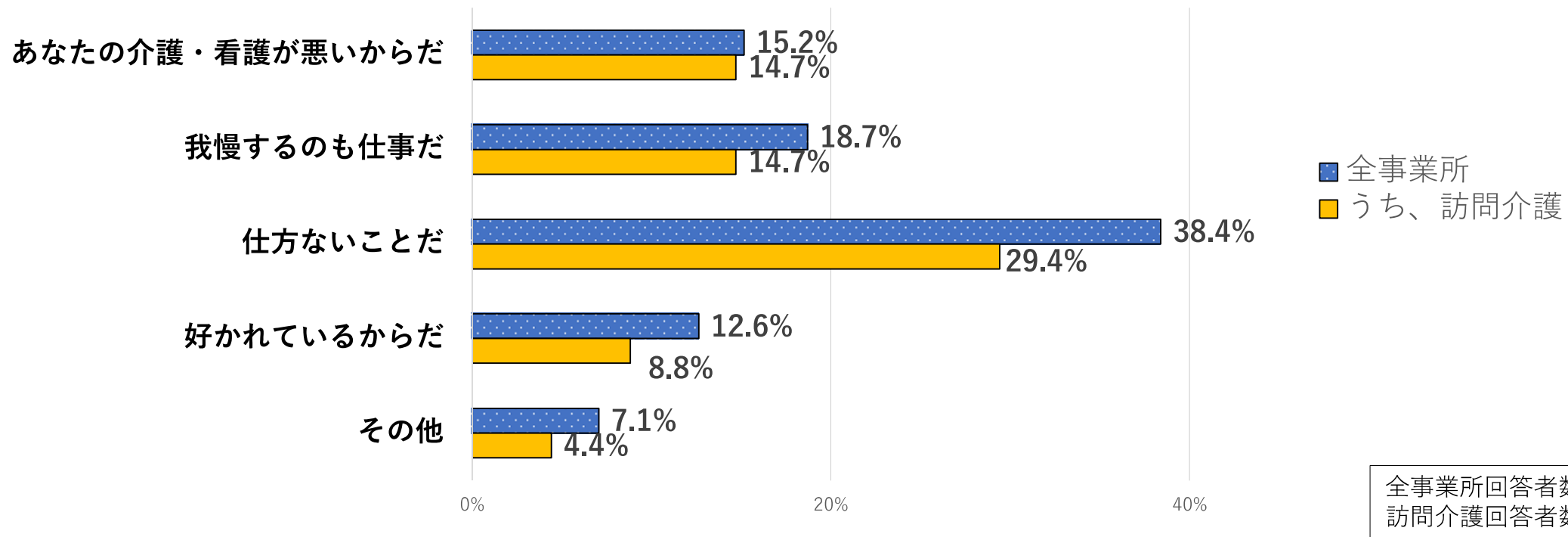
うち、訪問介護



## 問14. 以下のような発言を受けたことがありますか（複数回答あり）

全事業所は「仕方ないことだ」（38.4%）が最も多く、次いで「我慢するのも仕事だ」（18.7%）となっている。

そのうち訪問介護においては「仕方ないことだ」（29.4%）が最も多く、次いで「我慢するのも仕事だ」「あなたの介護・看護が悪いからだ」（14.7%）となっている。

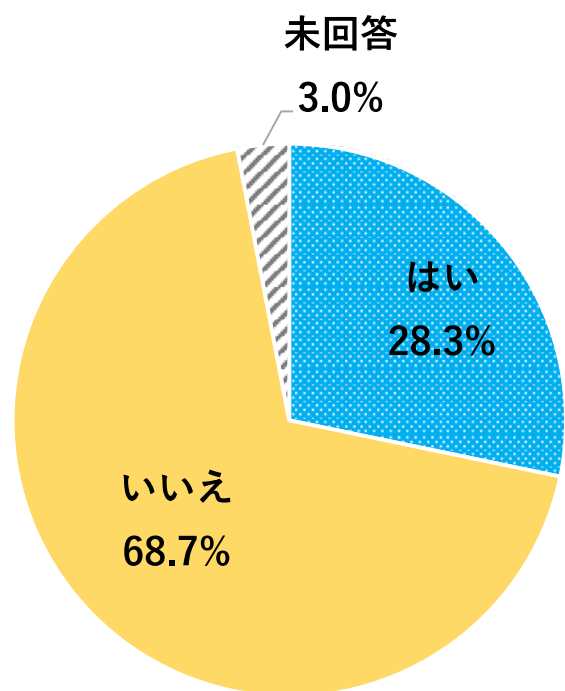


※その他 対応が遅い、連絡がない、

**問15. ハラスメントを受けた後、そのことに対して同じ利用者に関わっている別の事業所から否定的な発言を受けたことはありますか**

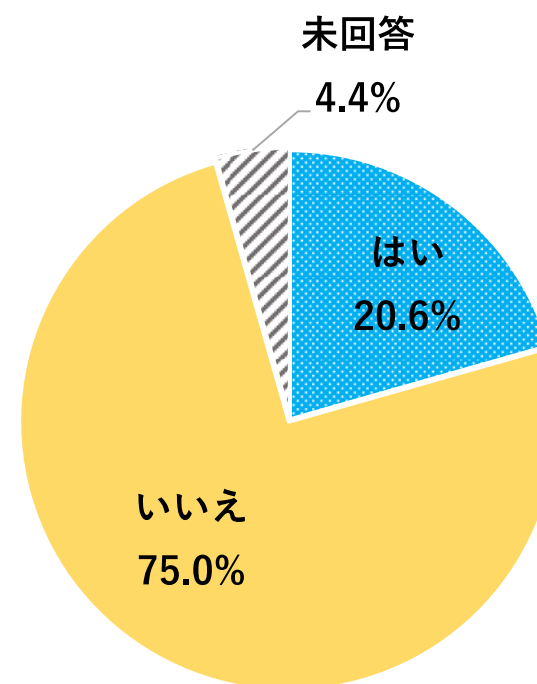
「はい」と回答した割合は、全事業所では「28.3%」、そのうち訪問介護においては「20.6%」となっている。

全事業所



※回答者数 198人

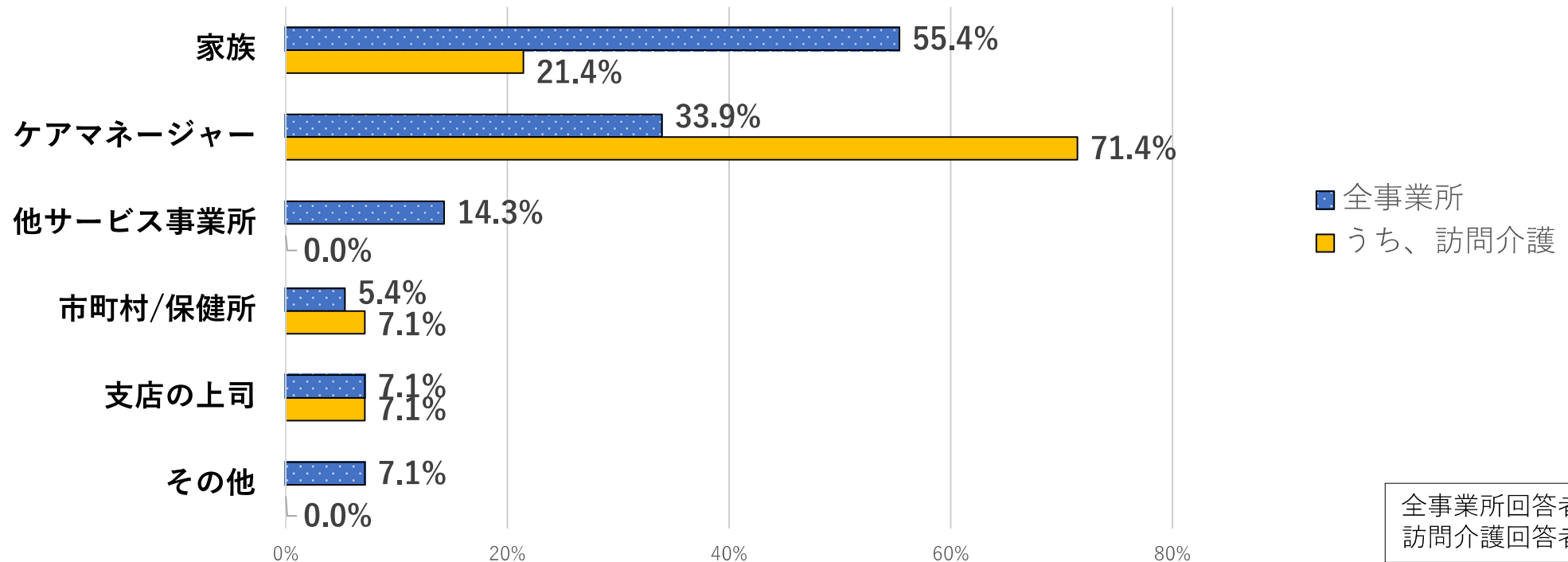
うち、訪問介護



※回答者数 68人

## 問 1 6. 否定的な発言は誰から受けましたか（複数回答あり）

全事業所では「家族」（55.4%）が最も多く、次いで「ケアマネージャー」（33.9%）となっている。  
そのうち訪問介護においては「ケアマネージャー」（71.4%）が最も多く、次いで「家族」（21.4%）となっている。



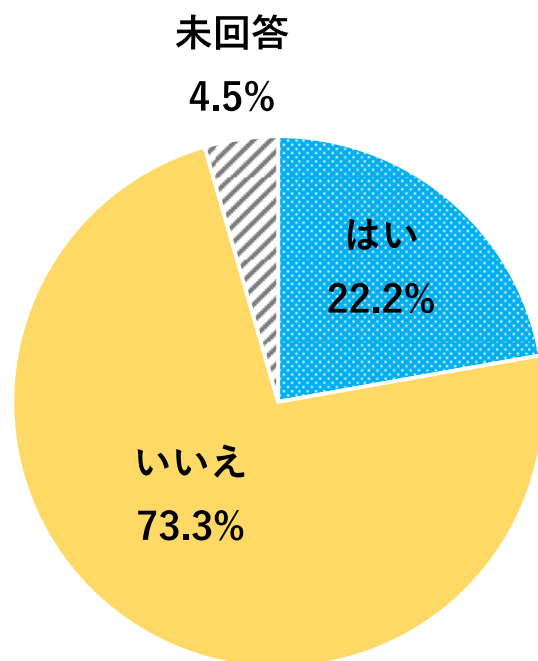
※その他 同僚、医療関係者

※回答者数について 問 1 5 で「否定的な発言を受けたことがある」とした回答のみカウント

## 問17. ハラスメントに対し、他事業所と連携した事例はありましたか

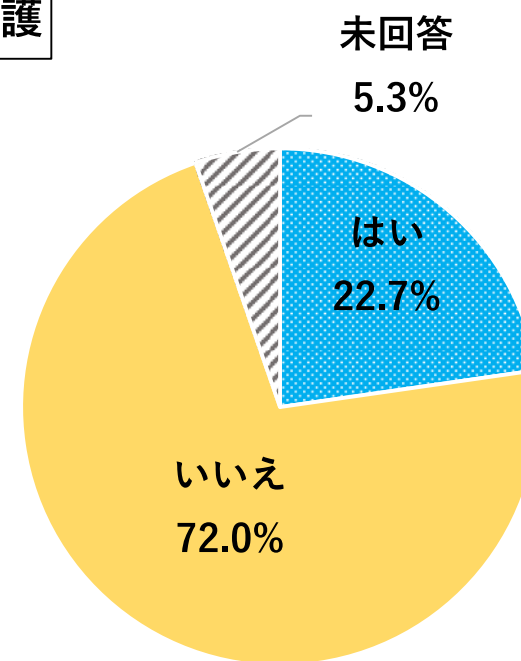
「はい」と回答した割合は、全事業所では「22.2%」、そのうち訪問介護においては「22.7%」となっている。

全事業所



※回答者数 446人

うち、訪問介護

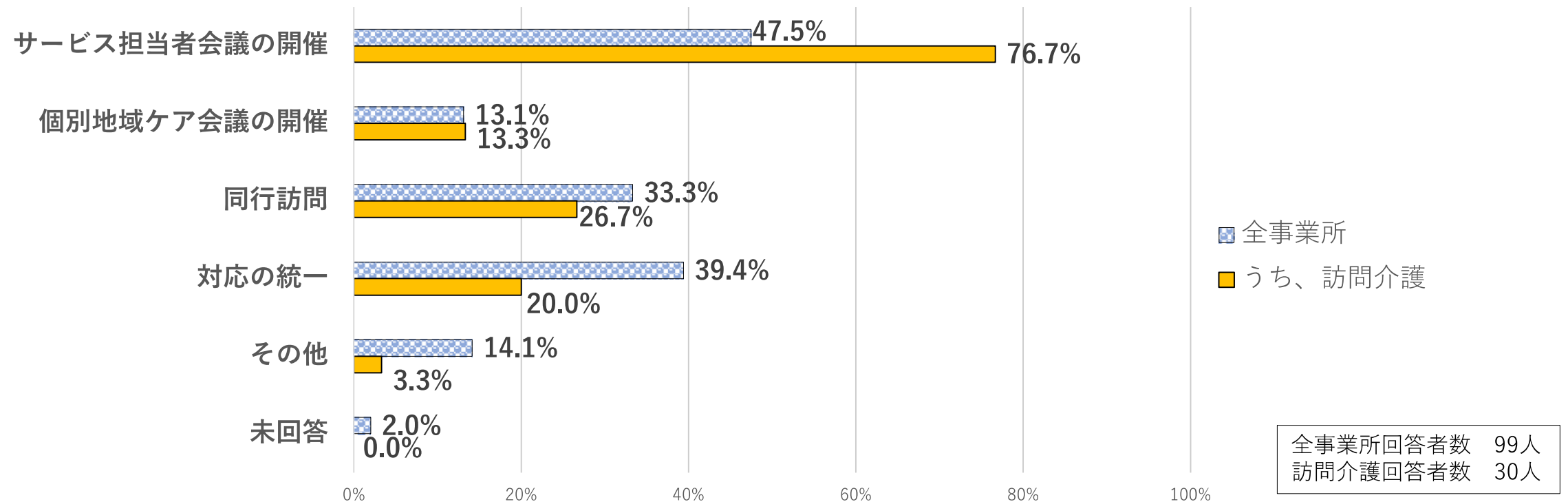


※回答者数 132人

## 問18. どのような連携・対応でしたか（複数回答あり）

全事業所では、「サービス担当者会議の開催」（47.5%）、次いで「対応の統一」（39.4%）となっている。

そのうち訪問介護においては「サービス担当者会議の開催」（76.7%）、次いで「同行訪問」（26.7%）となっている。

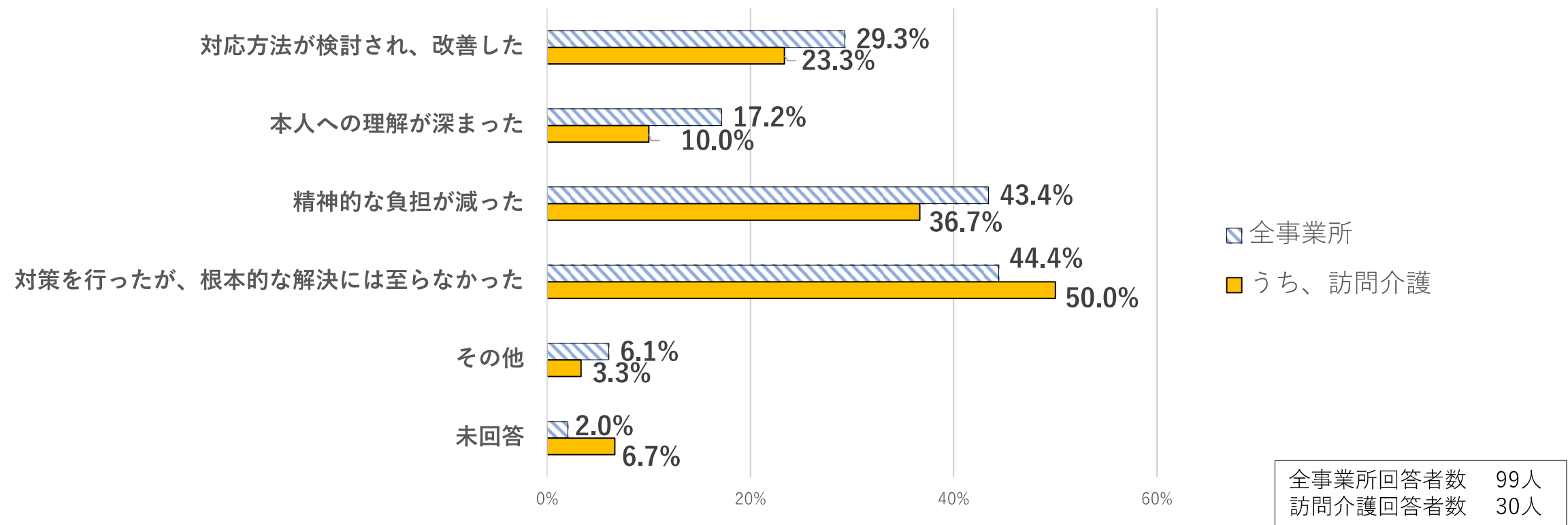


※その他 包括へ報告 5件、ケアマネと情報共有 7件、別施設に移ってもらった 1件

※回答者数について 問17で「他事業所と連携した事例がある」とした回答のみカウント

## 問19. 連携・対応後、どのような変化がありましたか（複数回答あり）

全事業所・訪問介護ともに、「対策を行ったが、根本的な解決には至らなかった」が最も多く、「44.4%」、「50.0%」となっている。



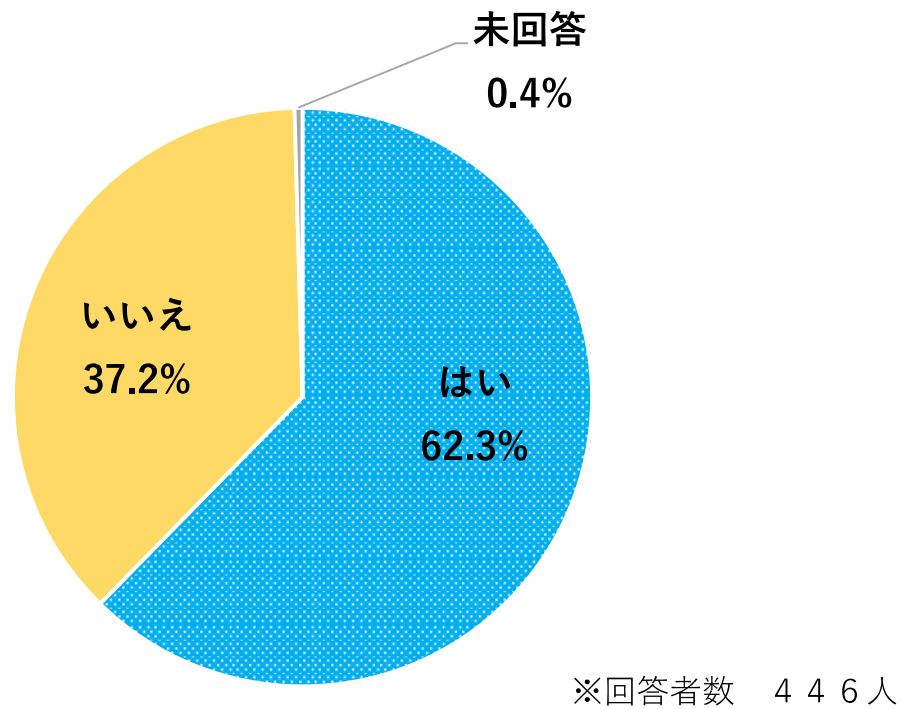
※その他 契約解除、担当替え、エスカレートした

## 2. 研修について

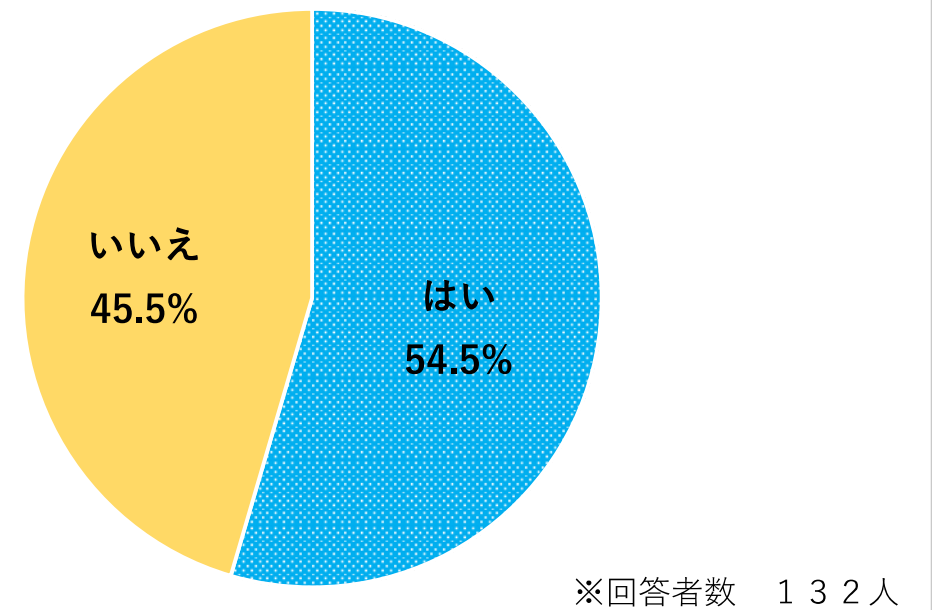
### 問1. ハラスメント対策に関する研修を受けたことがありますか

「はい」と回答した割合は、全事業所では「62.3%」、そのうち訪問介護においては「54.5%」となっている。

全事業所



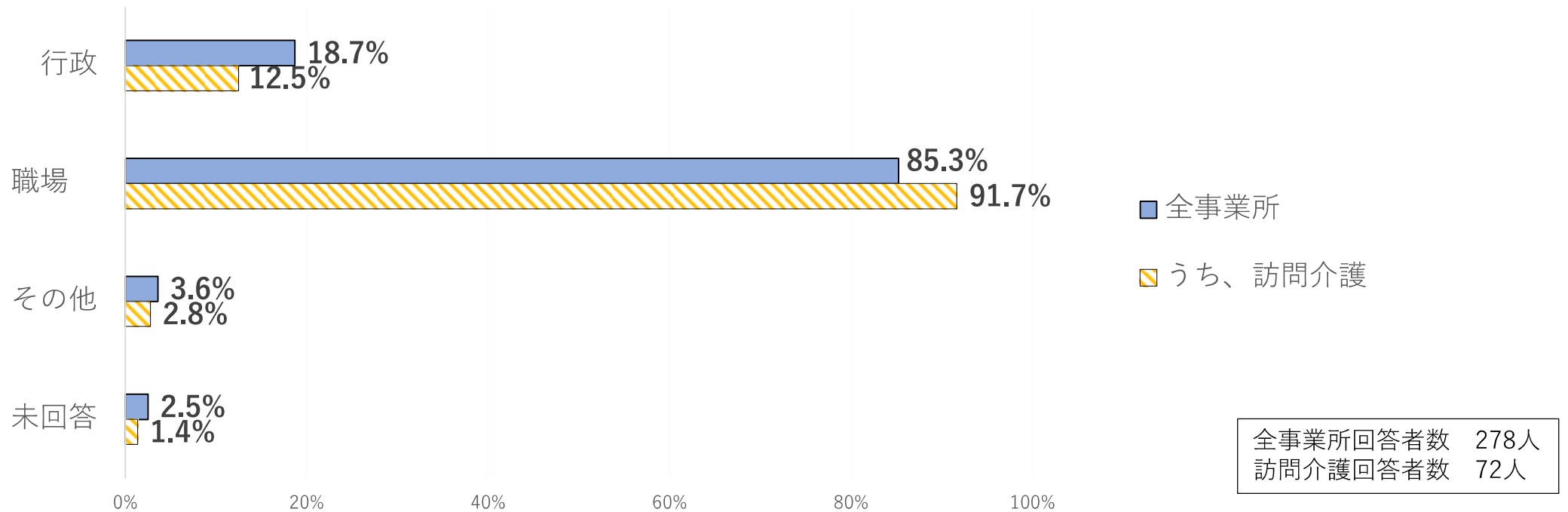
うち、訪問介護





## 問2. その研修はどこが主催のものでしたか（複数回答あり）

全事業所・訪問介護ともに「職場」が最も多く、「85.3%」、「91.7%」となっている。



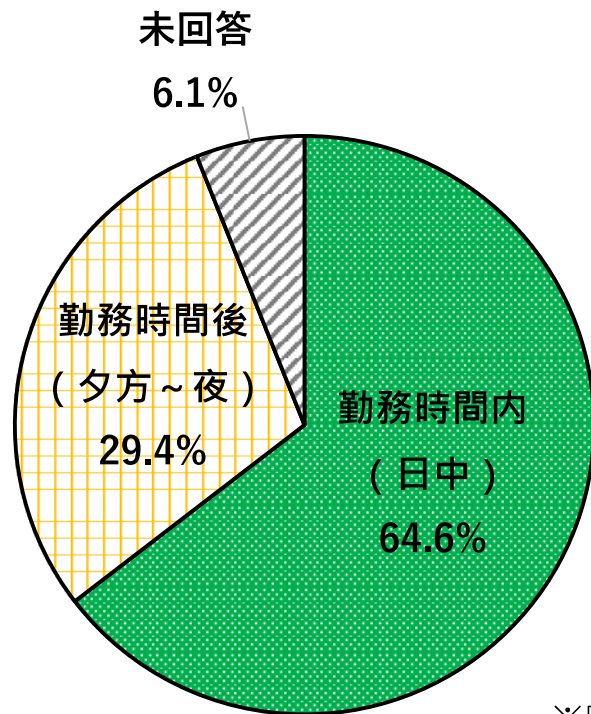
※その他 研修の受託機関主催のもの、日本ケアサプライ、オンライン研修、フリーランス所属企業、山形県看護協会

※回答者数について 問1で「ハラスメント対策に関する研修を受けたことがある」とした回答のみカウント

### 問3.ハラスメントの研修を受ける際、どのような時間帯が受けやすいですか

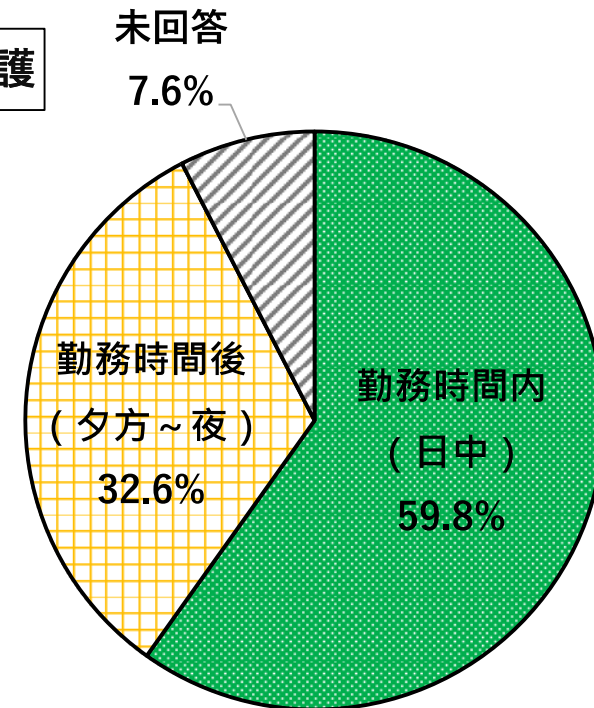
全事業所・訪問介護ともに「勤務時間内（日中）」が最も多く、「64.6%」、「59.8%」となっている。

全事業所



※回答者数 446人

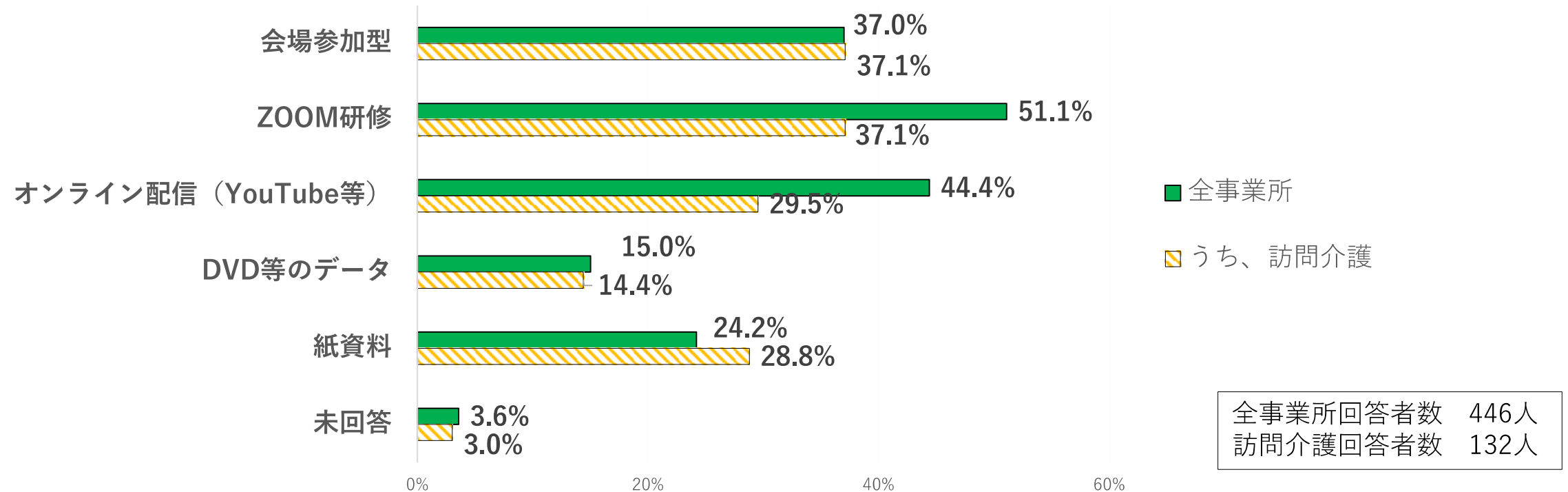
うち、訪問介護



※回答者数 132人

#### 問4. ハラスメントの研修を受ける際、どのような形式だと受けやすいですか（複数回答あり）

最も多かったのは、全事業所では「ZOOM研修」（51.1%）、そのうち訪問介護においては「ZOOM研修」と「会場参加型」（37.1%）となっている。

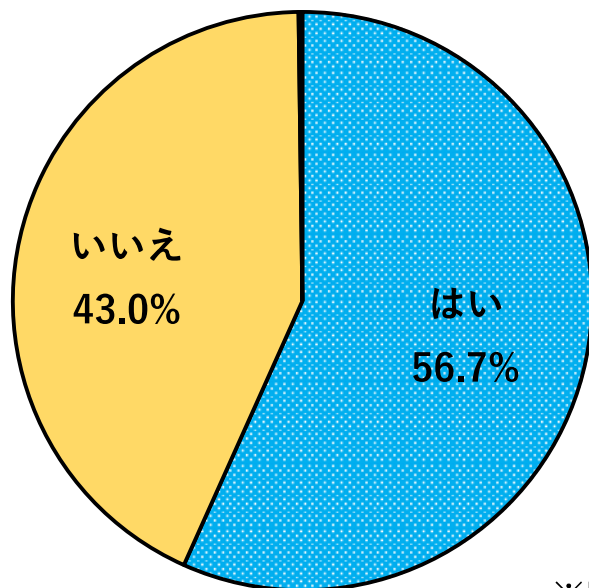


### 3. その他

問1. 『介護現場におけるハラスメント対策マニュアル』（厚生労働省）を知っていますか

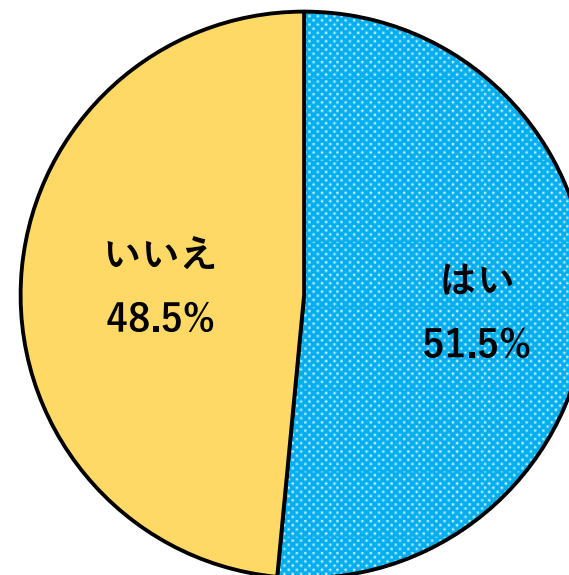
「はい」と回答した割合について、全事業所では「56.7%」、そのうち訪問介護においては「51.5%」となっている。

全事業所



※回答者数 446人

うち、訪問介護

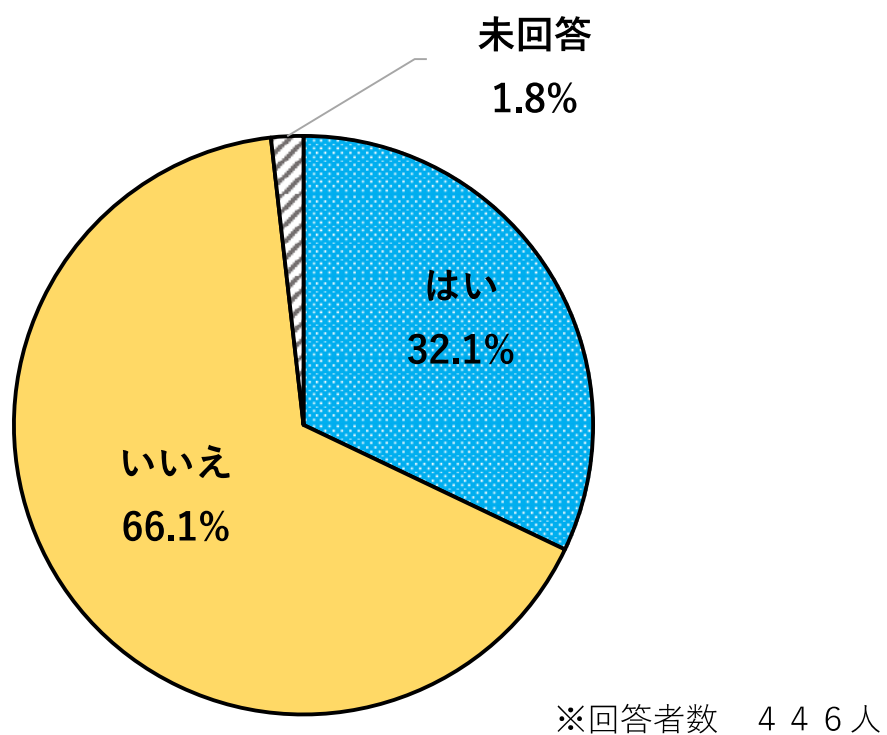


※回答者数 132人

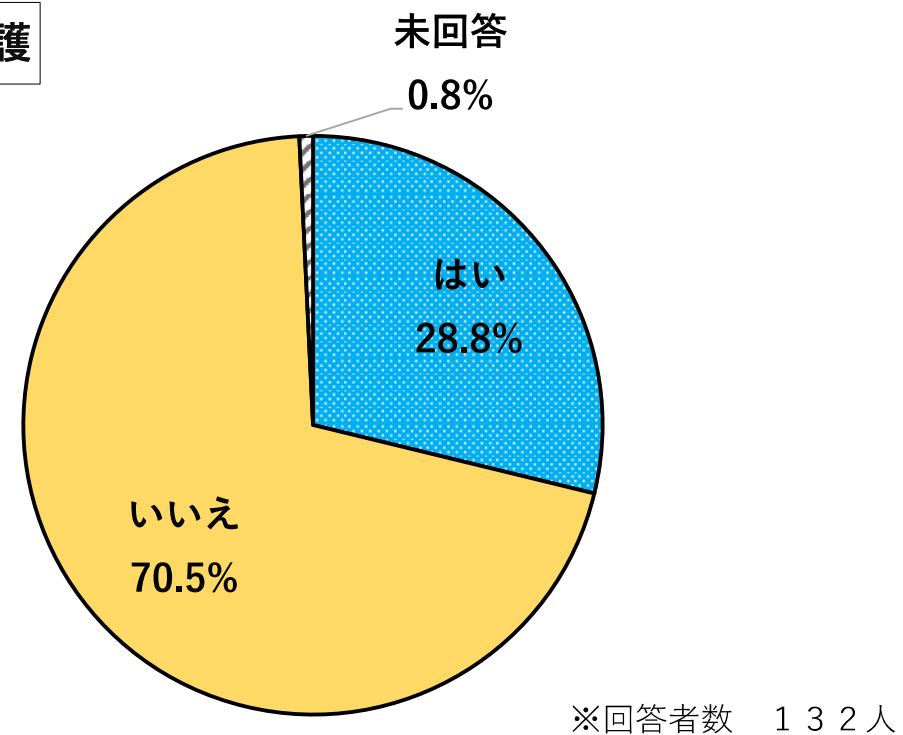
## 問2. 『介護現場におけるハラスメント対策マニュアル』を活用していますか

「はい」と回答した割合について、全事業所では「32.1%」、そのうち訪問介護においては「28.8%」となっている。

全事業所



うち、訪問介護



# 令和6年度の取組(案)

資料4

## 介護人材の確保につながる場の創出

項目	内容等	目標・実績
① 介護の職業体験イベント	<p>介護サービス事業者団体、学校関係者等との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、中・高校生を主な対象として、介護の仕事の模擬体験やKAiGO PRiDEによる魅力発信を通して、介護の仕事を正しく理解してもらう。</p> <p>○事業内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の仕事体験 車椅子の移動介助、歩行介助体験など</li> <li>・KAiGO PRiDE動画上映</li> <li>・介護職員ポートレート展示会</li> <li>・介護職養成校の紹介</li> <li>・就職相談</li> </ul> <p>※具体的な事業内容については、今後関係者で協議</p>	<p>【目標】 参加者数 350人</p>

## 「介護人材の確保・定着」の取組

項目	内容等	目標・実績
① 介護の魅力発信	<p>介護サービス事業者団体等との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 クリエイティブの力で介護をブランディングする「KAiGO PRiDE」の取組を通し、TVやSNS等のメディアを活用して、広く介護の魅力を発信する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビCM放送、YouTube配信</li> <li>・学生制作動画の発信、YouTube配信</li> <li>・介護職員ポートレート展示会</li> </ul>	<p>【目標】 参加者数 350人</p>
KAiGOのおしごとひろばの開催	<p>介護サービス事業者団体、学校関係者等との連携(再掲)</p>	
介護魅力発信事業費補助 (Yamagata KAiGO-LiNK構築事業)	<p>教育機関・学生等との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 情報発信や介護業界に詳しいコーディネーターを中心に、福祉関係の学生有志が動画コンテンツ制作等を体験しながら、将来的に自らが介護の魅力発信等の分野で活躍できる人材になるような仕組みを構築し、介護職員の離職防止、介護人材の確保に繋げる。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信等を行うSNSアカウントを立ち上げ</li> <li>・アカウント運営に係る知識や技術を学ぶ講習会等の開催</li> <li>・介護施設・教育機関等との連携を盤石なものとする</li> </ul>	

自走へ向けた取組支援

# 令和6年度の取組(案)

資料4

項目	内容等	目標・実績
② 外国人材の受入環境整備	住宅セーフティネット制度の活用に向けた検討、居住支援協議会の運営補助 管理住宅課との連携 <b>■実施概要</b> ○目的 山形市住宅確保要配慮者居住支援協議会において外国人等の住宅確保要配慮者に居住支援を行うための課題の共有、協議を行うほか、住宅セーフティネット制度を活用しながら、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容(予定) ・居住支援法人設立等の具体的取り組みの支援 ・外国人材をはじめとする住宅確保要配慮者の住まい確保に向けた取組について課題の共有・協議 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <b>具体的取組支援</b> </div>	<b>【目標】</b> 外国人受入事業所数 20事業所
	日本語教育支援、支援団体との連携 <b>■実施概要</b> ○目的 外国人材の日本語教育や生活支援に係る介護サービス事業所の負担を軽減し、外国人材の資格取得に向けたサポートを行うことで、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容(予定) ・日本語教室を実施する団体の紹介(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・外国人を支援する団体等の情報提供(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・令和7年度以降の取組についての協議 ・山形県外国人材支援センター事業の周知	
項目	内容等	目標・実績
③ 高齢者の雇用促進	関係団体との連携 <b>■実施概要</b> ○目的 就労意欲がある高齢者に対して、関係団体と連携し、介護現場への就労を促進する。 ○取組内容(予定) ・シルバー人材センターや介護労働安定センターとの連携 ・介護現場における高齢者の雇用促進のための情報発信	<b>【目標】</b> 関係団体を通じた介護現場への高齢者の雇用者数 20人
項目	内容等	目標・実績
④ 若年者の雇用促進	学校との連携 <b>■実施概要</b> ○目的 将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、学校において認知症サポーター養成講座を開催し、児童・生徒が、介護を知り、触れる機会を創出する。 ○取組内容(予定) ・学校での認知症サポーター養成講座の開催	<b>【目標】</b> 学校における講座の受講者数 600人
	保護者や教職員の理解促進 <b>■実施概要</b> ○目的 介護の職業体験や学校での認知症サポーター養成講座の開催を通して、保護者や教職員の理解促進を図る。 ○取組内容(予定) ・学校での認知症サポーター養成講座の開催 ・介護の職業体験イベント(再掲)	

# 令和6年度の取組(案)

資料4

項目	内容等	目標・実績
⑤ 潜在介護福祉士等の復職支援	<p>山形県福祉人材センターとの連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 介護の有資格者届出制度を周知する。また、登録者に対して、介護に関する情報発信を行い、復職を促進する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の有資格者届出制度の周知(山形市→事業所)※市窓口やイベント等</li> <li>・KAIGO PRiDEの取組の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者)</li> <li>・山形市が進める介護現場革新事業の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者)</li> <li>・介護の職業体験イベント等での連携</li> </ul>	<p>【目標】 介護職の届出制度登録者数</p> <p>90人/年</p>
	<p>山形県福祉人材センター及び介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 復職希望がある登録者等の介護の仕事への不安を解消し、復職を促進するため、県社会福祉協議会や介護サービス事業者団体と連携し、復職希望のある有資格者に対しセミナーや研修等を開催する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の仕事の基本等に関するセミナーや研修等の開催</li> </ul> <p>※山形市は団体に対して支援を実施(補助事業)</p>	
項目	内容等	目標・実績
⑥ ハラスメント対策	<p>山形県社会福祉協議会及び介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ハラスメント対策の一連の取組を山形モデルとして発信</div> <p>○目的 介護現場で働く職員の安全を確保し、安心して働き続けられる労働環境を築くことで、介護職員の確保・定着を促進する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント対応講座(管理者向け)の開催(山形県社会福祉協議会)</li> <li>・ハラスメント対策講座(職員向け)の開催</li> <li>・ハラスメント対策の実践型グループワーク研修(山形市)</li> </ul> <p>※山形市内の事業所の取組状況を踏まえ、スキルアップしながら対策の向上が図れるよう、多機関で連携し独自の研修プログラムを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアル作成や好事例集の作成等とおしたハラスメント対策の周知(事業期間は概ね3年間を想定)</li> </ul>	<p>【目標】 受講事業所数</p> <p>30事業所</p>
	<p>ハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 ハラスメント対策と合わせて、ハラスメント相談担当者がハラスメントを受けた職員のケアのスキルを上げていくための研修を実施し、介護職員が安心して働ける環境づくりを行い、職員の定着を図る。</p> <p>○取組内容(予定) ハラスメント相談担当者を対象に、スキルアップ研修を開催する。</p>	



# 令和6年度の取組(案)

資料4

「生産性の向上」の取組			
項目	内容等	目標・実績	
① 業務改善、ロボット・ICTの活用	<p>生産性向上改善活動の進展・普及への伴走及び生産性向上コミュニティを活用した横展開</p> <p><b>拡充</b></p>	<p>令和4、5年度に実施した生産性向上モデル事業において選定されたモデル事業所との連携</p> <p>■実施概要 <b>生産性向上コミュニティを活用した横展開</b></p> <p>○目的 生産性向上モデル事業や、フォローアップ研修で培ったノウハウを活かし、山形市内の介護サービス事業者等に対する研修の実施や相談・フォローアップ等を行い、他業界も含めた横展開を図る。令和4、5年度のモデル事業所とは引き続き連携し、活動定着支援を行う。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデル事業所の取組プロセスや成果事例の普及啓発</li> <li>令和5年度に構築した生産性向上コミュニティの活用による横展開</li> <li>新たに生産性向上改善活動に取り組むインターン事業所への支援</li> </ul>	<p>【目標】 講座参加者数 50人</p> <p>インターン事業所 1事業所</p>
	<p>生産性向上改善活動の他業界への横展開</p> <p><b>拡充</b></p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 福祉業界を対象にアドバイザーによる生産性向上に関する発表会を開催するとともに、介護のほか障がいや保育を運営する法人の協力を得ながら、山形市全体の福祉業界や他業界の就業環境の改善を図り、就職促進や若者の定着促進につなげていく。</p> <p><b>他業界への伴走支援（モデル事業の横展開）</b></p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護事業所及び福祉業界向けのセミナーの開催</li> <li>生産性向上改善活動への経営者理解促進のためのセミナーの開催</li> <li>他業界への伴走支援(モデル事業の横展開)</li> </ul>	
	<p>介護ロボット・ICT導入支援</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 生産性向上の取組を通して見直した業務オペレーションに合ったロボット・ICTの導入を支援する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット・ICT活用に関する事業やイベント等の周知</li> <li>山形県ICT導入支援事業費補助金の周知</li> </ul>	
項目	内容等	目標・実績	
② 文書量削減	<p>申請に係る様式の見直し等による書類の簡素化・標準化</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 人材が不足する中、文書量削減により、介護職員の負担軽減を図る。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子メールでの一部届出受理</li> <li>電子申請届出システムを利用した電子申請の受付(拡充)</li> <li>R4:更新申請のみ</li> <li>R5:廃止、休止、再開届等に運用を拡大</li> <li>R6:変更届、加算に関する届等に運用を拡大</li> </ul>	<p>【目標】 電子申請受付種類の拡充</p>
	<p>簡素化・標準化の取組を踏まえたICT等の活用</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 人材が不足する中、ICT等の活用により文書量を削減し、介護職員の負担軽減を図る。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山形県ICT導入支援事業費補助金の周知</li> </ul>	


# 令和6年度の取組(案)

資料4

項目	内容等	目標・実績
<p>③ 事業所間の連携推進</p>	<p>介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>国の小規模法人のネットワーク化による協働推進事業を活用し、経営基盤が脆弱な小規模法人を含めた地域の介護サービス事業所団体が連携し、地域貢献や福祉人材の確保等のための取組が促進されるよう、その環境整備を図る。</p> <p>○事業実施団体の取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題を討議するプラットフォーム会議の開催</li> <li>・人材確保の取組(介護の魅力発信や潜在介護福祉士等の復職支援等)</li> <li>・災害時の連携強化のための取組</li> <li>・生産性向上に関する取組</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献に向けた、先進的な福祉活動に関する研修会の実施</li> <li>・介護人材の確保、定着に向けた取組</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>事業実施団体数</p> <p>2団体</p>

# 事業概要【介護発！魅力ある職場づくりによるYAMAGATA発展プロジェクト事業】

推進当初

申請者	山形県 山形市	初回採択回	令和4年度第63回募集
事業計画期間	R4～R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	25,792千円 (9,719千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上、介護の魅力発信、外国人材の受入環境整備、若年者の雇用促進、ハラスメント対策等、総合的に取り組み、介護職員の離職防止および介護人材の確保・定着を図る。</li> <li>・他業界への横展開を通じ、「ひと」と「しごと」の好循環を生み出し、「まち」が活性化していく仕組みを創り出す。</li> </ul>		
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護現場の革新に向けた総合的な取組を協議する山形市介護人材確保推進協議会の開催 (報償費) 324千円</li> <li>○生産性向上の活動定着支援・普及啓発および他業界も含めた生産性向上取組の横展開 (委託料) 7,000千円</li> <li>○介護職員の離職防止・人材確保に向けた介護の魅力発信事業 Yamagata KAiGO-LiNKの構築 (補助金) 500千円</li> <li>○外国人材の受入環境整備へ向けた山形市住宅要配慮者居住支援協議会の開催 (報償費) 125千円</li> <li>○中高生をメインターゲットとした介護職業体験イベントの開催 (委託料) 320千円</li> <li>○ハラスメント対策研修およびハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施 (報償費) 905千円 (委託料) 402千円</li> </ul>		<p>生産性向上推進セミナー (左) と 介護職業体験イベント (右) の様子</p> 
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①介護事業所の職員増加数 (当該年度目標値480人)</li> <li>②介護事業所におけるロボット・ICT導入割合 (当該年度目標値27%)</li> <li>③ハラスメント対策マニュアル作成事業所数 (当該年度目標値300事業所)</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/keikaku/1006981/1002630.html">https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/keikaku/1006981/1002630.html</a></p>

資料4-1

# 山形市

## 高齢者保健福祉計画

〔第9期介護保険事業計画〕

令和6年度 ~ 令和8年度

(案)

【介護現場革新関係・抜粋】

第4章 基本理念と目標

第5章 施策の展開

## 介護現場の革新に関するビジョン等

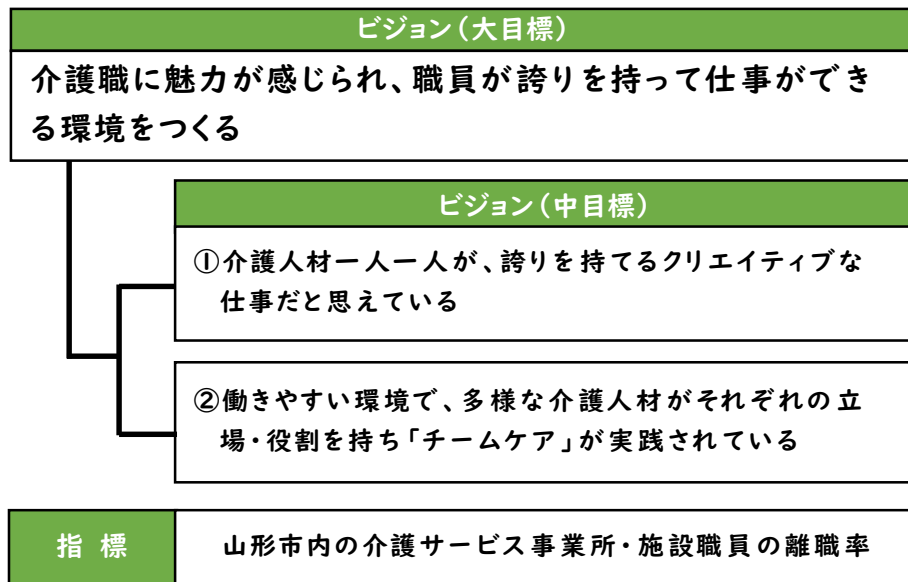
### ① ビジョン（大目標・中目標）及び指標

厚生労働省が作成した「介護人材需給推計ワークシート（市区町村ワークシート）」を活用した介護職員の需給推計によると、令和22年度（2040年度）までに、山形市において約900人の介護職員の不足を補う必要があります。

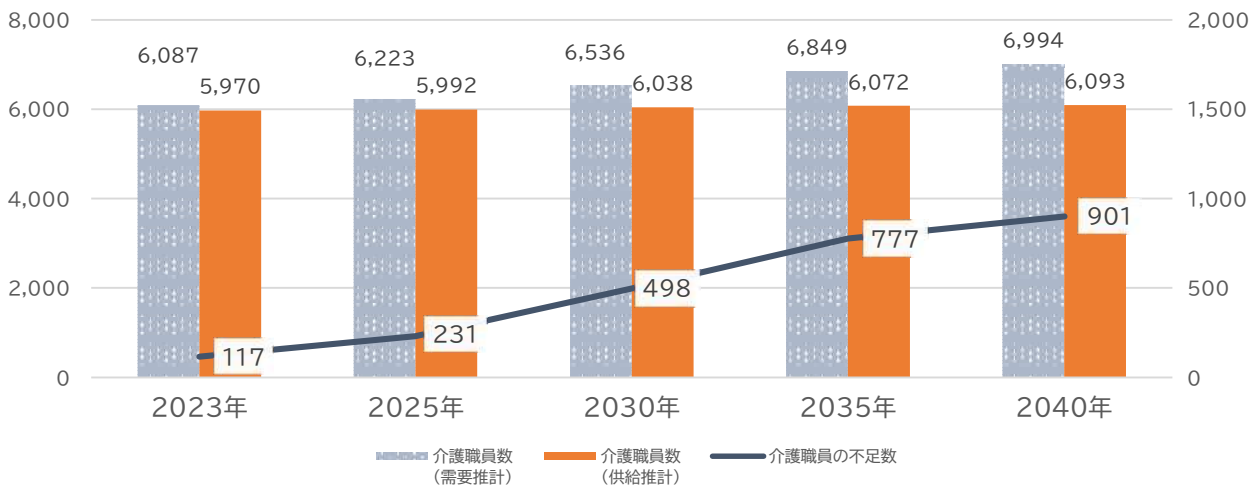
地域包括ケアシステムの深化・推進には、これを支える介護人材の確保が重要であるため、介護人材の確保・定着、生産性の向上を内容とする介護現場の革新に向けた総合的な取組を実施します。

具体的には、介護現場の革新について山形市が目指す未来像をビジョン（大目標）として設定し、より具体的な未来像をビジョン（中目標）として設定します。

【図表4-10 介護現場の革新に関するビジョン】



【図表4-11 介護人材需給推計シート（市区町村ワークシート）による推計※】



※本推計は介護保険施設・事業所に勤務する介護職員を対象としています。なお、職員の数、山形市が実施した介護保険事業者等実態調査の結果をもとに、回答率で割戻補正を行ったものとなるため、実数とは異なります。

② 具体的な取組（小目標）

ビジョンを実現するための具体的な取組を「小目標」として設定し、総合的な取組を計画的に進めていきます。

【図表 4-12 介護現場の革新の具体的な取組（小目標）】

「介護人材の確保・定着」の取組	
① 介護の魅力発信	「KAIGO PRIDE」の実施（動画による啓発、ポートレート展示等）
	「KAIGOのおしごとひろば」の開催
	Yamagata KAIGO LiNK事業構築・支援
② 外国人材の受入環境整備	日本語教育支援（日本語教室の案内） 支援団体との連携（外国人支援団体等の情報提供）
	住宅確保要配慮者居住支援協議会の運営・連携支援 住宅セーフティネット制度の活用に向けた検討
③ 高齢者の雇用促進	シルバー人材センターや介護労働安定センター等、関連団体との連携
④ 若年者の雇用促進	学校との連携 （認知症サポーター養成講座等による周知啓発）
	保護者や教職員の理解促進（体験イベントを通じた理解促進）
⑤ 潜在介護福祉士等の 復職支援	山形県福祉人材センターとの連携（復職支援に向けた情報提供）
	復職支援に向けた研修の開催
⑥ ハラスメント対策	ハラスメント研修の実施
	ハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施
「生産性の向上による業務の効率化・ 質の向上」の取組	
① 業務改善、 ロボット・ICTの活用	生産性向上改善活動定着支援・普及啓発
	生産性向上コミュニティによる山形市生産性向上モデル事業取組成果の横展開 山形市生産性向上モデル事業取組成果の他業界への横展開
	山形県生産性向上総合相談センター（仮称）との連携による介護現場生産性向上等の支援・施策の周知
	介護ロボット・ICT導入支援
② 文書量削減	各種申請・届出等のデジタル化による事務負担の軽減と、介護サービスの質の確保
	簡素化・標準化の取組を踏まえたICT等の活用
③ 事業所間の連携推進	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の実施 （地域貢献事業、介護人材確保、防災等）

介護現場の革新に関するビジョンの目標

山形市内の介護サービス事業所・施設の離職率 （令和4年度 12.7%）	10.7%
--	-------

## 5 介護現場の革新

山形県における令和5年9月時点の介護関連職種の有効求人倍率は3.47となっており、全産業と比較して、2.09ポイント高い状況であり、今後、現役世代の減少が顕著になることを踏まえると、必要な介護サービスを安定的に提供していくためには、高齢者介護を支える人的基盤の確保が喫緊の課題です。

厚生労働省が作成した「介護人材需給推計ワークシート（市区町村ワークシート）」を活用した介護職員等の需給推計では、令和22年（2040年）までに、今後採用する職員数（供給推計）を考慮した上で、約900人の介護職員の不足を補う必要があります。

このため、令和22年（2040年）を見据え、必要な介護人材の確保に向けて、介護現場の革新に向けた取組を離職防止、生産性向上を柱に総合的に進めます。あわせて、介護事業者と連携しながら、就職相談会の実施など、直接的に介護人材の確保につながる場の創出に取り組みます。また、介護人材の確保に向けては、処遇改善を着実にを行うことが重要であり、介護報酬の改定など、国における対応が必要なものについては、介護サービス事業者等のご意見を踏まえながら、国に要望していきます。

介護現場の革新に向けた総合的な取組については、介護人材の確保にかかる多様な関係機関が参画する山形市介護人材確保推進協議会において、毎年度、評価を行い、より効果的な取組を検討するなど、PDCAサイクルに沿った取組を推進します。

### （1）介護人材の確保・定着

#### ① 介護の魅力発信

山形市が実施した介護保険サービス事業者実態調査（以下「事業者調査」といいます。）によれば、介護職員等は20歳未満から70歳以上までの幅広い年代が働いています。今働いている職員には改めて介護の仕事に魅力を感じてもらい、仕事を探している方には新たな職場として介護現場を選択していただけるよう、若年者から高齢者まで幅広い世代に対して介護の魅力を発信し、介護現場のイメージを刷新します。

このため、山形県や介護サービス事業所連絡会等と連携し、介護職員や介護に関わる方々へ、より一層介護の魅力を発信する「KAiGO PRiDE」や「KAiGOのおしごとひろば」の開催、学生等との連携によるSNS等を活用した魅力発信事業「Yamagata KAiGO-LiNK」に取り組みます。

#### ② 外国人材の受入環境整備

山形市内の介護施設においても、EPA・留学・技能実習・特定技能といった様々な在留資格による外国人介護人材の受入れが進められています。

一方、事業者調査等において、外国人介護人材の確保が進まない主な理由として、日本語の習得やコミュニケーション、住まいの確保が挙げられています。

こうしたことを踏まえ、外国人介護人材の受入環境を整備するための、日本語教育や生活支援に関するセミナー等、支援団体との連携や、住まいの確保に向けた、住宅セーフティネット制度の有効活用、多様な関係機関が参画する山形市住宅確保要配慮者居住支援協議会における支援策を検討します。



### ③ 高齢者の雇用促進

内閣府の高齢社会白書によると、高齢者の就業率は年々増加しております。

介護人材が不足する中、専門的な業務だけでなく、介護助手等の周辺業務等での活躍が期待されている元気高齢者について、ハローワーク山形や、山形県福祉人材センター、介護労働安定センター、シルバー人材センター等との連携による入門的研修の実施や、就労のマッチング、求人説明会、就労機会の創出など、高齢者の雇用促進に取り組めます。

### ④ 若年者の雇用促進

事業者調査によれば、採用者の入職ルートに占める新卒者の割合は、2番目に低い8.3%となっています。また、その要因として、山形市介護人材確保推進協議会では、保護者や教職員への理解促進が必要との意見が挙げられました。一方、多くの新卒者には、実際に介護に触れた経験があることから、介護の職業イベントの開催を通して、学生等が、介護を知り触れる機会を創出し、介護職員としての雇用につなげていくことが有効であると考えられます。

また、学校と連携し、生徒及び保護者・教職員に対して、認知症サポーター養成講座等を開催し、介護に対する理解促進に取り組めます。

### ⑤ 潜在介護福祉士等の復職支援

事業者調査によれば、介護人材の確保に向けて、現在取り組んでいる、または検討している取組として最も多いものが潜在介護福祉士等の就労です。一方、令和5年9月末時点で、山形県において、介護福祉士の資格保有者は21,524人いますが、届出をしている割合は2.7%となっており、届出制度の活用による復職支援は十分とは言えない状況です。

このため、山形県福祉人材センターと連携し、制度の周知を進めるとともに、復職支援セミナーの開催等を通じて、潜在介護福祉士等の就労支援に取り組めます。

### ⑥ ハラスメント対策

「介護労働者の就業実績と就業意識調査（介護労働安定センター）」によると、これまで利用者や家族から、暴言、暴力、ハラスメントを受けたことがある職員は、約4割となっており、うち「暴言（直接的な言葉の暴力）」が20.8%、「介護保険以外のサービスを求められた」が15.2%、「暴力」が10.5%となっています。

介護現場で働く職員の安全を確保し、安心して働き続けられる職場環境を整備することが重要であり、ハラスメント対策研修や、ハラスメント相談担当者のスキルアップ研修、マニュアル作成や、好事例集の活用等、介護職員の定着・離職防止に取り組めます。

## (2) 生産性の向上による業務の効率化・質の向上

### ① 業務改善、ロボット・ICTの活用

介護人材不足の中、介護サービスの質の維持・向上を図りながら、効率的な業務運営



を実現するためには、介護業務の洗い出しを行い、専門性が高い「利用者へのケア」と「周辺業務」に切り分け、介護職員との適切な役割分担のもと、ロボットやICTを活用していくことが重要です。

このため、国が示す生産性向上ガイドラインを活用し、令和5年度まで創出したモデル事業所の取組成果を生産性向上コミュニティーを通じて、多くの事業所が取り組むことができるよう横展開を図ります。

また、ロボット・ICTの導入については、山形県と連携し、地域医療介護総合確保基金の活用等による支援を行います。

「周辺業務」には介護支援ボランティアポイントによる元気高齢者の活用等もあわせて進めます。

限られた人材で多様化・複雑化する介護ニーズに対応していくためには、介護職員のキャリアや専門性に応じた多様な人材によるチームケアが有効であり、このような取組を前提とした、チームケアを推進します。

さらに、生産性向上に資する様々な支援・施策を総合的・横断的に適切な支援につなぐワンストップ型の支援を行う、山形県生産性向上総合相談センター（仮称）との連携による介護現場生産性向上等の支援・施策の周知を行います。

## ② 文書負担軽減に向けた取組

深刻化している介護人材の不足を踏まえ、介護サービスにかかる指定に関する各種申請・届出等の手続をデジタル化し、介護職員の事務負担を軽減することで利用者直接向き合える時間を増やし、介護サービスの質の確保を図ります。

令和7年度までに、事業者が厚生労働省の「電子申請・届出システム」を利用し国が示す標準様式により介護サービスにかかる指定に関する申請・届出等を行うことを促進します。

## ③ 小規模事業所間の連携推進

小規模な社会福祉法人においても「地域における公益的な取組」の責務を果たすことが必要です。しかしながら、小規模な社会福祉法人においては、経営基盤や職員体制が脆弱であることから、単独での事業実施が困難な状況にあります。

このため、介護サービス事業所連絡会と連携し、「小規模法人のネットワーク化による協働推進事業」を活用しての「社会福祉連携推進法人」に移行することを見据えた基盤づくりの支援とあわせ、小規模法人の地域貢献活動、介護人材の確保・定着、災害対策等の連携・協働化の支援を推進していきます。

## (3) 安全性の確保及びリスクマネジメントの推進

介護現場における事故発生の防止と発生時の適切な対応（リスクマネジメント）を推進するため、運営指導等において、事故発生防止のための指針の整備や事故発生時の対応状況等の確認等を通じて、介護現場の安全管理体制の整備を支援していきます。

また、国が示している事故報告書様式により事業所から報告された事故情報を集約・分析するとともに、集団指導等において、介護サービス事業所等にフィードバックし、事故の発生または再発の防止に取り組みます。

## 令和5年度 山形市介護人材確保推進協議会 資料

実施機関等：学校法人富澤学園 東北文教大学短期大学部(現代福祉学科)

## I. 令和5年度の主な取り組み

項目	事業・施策名	事業・施策内容等																				
継続	1. オープンキャンパス	<p>○事業概要</p> <p>実施日</p> <table border="0"> <tr> <td>5月27日(土)</td> <td>〃</td> <td>7(1)</td> <td>( )内は保護者</td> </tr> <tr> <td>7月23日(日)</td> <td>午前・午後</td> <td>8(4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月29日(土)</td> <td>午前のみ</td> <td>7(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8月5日(土)</td> <td>午前のみ</td> <td>22(4)</td> <td>※介護セミナーと同時</td> </tr> <tr> <td>8月6日(日)</td> <td>午前のみ</td> <td>7(4)</td> <td></td> </tr> </table> <p>総数：45名</p> <p>令和6年3月24日(土) 完全予約制にて実施予定</p> <p>※COVID-19の状況を鑑み、安全性を確保しての実施とした。</p>	5月27日(土)	〃	7(1)	( )内は保護者	7月23日(日)	午前・午後	8(4)		7月29日(土)	午前のみ	7(2)		8月5日(土)	午前のみ	22(4)	※介護セミナーと同時	8月6日(日)	午前のみ	7(4)	
5月27日(土)	〃	7(1)	( )内は保護者																			
7月23日(日)	午前・午後	8(4)																				
7月29日(土)	午前のみ	7(2)																				
8月5日(土)	午前のみ	22(4)	※介護セミナーと同時																			
8月6日(日)	午前のみ	7(4)																				
継続	2. 介護セミナー	<p>○事業概要</p> <p>対象：県内高校生 (定員：25名程度)</p> <p>実施日：8月5日(土) ※オープンキャンパスと同時開催</p> <p>受講者数：22名</p> <p>内容：福祉用具を使った専門的技術の体験</p> <p>KaIGOPRiDE 出前講座</p> <p>※COVID-19の状況を鑑み、安全性を確保しての実施とした。</p>																				
継続	3. 出前授業	<p>○事業概要</p> <p>対象：県内の小・中・高校生</p> <p>実施期間：令和5年4月～令和6年3月</p> <p>事業内容</p> <p>1) 小・中・高等学校への出前授業(高校生の進路相談)</p> <p>小学校1校 (7月実施)・・・過去に依頼実績あり</p> <p>※今年度は5月に高等学校(57校)にのみ「進路相談」として案内を発送した。</p>																				
継続	4. 高齢者とふれ合う写真及びふれ愛・想い 愛川柳の募集	<p>○事業概要</p> <p>対象：県内外の社会人、高校生</p> <p>高校生、社会人をターゲットとした川柳や写真の募集広報活動を行うとともに学科の広報を行い、介護職へのマイナスイメージ等の改善と学生獲得を目指す。</p> <p>実施期間：令和5年4月～7月</p> <p>事業内容</p> <p>1) 新聞、ホームページ、インスタグラム、その他公共施設等を活用し高校生、社会人へ向けての募集チラシを公開。選考を行い、受賞者には賞状と副賞贈呈。</p> <p>川柳応募総数：83件 (ほとんどが高校生)</p>																				

継続	5. 介護の体験イベント「KAiGO のおしごとひろば」開催への協力	実施日:令和5年6月24日(土) 11:00~15:00 1) 介護を学ぶ学校紹介のブース出展 大学説明と紹介 2) 介護職の体験運営補助(モデル、消毒作業など) 2年生 2名協力
新規	6. 介護福祉系学生向け情報発信体験企画 KAiGOPRiDE 部への協力	○事業概要 令和5年度山形県委託事業 8月より活動開始
新規	7. 外国人介護人材確保対策事業への協力	○事業概要 介護労働安定センター主催 実施日:集合研修 9月4日(月) ビックウイング会場
継続	8. 実務者研修	○事業概要 介護労働講習610時間及び実務者研修450時間の講師
継続	9. 山形県離転職者等職業訓練事業(緊急再就職促進訓練(介護福祉士養成科))	○訓練受講生 1年生 1名 (女子:1) 2年生 1名 (女子:1)

※学科ホームページやInstagramにてニュースやお知らせを随時発信。

※2025(令和7)年度入学者より、「介護福祉士国家試験受験資格取得」等の機能を東北文教大学人間科学部人間関係学科の「福祉マネジメントコース」に移管し、新たに4年制という教育課程で介護福祉士の養成を行うよう計画している。

## 人材不足分野 求人・求職バランスシート (常用・パート含)

山形公共職業安定所

2023年12月分

職種	新規 求人数	新規求職 申込件数	新規 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率
<b>医療、福祉分野の職業</b>	<b>382</b>	<b>133</b>	<b>2.87</b>	<b>1,425</b>	<b>516</b>	<b>2.76</b>
医療関係	117	45	2.60	389	157	2.48
022 保健師、助産師	0	3	0.00	3	20	0.15
022-01 保健師	0	3	0.00	3	13	0.23
022-02 助産師	0	0		0	4	0.00
023 看護師、准看護師	114	39	2.92	366	131	2.79
028-99 その他の保健医療関係助手	3	3	1.00	20	6	3.33
保育関係	39	13	3.00	122	58	2.10
029-01 保育士	39	13	3.00	122	58	2.10
介護関係	226	75	3.01	914	301	3.04
024-04 理学療法士	4	1	4.00	31	9	3.44
024-05 作業療法士	1	6	0.17	17	12	1.42
024-06 視能訓練士	1	1	1.00	5	2	2.50
024-07 言語聴覚士	3	1	3.00	12	1	12.00
049 福祉・介護の専門的職業	39	18	2.17	149	68	2.19
049-02 福祉相談・指導専門員	0	3	0.00	13	11	1.18
049-03 老人福祉施設指導専門員	4	4	1.00	22	10	2.20
049-04 障害者福祉施設指導専門員	13	5	2.60	46	21	2.19
049-05 児童福祉施設指導専門員	2	0		11	4	2.75
049-06 他の社会福祉施設指導専門員	0	0		2	0	
049-07 介護支援専門員(ケアマネジャー)	10	3	3.33	34	12	2.83
049-08 訪問介護サービス提供責任者	2	0		4	0	
049-09 障害福祉サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者	0	0		3	0	
049-10 福祉用具専門相談員	5	0		6	0	
049-99 その他の福祉・介護の専門的職業	3	3	1.00	8	10	0.80
050 施設介護の職業	133	40	3.33	541	179	3.02
050-01 高齢者入所型施設介護員	73	11	6.64	378	46	8.22
050-02 高齢者通所型施設介護員	34	3	11.33	93	11	8.45
050-03 障害者福祉施設介護員	2	0		11	4	2.75
050-99 その他の施設介護の職業	24	2	12.00	59	9	6.56
051 訪問介護の職業	16	1	16.00	82	11	7.45
052-01 家政婦(夫)、家事手伝い	0	0		7	0	
028-01 看護助手	29	7	4.14	70	19	3.68
<b>建設分野の職業</b>	<b>267</b>	<b>27</b>	<b>9.89</b>	<b>610</b>	<b>135</b>	<b>4.52</b>
08 建築・土木・測量技術者	73	6	12.17	184	40	4.60
008-01 建築設計技術者	21	1	21.00	38	9	4.22
008-02 建築施工管理技術者	26	3	8.67	70	14	5.00
008-03 建築技術者(設計・施工管理を除く)	1	1	1.00	3	5	0.60
008-04 土木設計技術者	0	0		12	1	12.00
008-05 土木施工管理技術者	19	0		51	4	12.75
008-06 土木技術者(設計・施工管理を除く)	2	0		4	0	
008-07 測量技術者	4	1	4.00	6	4	1.50
90 建設躯体工事の職業	23	1	23.00	50	8	6.25
090-01 型枠大工	5	0		7	1	7.00
090-02 とび工	11	0		27	0	
090-03 解体工	1	0		10	2	5.00
090-04 鉄筋工	6	1	6.00	6	2	3.00
91 建設の職業(建設躯体工事の職業を除く)	68	7	9.71	140	34	4.12
091-01 大工	2	2	1.00	13	10	1.30
091-02 ブロック積工、タイル張工	0	0		1	0	
091-03 屋根ふき工	0	0		0	0	
091-04 左官	5	0		5	0	
091-05 畳工	0	0		1	0	
091-06 配管工	36	1	36.00	68	3	22.67
091-07 内装工	17	0		26	1	26.00
091-08 防水工	3	0		5	1	5.00
091-99 その他の建設の職業	5	2	2.50	21	5	4.20
92 土木の職業	84	9	9.33	174	32	5.44
092-01 建設・土木作業員	74	4	18.50	150	16	9.38
092-02 舗装作業員	7	0		21	1	21.00
092-03 鉄道線路工事作業員	3	1	3.00	3	2	1.50
092-04 ダム・トンネル掘削作業員	0	0		0	0	
94 電気・通信工事の職業	19	4	4.75	62	21	2.95
094-01 送電線架線・敷設作業員	1	0		4	0	
094-02 配電線架線・敷設作業員	0	0		0	0	
094-03 通信線架線・施設作業員	3	0		5	1	5.00
094-04 電気通信設備工事作業員	1	1	1.00	4	4	1.00
094-05 電気工事作業員	14	2	7.00	49	12	4.08
<b>警備分野の職業</b>	<b>105</b>	<b>6</b>	<b>17.50</b>	<b>326</b>	<b>30</b>	<b>10.87</b>
59 警備員	105	5	21.00	315	28	11.25
63 その他の保安の職業	0	1	0.00	11	2	5.50
<b>運輸分野の職業</b>	<b>111</b>	<b>38</b>	<b>2.92</b>	<b>283</b>	<b>114</b>	<b>2.48</b>
83 貨物自動車運転の職業	42	13	3.23	116	49	2.37
84 バス運転の職業	26	6	4.33	45	17	2.65
85 乗用車運転の職業	43	13	3.31	113	31	3.65
86 その他の自動車運転の職業	0	6	0.00	9	17	0.53

注) 本表に掲げる職業は、令和4年改定の「厚生労働省編職業分類」に基づく区分によるもの。

介護・看護・保育



建設・警備・運輸

# 人材確保・就職支援コーナーのご案内

人材確保・就職支援コーナーでは、医療・福祉（介護・保育・看護）、建設、警備、運輸分野への就職と人材確保支援を専門の相談員が行います

## 求職中の方

- \* この分野に就職したい!
- \* 仕事の内容を知りたい
- \* ブランクがあるけど再就職したい
- \* 興味があるけど未経験なので不安...

## 事業所の方

- \* 人材を確保したい
- \* 業界や仕事の内容を知ってもらいたい
- \* 求職者の動向を知りたい
- \* 求人票の作成について相談したい

### 主な支援メニュー

- 担当者制による各分野のきめ細かい相談・紹介
- 分野毎の求人一覧表の作成・提供（月2回発行）
- 各分野の情報提供（求人票の見方や業界・事業所についての相談）
- 面接・採用につながる履歴書・職務経歴書等の作成方法アドバイス
- 求人説明会や就職面談会、職場見学会などの開催案内

- 事業所訪問等による人材確保に関するコンサルティング
- 求人充足に向けた個別支援
- 求人票の記載方法・見直しについてのアドバイス
- 事業所パンフレットや画像情報等の求職者への情報提供
- 求人説明会や面談会、職場見学会などの企画



コーナーご利用の際は、  
総合受付にお声掛けください。



### 【お問い合わせ先】

ハローワークやまがた  
人材確保・就職支援コーナー  
990-0813 山形市桜町二丁目6番13号  
電話 023-684-1521(45#)



# 介護福祉士等の資格を お持ちの皆さん

あなたを支える、  
せつかくの資格。



届け出してね。

資格を  
取得した時に



研修を  
修了した時に



一時的に職場を  
離れる時に



ステップアップ  
の時に



届け出るだけで、いつでも福祉・介護の仕事の各種相談・サポートがずっと受けられる

## 介護の有資格者 届出制度をご活用ください。

届出できる  
資格・研修

介護福祉士

介護職員  
初任者研修

介護職員  
実務者研修

旧ホームヘルパー  
養成研修1級・2級課程

旧介護職員  
基礎研修

生活援助  
従事者研修

介護に関する  
入門的研修



## 介護の届出制度とは

●介護の仕事は社会的にますます重要な仕事となつていきます。  
そこで、国は介護福祉士の資格を持つ方々の届出制度を平成29年4月に創設しました。福祉人材センターに届出いただくことで、介護に関わる最新情報や研修によるスキル維持・向上のサポート、就労支援などが受けられます。

※介護福祉士の資格をお持ちの方は、社会福祉法により、届出が努力義務となっております。

資格を届出すると...

### POINT 01

最新情報をお届けします。  
介護の仕事に関する様々な情報をお届けします。

例)福祉・介護に関するニュース、就職活動に役立つ情報、各種イベント情報、求職中の方には求人情報など

### POINT 02

介護知識・技術の研修や  
職場体験をサポートします。

離職などによりプランクのある方には、介護の知識・技術の研修や、介護の現状や個々の職場の実情を肌で知るための職場体験のサポートもいたします。

### POINT 03

福祉人材センターが就職を  
きめ細かにお手伝いします。

福祉の仕事に就職をご希望の場合は、山形県福祉人材センターが、新しい活躍の場と出会うお手伝いをいたします。

登録は無料です！

福祉のお仕事  
FUTURE-JOB RESEARCH



届出は  
Webサイトで  
登録できます！▶



登録手順 \ 簡単3ステップ！

STEP1 アクセス

届出をする  
をクリック。



STEP2 仮登録

あなたの情報を入力してください。  
入力したメールアドレスが  
あなたのログインIDになります



STEP3 本登録

メールで届いたURLからアクセスし、  
あなたの情報を入力してください。



登録完了！

よくある質問 Q&A

Q 情報はどのように届きますか？

A Webサイトで届出登録されたメールアドレス宛にメールが届きます。

Q すでに介護の仕事をしていますが、届出したほうがよいですか？

A 就職活動に関する情報以外にも福祉の仕事に役立つ情報をお届けしますので、ぜひご登録ください。

Q 届出後、すぐに就職支援を受けるにはどうしたらよいですか？

A 届出後に求職登録を行うことにより就職支援をさせていただきます。詳しくは山形県福祉人材センター窓口までお問合せください。

※個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守し、ご登録いただいた個人情報は適切に取り扱いたします。



介護職には答えがない。  
ご利用者さんの性格、状態によって  
マニュアルを超え向き合っていく。  
だからこそ、この場所で仲間と共に  
たくさんの答えに触れて、  
あなただけの答えを探して。

# 介護は 奥深い

## 庄内会場

**日時** 令和6年2月28日(水)  
13時30分～15時30分

**会場** 鶴岡市総合保健福祉センター  
にこふる大会議室1・2  
鶴岡市泉町5-30

MAP



### 講師

■一般社団法人KAI GO PRIDE 理事 **小口貴幸氏**

KAI GO PRIDE アンバサダー

庄内会場

■介護老人保健施設ひだまり 介護員 **佐藤将人氏**

■ソーシャルさつき 総務 **西村さつき氏**

内陸会場

■SOMPOケア上山 管理者兼主任介護支援専門員 **新野真紀子氏**

■SOMPOケア新庄城西 管理者 **青木幸子氏**

### 主催・問い合わせ

社会福祉法人山形県社会福祉協議会  
山形県福祉人材センター

TEL : 023-633-7739 FAX : 023-633-7730

(参加申込については、裏面をチェック)

特設サイト



## 内陸会場

**日時** 令和6年3月1日(金)  
13時30分～15時30分

**会場** 道の駅やまがた蔵王  
樹氷ホール  
山形市表蔵王79-1

MAP



### 対象

高齢者福祉施設、訪問・通所・入所の介護事業所に勤務する、  
勤務年数が概ね3年未満の介護職員

### 内容

■トークセッション(60分)

「介護の奥深き世界 ～介護のプロとしての誇りと喜び～」

■グループワーク(50分)

「I am careworker ～どんな介護職を目指すか～」

**KAI GO PRIDE アンバサダーとは？**

現役の介護職員が学校・介護施設・各種イベントなどを通じて、介護職の魅力や経験などを自身の言葉で伝え、介護職のやりがいを伝えていく人材(アンバサダー)としてKAI GO PRIDEが認定した方。

### 後援

一般社団法人山形県介護福祉士会 / 山形県社会福祉法人経営者協議会 /  
山形県老人保健施設協会 / 山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会(順不同)



FAX 番号：023-633-7730

※添書不要 山形県福祉人材センター行き

## 令和5年度介護職員学習交流会

(庄内会場：令和6年2月28日)

(内陸会場：令和5年3月1日)

### 対象

高齢者福祉施設、訪問・通所・入所の介護事業所に勤務する、  
勤務年数が概ね3年未満の介護職員

## 参加申込書

令和 年 月 日

法人名 \_\_\_\_\_

事業所名 \_\_\_\_\_

ご担当者 \_\_\_\_\_

連絡先 TEL \_\_\_\_\_

	職名	フリガナ 氏名	会場 (該当に○)	備考
1			内陸・庄内	
2			内陸・庄内	

申込締切：各会場開催日前日まで

(申込者が定員を超えた場合は、期限前でも締切とさせていただきます)

お問合せ・申込先：

社会福祉法人山形県社会福祉協議会山形県福祉人材センター

〒990-0021 山形市小白川町二丁目3-30

TEL：023-633-7739 FAX：023-633-7730

以下、Googleフォームからも  
お申し込みいただけます。



# 外国人介護人材の受入体制構築【拡充】（案）30,284千円

## 目的

少子高齢化の進展等による介護人材不足が深刻化し、外国人介護人材に対するニーズが増大しているため、県内で働く外国人介護職員及び介護事業所をサポートする「山形県外国人介護人材支援センター」の機能を拡充するとともに、介護事業所における外国人介護人材の受入拡大に向けた取組みに対する支援などを行うことで、外国人介護人材の受入れや県内定着を促進させる。

## 事業内容

### 1 外国人介護人材支援センター事業【拡充】

11,574千円

- ・総合的な相談窓口の運営及び巡回相談の実施
- ・受入事業者に対する各在留資格の制度の説明や受入事例の紹介等を行う説明会の実施
- ・介護福祉士養成機関と連携した試験対策講座の実施【新規】
- ・外国人介護職員の地域等とつながる機会の提供や交通手段の改善のための学習交流会の開催【拡充】



R5. 9. 4研修・交流会（山形市）



R5. 11. 4研修・交流会（酒田市）

### 2 外国人介護人材受入促進事業【新規】2,000千円

介護事業所における外国人介護人材の受入拡大に向けた海外現地活動経費（渡航旅費等）を支援

### 3 外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業

2,910千円

経済連携協定（EPA）に基づき入国した介護福祉士の資格取得を目指す外国人を受け入れる介護事業者の取組みを支援

### 4 外国人介護人材受入施設等環境整備事業

13,800千円

技能実習、特定技能、留学等による外国人介護職員を受け入れる介護事業所の取組みを支援

# 介護生産性向上総合支援センターの設置【新規】（案） 20,155千円

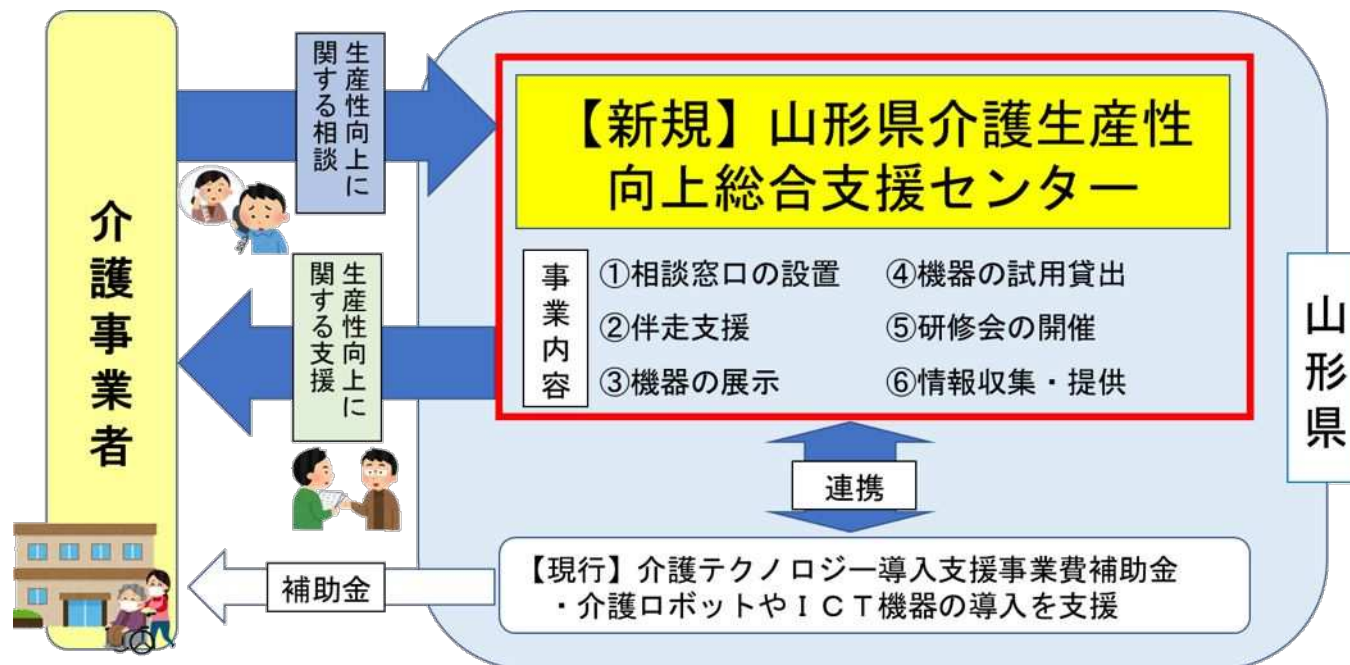
## 目的

介護現場の人手不足が深刻化する中で、介護事業所向けにワンストップ型の相談窓口等の機能を持つ「山形県介護生産性向上総合支援センター（仮称）」を新たに設置し、介護現場の労働生産性向上を推進し、介護職員の負担軽減を促すことで、介護分野の魅力向上や介護人材の確保を図っていく。

## 事業内容

山形県介護生産性向上総合支援センター（仮称）を設置し、主に以下の事業を実施

- 相談窓口：介護事業所からの生産性向上・業務効率化に係る相談を受け付ける窓口の設置
- 伴走支援：介護事業所における業務改善の取組みを専門家が個別に支援し、地域のモデル事業を創出・横展開
- 介護事業所等向け介護ロボット・ICT機器の出張展示及び実際に体験するための試用貸出の実施
- 介護事業所等向けに生産性向上に関する研修会を開催



# 山形県介護ロボット・ICTフォーラム

参加  
無料

介護テクノロジー導入事例の発表及び効果について

2024年2月22日(木) 14:00~16:00

【オンライン開催】Zoomによる配信

14:00~14:20

行政説明 山形県健康福祉部高齢者支援課

事例発表① 介護ロボット 14:20~14:40

社会福祉法人白鷹福祉会

講師: 廣居 ひろ美氏 (特別養護老人ホーム白光園)

事例発表② ICT 14:40~15:00

社会福祉法人西川保健福祉会

講師: 菅野貴臣氏(法人本部)

講演 15:00~15:40

「ICT活用による介護現場の業務改善全国事例」

講師: 平間 隆一氏

(NDソフトウェア株式会社 ソリューション事業部 山形営業所 所長)

15:40~16:00 質疑応答

16:00 終了

お申込み

下記URLまたは右記QRコードから参加をお申込みください。

[https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=10490](https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=10490)

申込締切 令和6年2月20日(火)



お問い合わせ : 山形県高齢者支援課介護人材育成担当 TEL.023-630-2189



今までとは違う毎日を

公益社団法人  
山形市シルバー人材センター

# 入会説明会のご案内

シルバー人材センターは「高齢者等の雇用安定法に関する法律」に基づき、高齢者福祉事業の一環として、高齢者に就業機会を確保、提供する機関として知事から指定された公益な団体であります。

公益社団法人 山形市シルバー人材センター



とき **3月12日(火)**  
**3月13日(水)**  
13:30 ~ 15:00

ところ **黒沢温泉いこい荘・漆山やすらぎ荘**

- 対象 ●60歳以上で山形市内にお住まいの方  
●健康で就業しようとする意欲のある方  
●生きがいをもって地域の活動に参加したい方

参加費  
**無料**

シルバー人材センターは、高齢者が組織的に働くことを通じて、健康を保持し、生きがいを持ち、地域社会に貢献するという「**自主・自立、共働・共助**」の理念を基本としています。

※参加申し込みについて  
事前に参加申し込みされる方は、施設にある指定用紙にご記入または直接下記宛に電話連絡をお願い致します。



問い合わせ先

公益社団法人 山形市シルバー人材センター

〒990-0828 山形市双葉町一丁目2番3号 山形テルサ1階

電話 (023) 647-6647 FAX (023) 647-6648 URL : <https://Web.sjc.ne.jp/yamagata>

